

## キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査（Ⅰ－①小学校・学校調査票）

### おねがい

このたび、文部科学省 国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センターでは、キャリア教育の充実及びキャリア教育についての実態を把握するために、アンケート調査を実施することになりました。この調査は、7年に一度、中学校・高等学校で実施していた「進路指導に関する総合的実態調査」の一環として、小学校をその対象に加え実施するものです。全国各都道府県及び政令指定都市の公立小学校・公立中学校・公立高等学校の中から抽出した2,500校を対象に行います。

現在、小学校段階から児童生徒の発達に段階に応じたキャリア教育の推進が求められています。文部科学省では、キャリア教育を「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」ととらえ、その推進のための条件整備にあたっています。

今回の調査では、これまで中学校・高等学校を対象に行っていた調査を継続するとともに、小学校段階からのキャリア教育の推進の観点から、その内容をキャリア教育に重点を置き、小学校も対象として実施することといたしました。大変お忙しいことは存じますが、本調査の趣旨をご理解のうえ何卒ご協力をお願いいたします。

- ・本調査票（学校調査票）については、キャリア教育の企画や全体計画等の作成に主にかかわる方（キャリア教育にかかわる担当者）と協議の上、管理職（校長・副校長・教頭）の方がご回答ください。
- ・ご回答はすべて別紙のマークシートにお願いします。あてはまる番号を選択の上、鉛筆で塗りつぶしてください。
- ・回答を書き終えましたら、別紙マークシートのみを用意してある①の封筒に入れ、他の調査の回答と一緒にして該当の教育委員会へ返送してください。なお、回答内容については、すべてが統計的に処理され、学校名や回答者が特定されることはありません。

文部科学省 国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センター

問1 貴校の児童数について、あてはまるものを1つ選んでください（平成24年5月1日現在）。なお、ご回答は別紙のマークシートにお願いします（「問2」以降、すべて同じ）。

- 1 100人未満
- 2 100人以上200人未満
- 3 200人以上600人未満
- 4 600人以上

問2 貴校のキャリア教育の企画や全体計画等の作成に主にかかわる担当者や組織についておたずねします。

(1) キャリア教育の企画や全体計画等の作成を中心となって進める担当者の方は、校務分掌上、次のいずれに該当しますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 キャリア教育のみを担当している。 ☞ 問2(3)～(7)にもお答えください。
- 2 他の担当と兼任している ☞ 次の問2(2)～(7)にもお答えください。
- 3 担当者はいない ☞ 問3にお進みください。

(2) (1)で「2 他の担当と兼任している」と答えた方におたずねします。

キャリア教育の企画や全体計画等の作成を中心となって進める担当者の兼任の状況について、あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 教務主任と兼任している
- 2 生徒指導主担当と兼任している
- 3 研究主任（研究主担当）と兼任している
- 4 学級担任あるいは学年主任と兼任している
- 5 上記以外の主担当と兼任している（人権教育担当や道徳教育担当等）

(3) 以下(3)～(7)は、(1)で「1 キャリア教育のみを担当している」「2 他の担当と兼任している」と答えた方におたずねします。

キャリア教育にかかわる担当者の現任教における当該担当者としての在任期間について、あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 1年目
- 2 2年目～3年目
- 3 4年目～5年目
- 4 6年目以上

(4) キャリア教育にかかわる担当者の週あたり担当授業時数（教科、道徳、学級活動、総合的な学習の時間等を含む）について、あてはまるものを1つ選んでください。（小数第一位を四捨五入）

- 1 0時間
- 2 1～ 6時間
- 3 7～ 9時間
- 4 10～ 12時間
- 5 13～ 15時間
- 6 16～ 18時間
- 7 19～ 21時間
- 8 22時間以上

(5) キャリア教育の企画や全体計画等の作成を主体となって進める校務分掌組織上の構成について、あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 特定の学年担当者による組織である
- 2 生徒指導委員会等、生徒指導にかかわる分掌組織と兼ねた組織（部・課・係・委員会等）である
- 3 研究推進委員会等、校内研究にかかわる分掌組織と兼ねた組織（部・課・係・委員会等）である
- 4 1～3以外の分掌組織と兼ねた組織（部・課・係・委員会等）である
- 5 キャリア教育を中心に行う専門組織（部・課・係・委員会等）である
- 6 キャリア教育にかかわる担当者が中心となって行っており、特に組織は設けていない

(6) キャリア教育の企画や全体計画等の作成を主体となって進める校務分掌上の組織の名称には、「キャリア」という文言が入っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 「キャリア」という文言が入っている  
(例：キャリア教育推進部、キャリア・進路指導部会、キャリア教育担当部会等)
- 2 「キャリア」という文言は入っていない  
(例：研究推進委員会、教務部、6学年部会等)
- 3 特に組織は設けていない

(7) キャリア教育の企画や全体計画の作成を主体となって進める校務分掌上の組織（本務者）は何人で構成されていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- |   |                    |    |             |
|---|--------------------|----|-------------|
| 1 | 0人（組織に本務者は所属していない） | 7  | 6～10人       |
| 2 | 1人                 | 8  | 11～15人      |
| 3 | 2人                 | 9  | 16～20人      |
| 4 | 3人                 | 10 | 21人以上       |
| 5 | 4人                 | 11 | 特に組織は設けていない |
| 6 | 5人                 |    |             |

問3 貴校の平成24年度のキャリア教育に関する計画についておたずねします。以下の設問にお答えください。

(1) 全体計画についておたずねします。

① 貴校には、キャリア教育の全体計画はありますか。（「計画がある」とは、その内容が文章としてまとめられ、教員に周知されているものをいいます。）あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 計画がある ☞(1)②にもお答えください。
- 2 計画はない ☞(2)にお進みください。

② ①で「1 計画がある」と答えた方におたずねします。

全体計画には、以下の内容が具体的に記されていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 児童の実態
- 2 保護者や地域の実態・願い
- 3 教師の願い
- 4 学校課題や重点目標
- 5 キャリア教育の全体目標
- 6 各学年（学年グループ）の重点目標
- 7 学校全体で身に付けさせたい能力や態度（基礎的・汎用的能力との関係）
- 8 各学年（学年グループ）で身に付けさせたい力（基礎的・汎用的能力との関係）
- 9 キャリア教育の成果に関する評価計画（キャリア教育アンケートやポートフォリオ等）
- 10 上記に該当するものはない

(2) 年間指導計画についておたずねします。

① 貴校には、キャリア教育の年間指導計画はありますか。（「計画がある」とは、指導の目標・内容や実施時期などが文章としてまとめられ、教員に周知されているものをいいます。）あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 計画がある ☞(2)②にもお答えください。
- 2 計画はない ☞(3)にお進みください。

② (2)①で「1 計画がある」と答えた方におたずねします。

年間指導計画には、以下の内容が含まれていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 学級活動におけるキャリア教育
- 2 道徳におけるキャリア教育
- 3 総合的な学習の時間におけるキャリア教育
- 4 各教科におけるキャリア教育
- 5 キャリア・カウンセリング（すべての児童を対象にした相談活動）
- 6 キャリア教育にかかわる体験的な学習（工場見学・商店街見学・農家見学等を含む職場見学や社会人による講話・実演など）
- 7 上記に該当するものはない

(3) その他の計画についておたずねします。貴校には、以下の計画はありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(全体計画の中に含まれている場合も「あてはまる」とお答えください。)

- 1 校内におけるキャリア教育に関する教職員の研修計画
- 2 保護者に働きかけたり、保護者と連携したりするキャリア教育に関する活動の計画
- 3 校外関係諸機関などとの連携計画
- 4 上記に該当するものはない

(4) 貴校が平成 24 年度のキャリア教育の計画を立てる上で、重視したことがらはどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 児童の実態や学校の特色、地域の実態を把握し計画に反映させること
- 2 児童が、学年末や卒業時まで「〇〇ができるようになる」など、具体的な目標を立てること
- 3 発達段階に応じたキャリア教育の実践が行われるようにすること
- 4 貴校のキャリア教育で育てる力と基礎的・汎用的能力との関連を整理すること
- 5 様々な教科や領域・行事等、教育課程全体を通したキャリア教育が行われるようにすること
- 6 現在の学びと将来の進路との関連を児童に意識づけること
- 7 取組の改善につながる評価を実施すること
- 8 職場見学や社会人による講話など職業教育にかかわる体験活動を充実させること
- 9 中学校の体験入学や学校紹介など、上級学校にかかわる体験活動を取り入れること
- 10 職場見学などの体験活動において、事前指導・事後指導を重視すること
- 11 保護者や地域、外部団体との連携を図ること
- 12 キャリア・カウンセリングを取り入れること
- 13 上記に該当するものはない
- 14 本校ではキャリア教育に関する計画がないので、回答できない

問 4 総合的な学習の時間において、貴校で自己の生き方を考えさせるなどキャリア教育に関する内容にどのくらい時間をあてていますか。学年ごとに、あてはまるものを1つずつ選んでください。

(1) 第3学年	(2) 第4学年	(3) 第5学年	(4) 第6学年
1 0時間	1 0時間	1 0時間	1 0時間
2 1～15時間	2 1～15時間	2 1～15時間	2 1～15時間
3 16～35時間	3 16～35時間	3 16～35時間	3 16～35時間
4 36～53時間	4 36～53時間	4 36～53時間	4 36～53時間
5 54～70時間	5 54～70時間	5 54～70時間	5 54～70時間

問 5 今年度、貴校で実施した(実施予定も含む)研修会の内容について、あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 キャリア教育の概要や推進方策全般に関する研修
- 2 キャリア教育の授業実践に関する研修
- 3 キャリア教育の評価に関する研修
- 4 キャリア・カウンセリングの実践に関する研修
- 5 雇用・就職・就業の動向に関する研修
- 6 グローバル化などの社会・経済・産業の構造的変化に関する研修
- 7 キャリア教育に関する上記以外の研修
- 8 キャリア教育に関する研修は実施していない

問 6 今年度、貴校で実施した(実施予定も含む)研修会で、活用した(予定の)資料や情報をすべて選んでください。

- 1 「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(平成 23 年 1 月中央教育審議会答申)」
- 2 「キャリア発達にかかわる諸能力の育成に関する調査研究報告書(平成 23 年 3 月国立教育政策研究所)」
- 3 「小学校キャリア教育の手引き(平成 22 年 1 月文部科学省)」
- 4 「小学校キャリア教育の手引き(改訂版)(平成 23 年 5 月文部科学省)」
- 5 パンフレット「自分に気付き、未来を築くキャリア教育(平成 21 年 3 月国立教育政策研究所)」
- 6 パンフレット「キャリア教育を創る(平成 23 年 11 月国立教育政策研究所)」
- 7 パンフレット「キャリア教育をデザインする(平成 24 年 8 月国立教育政策研究所)」
- 8 文部科学省・国立教育政策研究所のキャリア教育に関するウェブサイト
- 9 都道府県や市町村、教育センター等行政機関作成のキャリア教育に関するパンフレット、手引き及びウェブサイト
- 10 上記以外のキャリア教育に関する専門図書、雑誌論文・記事等の情報や資料
- 11 キャリア教育に関する研修は実施していない(またはその予定はない)

問 7 今年度、学校外で実施される研修会などへの教職員の派遣状況についておたずねします。派遣した(予定も含む)ものをすべて選んでください。

- 1 他の小学校のキャリア教育に関する授業研究会
- 2 幼稚園・保育所の公開授業(キャリア教育に関する授業にかかわらず)
- 3 中学校の公開授業(キャリア教育に関する授業にかかわらず)
- 4 高等学校などの義務教育以降の学校の公開授業(キャリア教育に関する授業にかかわらず)
- 5 教育相談、キャリア・カウンセリング等に関する研修会
- 6 雇用・就職・就業の動向に関する研修会
- 7 グローバル化などの社会・経済・産業の構造的変化に関する研修会
- 8 上記以外のキャリア教育に関する研修会
- 9 学校外におけるキャリア教育に関する研修会等には派遣していない

問 8 貴校が保護者を対象に企画・実施しているキャリア教育に関する諸活動についておたずねします。平成 24 年度において、次の(1)～(5)のそれぞれの企画・実施の有無について、実施対象学年欄の 1～4 の中からあてはまるものをすべて選んでください。

キャリア教育に関する諸活動	実施対象学年			
	低学年	中学年	高学年	なし
(1) 中学校への訪問や見学	1	2	3	4
(2) 中学校の関係者を招いて行う学校説明会	1	2	3	4
(3) 卒業生(中学生等)による学校・職場体験発表会	1	2	3	4
(4) 社会人による生き方や職業に関する講話・講演	1	2	3	4
(5) キャリア教育に関する学級活動や総合的な学習の時間、職場見学や職業調べの発表会などの公開	1	2	3	4

問9 キャリア教育の一環として、貴校が児童を対象として行う他の学校や諸機関との連携についておたずねします。以下の設問にお答えください。

(1) 貴校と他の学校との連携についておたずねします。次の①～④のそれぞれについて、あてはまるものを、連携内容欄の1～6の中からすべて選んでください。

連携先（学校関係）	連携内容					
	1 講話や出前授業（出張授業）の依頼・協力	2 職場見学や職場体験の受入依頼・受入協力	3 職場見学のまとめや発表会への参加依頼	4 職場見学以外の学習発表会への参加依頼	5 その他の活動における交流・協力・連携等	6 特に連携はしていない
① 近隣の幼稚園、保育所	1	2	3	4	5	6
② 近隣の小学校	1	2	3	4	5	6
③ 近隣の中学校	1	2	3	4	5	6
④ 近隣の高等学校	1	2	3	4	5	6

(2) 貴校と諸機関との連携についておたずねします。次の①～③のそれぞれについて、あてはまるものを、連携内容欄の1～6の中からすべて選んでください。

連携先（諸機関）	連携内容					
	1 講話・実演等の依頼	2 職場見学の受入依頼	3 職場見学のまとめや発表会への参加依頼	4 職場見学以外の学習発表会への参加依頼	5 職場見学受入先の仲介や開拓などの依頼	6 特に連携はしていない
① 家庭や保護者（PTAの委員会などを含む）	1	2	3	4	5	6
② 企業や事業所など	1	2	3	4	5	6
③ 特定非営利法人（キャリア教育コーディネーター等）	1	2	3	4	5	6

問10 貴校における「基礎的・汎用的能力」に関する指導状況についておたずねします。

**（参考）**  
 中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」には、「幼児期の教育から高等教育まで体系的にキャリア教育を進めること。その中心として、基礎的・汎用的能力を確実に育成するとともに、社会・職業との関連を重視し、実践的・体験的な活動を充実すること」とあります。  
 キャリア教育の中心として育成すべき能力として答申が提示した「基礎的・汎用的能力」とは、「分野や職種にかかわらず、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力」で、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の4つの能力に整理されています。

平成24年度において、次の(1)～(4)のそれぞれの指導状況について、実施対象学年欄の1～4の中からあてはまるものをすべて選んでください。

キャリア教育に関する指導方法・学習内容	実施対象学年			
	低学年	中学年	高学年	なし
(1) 「人間関係形成・社会形成能力」の育成に関する授業・指導 (例) 他者を理解する 他者に働きかける コミュニケーション能力を高める チームワークを大切にする	1	2	3	4
(2) 「自己理解・自己管理能力」の育成に関する授業・指導 (例) 自分の役割を理解する 忍耐力を育てる 気持ちをコントロールする 主体的に行動する	1	2	3	4
(3) 「課題対応能力」の育成に関する授業・指導 (例) 情報を理解し選択したり処理したりできる 課題を発見する 計画立案し実行する 評価し改善する	1	2	3	4
(4) 「キャリアプランニング能力」の育成に関する授業・指導 (例) 学ぶことや働くことの意義を理解する 将来設計をする 情報を選択し行動と改善にいかす	1	2	3	4

問 11 貴校が教育課程の中で、児童を対象に企画・実施しているキャリア教育に関する学習の機会や内容等についておたずねします。

平成 24 年度において、次の(1)～(13)のそれぞれの企画・実施の有無について、実施対象学年欄の 1～4 の中からあてはまるものをすべて選んでください。

キャリア教育に関する学習の機会や内容等	実施対象学年			
	低学年	中学年	高学年	なし
《キャリア教育に関する学習の機会》				
(1) 児童のキャリア発達を意識した各教科の授業 (キャリア発達…社会の中で自分の役割を果たしながら、自分の生き方を実現していく過程のこと)	1	2	3	4
(2) 児童のキャリア発達を意識した道徳・学級活動の授業	1	2	3	4
(3) 児童のキャリア発達を意識した総合的な学習の時間の授業	1	2	3	4
《キャリア教育に関する学習の内容等》				
(4) 自分を理解する学習（キャリア・カウンセリングを含む）	1	2	3	4
(5) 職場の訪問や見学、職業についての調査活動	1	2	3	4
(6) 事業所（企業・福祉施設・公共施設など）における体験学習（職場見学、ボランティア活動を含む）	1	2	3	4
(7) 上記の事業所での体験学習にかかわる事前・事後学習	1	2	3	4
(8) 中学校への訪問や見学、体験入学、学校説明会	1	2	3	4
(9) 中学校への訪問や見学、体験入学にかかわる事前・事後指導	1	2	3	4
(10) 中学校の生徒や教職員など関係者を招いて行う学校説明会	1	2	3	4
(11) 中学生による職場体験発表会・報告会	1	2	3	4
(12) 保護者による職業についての講話	1	2	3	4
(13) 社会人による生き方や進路に関する講話・講演	1	2	3	4

問 12 貴校におけるキャリア教育の現状についておたずねします。全校的な立場から「そのとおりである」と思うものをすべて選んでください。

- 1 キャリア教育の諸計画は、計画通り実施されている
- 2 キャリア教育に関する担当者を中心とする校務分掌組織が確立され、機能している
- 3 教員はキャリア教育に関して理解し、協力している
- 4 教員はキャリア教育に関する研修などに積極的に参加し、指導力の向上に努めている
- 5 教員は指導案の作成や教材の工夫に努めている
- 6 教員はキャリア教育に関する情報を収集し、活用している
- 7 キャリア教育にかかわる体験的学習（工場見学・商店街見学・農家見学等を含む職場見学や社会人による講話・実演など）を実施している **☞問 13 にもお答えください。**
- 8 キャリア教育を実施するための時間は確保されている
- 9 キャリア教育のための予算は確保されている
- 10 保護者は学校のキャリア教育に関して理解し、協力している
- 11 キャリア教育にあたって、社会人などの参画・協力を得ている
- 12 キャリア教育の計画の実施について評価を行っている
- 13 キャリア教育の実践によって、児童が将来や自らの生き方を考えるきっかけになり得ている
- 14 キャリア教育の実践によって、学習全般に対する児童の意欲が向上してきている
- 15 キャリア教育の実践によって、学校や地域の課題解決に向かっている
- 16 上記に該当するものはない

問 13 問 12 の選択肢 7（「キャリア教育にかかわる体験的な学習（工場見学・商店街見学・農家見学等を含む職場見学や社会人による講話・実演など）を実施している」）を選択した方におたずねします。

体験活動の事前指導・事後指導について、どのような内容のものを実施しましたか（予定も含む）。

次の(1)(2)について、それぞれあてはまるものをすべて選んでください。

(1) 事前指導について

- 1 マナー指導（礼儀作法や挨拶の方法、電話のかけ方の指導等）
- 2 訪問先についての調べ学習
- 3 キャリア教育の視点から見た体験活動の目的を確認する全体指導
- 4 キャリア教育の視点から見た体験活動の目的を個人で考えさせる活動
- 5 キャリア教育の視点から見た体験活動の目的についての話し合い活動
- 6 キャリア教育の視点から見た体験活動の目的に関する個人面談・個別指導
- 7 特に事前指導はしていない

(2) 事後指導について

- 1 訪問先へのお礼状の作成
- 2 報告書、レポート等の作成
- 3 校内の児童や教職員を対象にした発表会の実施
- 4 保護者や地域住民を対象にした発表会の実施
- 5 キャリア教育の視点から見た体験活動の目的が達成できたかを確認する全体指導
- 6 キャリア教育の視点から見た体験活動の目的が達成できたかを考えさせる個人面談・個別指導
- 7 キャリア教育の視点から見た体験活動で学んだことについて話し合う活動
- 8 特に事後指導はしていない

問 14 貴校がキャリア教育を適切に行っていく上で、現状からみて、今後どのようなことが重要になると思いますか。次の(1)～(18)のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

キャリア教育に関する事柄	1 とても重要だ と思う	2 ある程度重要だ と思う	3 あまり重要だ とは思わない	4 重要だとは 思わない
(1) 児童の実態や学校の特色、地域の実態を反映させた計画の立案をすること	1	2	3	4
(2) 児童が、学年末や卒業時までに「〇〇ができるようになる」など、具体的な目標を立てること	1	2	3	4
(3) 発達の段階に応じたキャリア教育の実践が行われるようにすること	1	2	3	4
(4) 貴校のキャリア教育で育てる力と基礎的・汎用的能力との関連を整理すること	1	2	3	4
(5) 様々な教科や領域・行事等、教育課程全体をキャリア教育の関連から整理すること	1	2	3	4
(6) 担当者を中心とする組織体制を確立すること	1	2	3	4
(7) キャリア教育を計画通り、確実に実施すること	1	2	3	4
(8) キャリア教育に関する教員の理解と協力を得ること	1	2	3	4
(9) 取組の改善につながる評価を実施すること	1	2	3	4
(10) キャリア教育にかかわる体験活動を実施すること	1	2	3	4
(11) キャリア教育にかかわる体験活動では、事前指導・事後指導を重視すること	1	2	3	4
(12) 保護者や地域、外部団体との連携を図ること	1	2	3	4
(13) 職場見学等の体験活動における受入事業所等を開拓すること	1	2	3	4
(14) キャリア教育に関する研修への参加などによる指導力の向上を図ること	1	2	3	4
(15) キャリア教育に関する指導案の作成や教材の工夫などによる指導の改善・充実をすること	1	2	3	4
(16) キャリア教育に関する情報を収集し、活用すること	1	2	3	4
(17) キャリア教育を実施するための時間を確保すること	1	2	3	4
(18) キャリア教育のための予算を確保すること	1	2	3	4

問 15 貴校がキャリア教育における「児童理解のための個人情報」として利用するために、平成 24 年度に収集した（実施・収集予定を含む）資料についておたずねします。

平成 24 年度において、次の(1)～(7)のそれぞれの資料収集の有無について、実施対象学年欄の1～4の中からあてはまるものをすべて選んでください。

児童理解のための個人情報	実施対象学年			
	低学年	中学年	高学年	なし
(1) 自校で作成した校内テスト	1	2	3	4
(2) 標準学力検査	1	2	3	4
(3) 性格・行動などに関する検査・調査	1	2	3	4
(4) 適性・興味などに関する検査・調査	1	2	3	4
(5) 体験活動や授業で使用したワークシート、レポート、作品、感想文、自己評価カードなどのポートフォリオ	1	2	3	4
(6) 児童の観察の記録	1	2	3	4
(7) 面接・相談の記録	1	2	3	4

以上で質問はすべて終わりました。ご協力ありがとうございました。



## キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査（Ⅰ－②小学校・学級担任調査票）

### おねがい

現在、小学校段階から児童生徒の発達段階に応じたキャリア教育の推進が求められています。文部科学省では、キャリア教育を「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」ととらえ、その推進のための条件整備にあたっています。

この調査は、学級担任の先生方が取り組んでおられるキャリア教育の状況についてお聞きして、今後のキャリア教育の充実に役立つようとするものです。これまで、中学校・高等学校においては、7年に一度、「進路指導に関する総合的実態調査」を実施してきました。今回の調査では、これまでの調査を継続するとともに、小学校段階からのキャリア教育の推進の観点から、その内容をキャリア教育に重点を置き小学校も対象として実施することといたしました。大変お忙しいこととは存じますが、本調査の趣旨をご理解のうえ何卒ご協力をお願いいたします。

調査は無記名で行います。回答内容はすべて統計的に処理され、あなたがどのように答えたのかはわからないようになっていきますので、どうぞありのままをお答えください。

・ご回答はすべて別紙のマークシートにお願いします。あてはまる番号を選択の上、鉛筆で塗りつぶしてください。

・回答を書き終えたら、学校調査票の取扱者がとりまとめ、別紙マークシートのみを②の封筒に入れて教育委員会に渡してください。

文部科学省 国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センター

問1 キャリア教育に関して、以下の設問にお答えください。なお、ご回答は別紙のマークシートにお願いします（「問2」以降、すべて同じ）。

(1) キャリア教育の推進が求められていることについてご存知でしたか。あてはまるものを選んでください。

- 1 知っていた
- 2 何となく知っていた
- 3 知らなかった

(2) 以下のキャリア教育に関する資料や情報の中で、読んだことがあるものをすべて選んでください。

- 1 「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（平成23年1月中央教育審議会答申）」
- 2 「キャリア発達にかかわる諸能力の育成に関する調査研究報告書（平成23年3月国立教育政策研究所）」
- 3 「小学校キャリア教育の手引き（平成22年1月文部科学省）」
- 4 「小学校キャリア教育の手引き（改訂版）（平成23年5月文部科学省）」
- 5 パンフレット「自分に気付き、未来を築くキャリア教育（平成21年3月国立教育政策研究所）」
- 6 パンフレット「キャリア教育を創る（平成23年11月国立教育政策研究所）」
- 7 パンフレット「キャリア教育をデザインする（平成24年8月国立教育政策研究所）」
- 8 文部科学省・国立教育政策研究所のキャリア教育に関するウェブサイト
- 9 都道府県や市町村、教育センター等行政機関作成のキャリア教育に関するパンフレット、手引き及びウェブサイト
- 10 上記以外のキャリア教育に関する専門図書、雑誌論文・記事等の情報や資料
- 11 上記のいずれも読んだことがない

(3) 今年度、あなたが参加した（参加予定がある）校内研修会をすべて選んでください。

- 1 キャリア教育の概要や推進方策全般に関する研修
- 2 キャリア教育の授業実践に関する研修
- 3 キャリア教育の評価に関する研修
- 4 キャリア・カウンセリング（すべての児童を対象にした相談活動）の実践に関する研修
- 5 雇用・就職・就業の動向に関する研修
- 6 グローバル化などの社会・経済・産業の構造的変化に関する研修
- 7 上記以外のキャリア教育に関する研修
- 8 上記のいずれにも参加したことはない

(4) 学校外における研修等への参加状況について、平成20年度から平成24年度までの5年間で、あなたが参加した研修（個人で参加した研修も含む）をすべて選んでください。

- 1 他の小学校のキャリア教育に関する授業研究会
- 2 幼稚園・保育所の公開授業（キャリア教育に関する授業にかかわらず）
- 3 中学校の公開授業（キャリア教育に関する授業にかかわらず）
- 4 高等学校などの義務教育以降の学校の公開授業（キャリア教育に関する授業にかかわらず）
- 5 教育相談、キャリア・カウンセリング等に関する研修会
- 6 雇用・就職・就業の動向に関する研修会
- 7 グローバル化などの社会・経済・産業の構造的変化に関する研修会
- 8 上記以外のキャリア教育に関する授業研究会、研修会
- 9 研修会には参加していない

問2 「基礎的・汎用的能力」についておたずねします。

〈参考〉

中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」には、「幼児期の教育から高等教育まで体系的にキャリア教育を進めること。その中心として、基礎的・汎用的能力を確実に育成するとともに、社会・職業との関連を重視し、実践的・体験的な活動を充実すること」とあります。

キャリア教育の中心として育成すべき能力として答申が提示した「基礎的・汎用的能力」とは、「分野や職種にかかわらず、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力」で、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の4つの能力に整理されています。

この「基礎的・汎用的能力」についてご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 「基礎的・汎用的能力」について詳しく知っており、その内容を人に説明することができる
- 2 「基礎的・汎用的能力」について、その内容を人に説明はできないがある程度知っている
- 3 内容はよく知らないが、「基礎的・汎用的能力」という言葉は聞いたことがある
- 4 「基礎的・汎用的能力」という言葉を聞いたことがない

問3 あなたの学級あるいは学年における、キャリア教育の計画・実施の現状についておたずねします。

あなたが「そのとおりである」と思うものをすべて選んでください。

- 1 学級・学年のキャリア教育の計画は、学校全体のキャリア教育の計画に基づいて作成されたものである
- 2 学級・学年のキャリア教育の計画は、児童のキャリア発達の課題に即して作成されたものである
- 3 学級・学年のキャリア教育は計画に基づいて実施している
- 4 学級のキャリア教育計画を実施するための時間は確保されている
- 5 キャリア・カウンセリングを実施している
- 6 キャリア教育に関する指導案や教材の作成等を工夫している
- 7 キャリア教育に関する研修などに積極的に参加し、自己の指導力の向上に努めている
- 8 キャリア教育にかかわる体験的な学習（工場見学・商店街見学・農家見学等を含む職場見学や社会人による講話・実演など）を実施している
- 9 キャリア教育にかかわる体験的な学習（工場見学・商店街見学・農家見学等を含む職場見学や社会人による講話・実演など）における事前・事後指導を十分に行っている
- 10 社会人や保護者の講話など地域や家庭の教育力の活用に努めている
- 11 キャリア教育の成果についての評価（アンケートやポートフォリオなど）を行っている
- 12 特にキャリア教育に関する計画・実施はしていない

問4 あなたの学級あるいは学年における、キャリア教育の計画・実施に関する児童や保護者の現状についておたずねします。あなたが「そのとおりである」と思うものをすべて選んでください。

- 1 児童はキャリア教育に関する学習に積極的に取り組んでいる
- 2 キャリア教育を実施する中で、児童は将来の生き方や進路を真剣に考えている
- 3 児童は、キャリア教育に関する学習や活動を通して、学習全般に対する意欲が向上してきている
- 4 保護者は学校のキャリア教育の計画・実施について理解し、協力している
- 5 上記に特にあてはまるものはない

問5 あなたの学級でキャリア教育を行う上で、特にどのようなことに重点をおいて指導していますか。

次の(1)～(12)のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

指導上の留意事項	1 よく指導している	2 ある程度指導している	3 あまり指導していない	4 指導していない
(1) 様々な立場や考えの相手に対して、その意見を聴き理解しようとする	1	2	3	4
(2) 相手が理解しやすいように、自分の考えや気持ちを整理して伝える	1	2	3	4
(3) 自分の果たすべき役割や分担を考え、周囲の人と力を合わせて行動しようとする	1	2	3	4
(4) 自分の興味や関心、長所や短所などについて把握し、自分らしさを発揮すること	1	2	3	4
(5) 喜怒哀楽の感情に流されず、自分の行動を適切に律して取り組もうとする	1	2	3	4
(6) 不得意なことや苦手なことでも、自分の成長のために進んで取り組もうとする	1	2	3	4
(7) 調べたいことがある時、自ら進んで資料や情報を集め、必要な情報を取捨選択すること	1	2	3	4
(8) 起きた問題の原因、解決すべき課題はどこにあり、どう解決するのかを工夫すること	1	2	3	4
(9) 活動や学習を進める際、適切な計画を立てて進めたり、評価や改善を加えて実行したりすること	1	2	3	4
(10) 学ぶことや働くことの意義について理解し、学校での学習と自分の将来をつなげて考えること	1	2	3	4
(11) 自分の将来について具体的な目標をたて、現実を考えながらその実現のための方法を考えること	1	2	3	4
(12) 自分の将来の目標の実現に向かって具体的に行動したり、その方法を工夫・改善したりすること	1	2	3	4



問6 学級のキャリア教育について、あなた自身が困ったり悩んだりしていることについておたずねします。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 キャリア教育の全体計画がない
- 2 キャリア教育に関する学年や学級の計画がない
- 3 キャリア教育を実施する十分な時間が確保できない
- 4 キャリア教育に関する指導の内容・方法をどのようにしたらよいかわからない
- 5 キャリア教育の適切な教材が得られない
- 6 キャリア・カウンセリングの内容・方法がわからない
- 7 学校・学年の理解や協力が得られない
- 8 キャリア教育にかかわる学習や体験活動について、保護者の理解や協力が得られない
- 9 キャリア教育にかかわる学習や体験活動の計画・実施にあたって地域や企業等の協力が得られない
- 10 キャリア教育を推進する予算が確保されない
- 11 キャリア教育に関する研修の機会が得られない
- 12 キャリア教育の計画・実施についての評価の仕方がわからない
- 13 評価に基づいたキャリア教育の計画や実践に関する改善がなされない
- 14 上記の中にあてはまる悩みはない

問7 学級でキャリア教育を適切に行っていく上で、現状からみて、今後どのようなことが重要になると思いますか。次の(1)～(15)のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

キャリア教育の計画・実施に関する事柄	1 とても重要だ と思う	2 ある程度重要だ と思う	3 あまり重要だ とは思わない	4 重要だとは思わない
(1) 学校のキャリア教育全体計画に基づく学級・学年のキャリア教育の計画の立案	1	2	3	4
(2) 児童のキャリア発達の課題に即した学級・学年のキャリア教育の計画の立案	1	2	3	4
(3) 諸計画に基づくキャリア教育の実施	1	2	3	4
(4) キャリア教育を実施するための時間の確保	1	2	3	4
(5) 自らの生き方にかかわるキャリア教育の充実	1	2	3	4
(6) キャリア・カウンセリングの充実	1	2	3	4
(7) キャリア教育に関する指導案の作成や教材の工夫	1	2	3	4
(8) キャリア教育に関する研修などへの参加による自己の指導力の向上	1	2	3	4
(9) キャリア教育にかかわる体験的な学習（工場見学・商店街見学・農家見学等を含む職場見学や社会人による講話・実演など）の充実	1	2	3	4
(10) キャリア教育にかかわる体験的な学習（工場見学・商店街見学・農家見学等を含む職場見学や社会人による講話・実演など）における事前・事後指導の充実	1	2	3	4
(11) 職場見学等の体験活動における受入事業所等の開拓	1	2	3	4
(12) 社会人や保護者の講話など、地域や家庭の教育力の活用	1	2	3	4
(13) キャリア教育の計画・実施に対する保護者の理解と協力	1	2	3	4
(14) 学級のキャリア教育の計画・実施に対する他の教員の理解と協力	1	2	3	4
(15) キャリア教育の成果に関する評価	1	2	3	4

以上で質問はすべて終わりました。ご協力ありがとうございました。

キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査

I-③小学校・児童調査 調査票・回答票

おねがい

この調査は、小学生のみなさんが自分の将来や職業についてどのように考えているかをお聞きして、これからの学校での授業や活動をよりよくするために役立てようとするものです。

この調査では、あなたの名前を書く必要はありません。あなたがどのように答えたのかはわからないようになっていきますので、どうぞありのままを答えてください。

〈答の書き方〉

- ・質問をよく読んで、あなたにあてはまる番号を選んでください。
- ・その番号の下にある○の中をえんぴつ（いつも学校で使っている黒えんぴつ）でぬりつぶしてください。
- ・まちがってしまった時には消しゴムできれいに消して、正しい番号の下にある○の中をえんぴつで黒くぬります。
- ・あてはまる番号の下にある○の中を黒くぬる以外に、文字などを書いたりしないでください。
- ・すべての質問に答え終わったら、先生の指示にしたがって、先生に渡してください。（担任の先生は、③の封筒に入れ、とりまとめの先生に提出してください。）

文部科学省 国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センター

問1 あなたの性別はどちらですか。あてはまる番号を選んで、その番号の下にある○の中をぬりつぶしてください。

- 1 男  
2 女

1	2
○	○

問2 あなたは、将来自分がつきたい職業について、おうちの人と話すことはありますか。あてはまるものを1つ選んで、その番号の下にある○の中をぬりつぶしてください。

- 1 よく話している  
2 ときどき話している  
3 あまり話したことはない  
4 まだ話したことはない

1	2	3	4
○	○	○	○

問3 将来の職業についておたずねします。

(1) 将来、何かの職業について、働きたいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで、その番号の下にある○の中をぬりつぶしてください。

- 1 働きたいと思っている  
2 少しは働きたいと思っている  
3 あまり働きたいとは思わない  
4 まったく働きたいとは思わない

1	2	3	4
○	○	○	○

(2) あなたは、将来つきたい職業が決まっていますか。あてはまるものを1つ選んで、その番号の下にある○の中をぬりつぶしてください。

- 1 はっきり決まっている  
2 おおよそ決まっている  
3 まだ決まっていない

1	2	3
○	○	○

問4 あなたは、将来どんな職業を選びたいですか。次の(1)～(10)のそれぞれについて、あなたの考えに近いと思うものを1～4の中から1つずつ選んで、その番号の下にある○の中をぬりつぶしてください。

職業を選ぶ考え方	とても 選びたい	選びたい	あまり 選びたくない	選びたくない
	1	2	3	4
(1) 自分の性格や自分もつ力をいかせる職業	○	○	○	○
(2) 多くの人から「すごい人」「えらい人」と思われる職業	○	○	○	○
(3) 自分の自由になる時間がたくさんある職業	○	○	○	○
(4) ずっと同じ仕事を続けられる職業	○	○	○	○
(5) たくさんのお金がもらえる職業	○	○	○	○
(6) 専門的な技が身に付けられる職業	○	○	○	○
(7) 仕事を辞めさせられる心配がない職業	○	○	○	○
(8) 社会や人のために役に立つ職業	○	○	○	○
(9) 自分の興味や好みにあっている職業	○	○	○	○
(10) みんなと協力して仕事ができる職業	○	○	○	○

問5 あなたのふだんの生活（授業中や放課後、家庭での生活）についておたずねします。次の(1)～(12)のそれぞれについて、自分のふだんの生活の様子をふり返った時、あてはまるものを1～3の中から1つずつ選んで、その番号の下にある○の中をぬりつぶしてください。

ふだんの生活の様子	時間		
	1 10分以内	2 10分以上 20分以内	3 20分以上 30分以内
(1) 友だちや家の人の話を聞く時は、その人の考えや気持ちを分かろうと気をつけている	○	○	○
(2) 自分の考えや気持ちを、相手に分かりやすく伝えようと気をつけている	○	○	○
(3) 自分から仕事を見つげたり、役割分担したりしながら、力を合わせて行動しようとしている	○	○	○
(4) 自分が興味をもっていること、長所や短所などについて分かろうとしている	○	○	○
(5) 気持ちが落ち込んで、やる気が出ないときでも、やるべきことはきちんとやろうとしている	○	○	○
(6) 好きではないことや苦手なことでも、進んで取り組もうとしている	○	○	○
(7) 調べたいことや知りたいことがある時、進んで資料や情報を集めたり人にたずねたりしている	○	○	○
(8) 何か困ったことや問題が起きた時、「どうして起きたのか」「どうすればよいのか」を考えようとしている	○	○	○
(9) 何かをする時、計画を立てて進めたり、進んでいる途中でやり方に工夫を加えたりしている	○	○	○
(10) 学習することや仕事をする事の大切さについて考えたり、今学校で学習していることと自分が大人になった時のこととのつながりを考えたりしている	○	○	○
(11) 将来のあこがれの職業や役割をもち、それをかなえる方法について考えている	○	○	○
(12) 自分の夢や目標に向かって努力したり、生活や勉強の仕方を工夫したりしている	○	○	○

問6 あなたは、将来の職業について、これまで学校でどのような学習活動をしてきましたか。活動したことがあると思うものをすべて選び、その番号の下にある○の中をぬりつぶしてください。

- 1 いろいろな仕事を知る学習
- 2 自分にあった職業を考える学習
- 3 自分がなりたい職業の内容について調べる活動
- 4 お店や工場、農家や漁師の仕事など、様々な職業を見学したり体験したりする活動
- 5 大人の人から職業についてのお話を聞いたり、質問したりする活動
- 6 特に学習したことはない

1	2	3	4	5	6
○	○	○	○	○	○

問7 学校の生活や学習の中で、あなたはこれまでどのようなことを学んできましたか。自分で気づいたり人に教えられたりしたと思うことをすべて選んで、その番号の下にある○の中をぬりつぶしてください。

- 1 友だちや先生の考えや気持ちを聴くことの大切さ
- 2 自分の考えや気持ちを、相手に分かりやすく伝えることの大切さ
- 3 自分から仕事を見つげたり、役割分担したりしながら、力を合わせて行動することの大切さ
- 4 自分には、自分らしい興味や長所があること
- 5 気持ちが落ち込んで、やる気が出ないときでも、やるべきことはきちんとやることの大切さ
- 6 好きではないことや苦手なことでも、進んで取り組むことの大切さ
- 7 知りたいことについて、資料や情報を集める方法がいろいろあること
- 8 何か困ったことや問題が起きた時、「どうして起きたのか」「どうすればよいのか」を考えることの大切さ
- 9 何かをする時、計画を立てることや、やり方に工夫を加えたりすることの大切さ
- 10 今学校で学習していることが、自分が大人になった時の仕事や生活で役立つこと
- 11 自分が大人になった時のあこがれの職業や役割をもつことの大切さ
- 12 自分の夢や目標に向かって努力することの大切さ
- 13 特にあてはまるものはない

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

問8 あなたは、将来の職業について考えるために、これから学校でどのような学習を受けたいと思いますか。次の(1)～(5)のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んで、その番号の下にある○の中をぬりつぶしてください。

職業についての学習内容	受けたい程度			
	1 とても受けたい	2 受けたい	3 あまり受けたくない	4 受けたくない
(1) お店や工場、農家や漁師の仕事など、いろいろな職業を知る学習	○	○	○	○
(2) 自分にあった職業を考える学習	○	○	○	○
(3) 自分がなりたい職業の内容について調べる活動	○	○	○	○
(4) いろいろな職業を見学したり体験したりする活動	○	○	○	○
(5) 大人の人から職業についてのお話を聞いたり、質問したりする活動	○	○	○	○

以上で質問はすべて終わりました。ご協力ありがとうございました。

キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査（Ⅰ-④小学校・保護者調査票）

おねがい

現在、小学校段階から児童生徒の発達の段階に応じたキャリア教育の推進が求められています。文部科学省では、キャリア教育を「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」ととらえ、その推進のための条件整備にあたっています。

このたび、文部科学省 国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センターでは、小学校におけるキャリア教育（将来の生き方や卒業後の進路についての教育）の充実に役立てるため、保護者の皆様に、学校におけるキャリア教育への期待などについてアンケート調査を実施いたします。これまで、中学校・高等学校においては、7年に一度調査を実施してきました。今回の調査では、小学校段階からのキャリア教育の推進の観点から、小学校も対象として実施することといたしました。この調査は、現在、全国の小学6年生の保護者の方々の中から無作為に抽出した約5,360名を対象に実施します。大変お忙しいことは存じますが、本調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

本調査票は、お子さんから小学校へ、小学校から教育委員会へと回収されます。また、回答内容は、すべて統計的に処理され、秘密は厳守いたします。

・ご回答はすべて別紙のマークシートにお願いします。あてはまる番号を選択の上、鉛筆で塗りつぶしてください。

・回答を書き終えましたら、別紙マークシートのみをお子さんを通して担任の先生に渡してくださるようお願いいたします。

文部科学省 国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センター

問1 あなたの性別についておたずねします。あてはまる番号を選んでください。なお、ご回答は別紙のマークシートにお願いします（「問2」以降、すべて同じ）。

- 1 男                      2 女

問2 キャリア教育に関しておたずねします。以下の設問にお答えください。

(1) あなたは、「キャリア教育」という言葉聞いたことがありますか。あてはまるものを選んでください。

- 1 聞いたことがある      ☞ 次の問2(2)にもお答えください。  
2 聞いたことがない      ☞ 問3にお進みください。

(2) (1)で「1 聞いたことがある」と答えた方におたずねします。

キャリア教育の推進が求められていることについてご存知でしたか。あてはまるものを選んでください。

- 1 知っていた  
2 何となく知っていた  
3 知らなかった

問3 お子さんの将来の生き方や進路に関して、お子さんと話し合っていることについておたずねします。

(1) 将来の生き方や進路について、お子さんとどの程度話し合っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 よく話し合っている  
2 ときどき話し合っている  
3 あまり話し合っていない  
4 ほとんど話し合っていない

(2) あなたがお子さんと話した内容について、あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 中学校、高等学校、大学など上級学校のことや様々な職業のこと  
2 お子さんのよさや得意なこと  
3 保護者ご自身の歩んできた人生やそこから得た教訓  
4 家業や保護者ご自身の職業のやりがいや苦労  
5 将来に向けた勉強の大切さ  
6 お子さんが憧れている将来の職業  
7 お子さんの現在の生活や将来についての悩みや不安  
8 お子さんが職場見学やボランティア活動で感じたことや考えたこと  
9 今後、家庭や学校でみんなと生活するうえで大切な心構えなど  
10 今日の社会で起きている様々な問題  
11 上記のようなことについて話し合ったことはない

問4 あなたのお子さんが行っている職業や仕事についての学習に関しておたずねします。

(1) あなたのお子さんは、学校で職業や仕事についての学習（工場見学・商店街見学・農家見学等を含む職場見学や社会人による講話・実演など）をしていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 職業や仕事についての学習をしている  
2 職業や仕事についての学習はしていない  
3 職業や仕事についての学習をしているかわからない

(2) あなたのお子さんが、小学校で職業や仕事についての学習することをどう思いますか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- 1 有意義な学習だと思う  
2 有意義な学習だとは思わない  
3 どちらともいえない

問5 義務教育終了後（中学校卒業後）のお子さんの進路の選択を考える際、どのようなことを参考にしたいとお考えですか。次の(1)～(9)のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

	1 参考にしたい	2 ある程度参考にしたい	3 あまり参考にしようと思わない	4 参考にしようと思わない
進路選択の際、参考にすることがら				
(1) 学校や学校外で受けたテストの結果や成績	1	2	3	4
(2) お子さんの適性（向き・不向き）や興味	1	2	3	4
(3) お子さん自身の夢や希望、あこがれ	1	2	3	4
(4) 家族の職業や仕事	1	2	3	4
(5) 様々な職業に就いている大人との出会い	1	2	3	4
(6) 様々な職業や仕事についての情報	1	2	3	4
(7) 職業に関する体験活動	1	2	3	4
(8) 家族での相談	1	2	3	4
(9) 教師や他の保護者や知り合いの人との相談	1	2	3	4

問6 あなたのお子さんに、学校における授業や生活で、以下のことがらについて、どの程度指導してほしいですか。次の(1)～(12)のそれぞれについて、あてはまるものを1～3の中から1つずつ選んでください。

	1 重点をおいて指導してほしいと思う	2 ある程度指導してほしいと思う	3 特に指導してほしいとは思わない
授業や生活での指導項目			
(1) 様々な立場や考えの相手に対して、その意見を聴き理解しようとする	1	2	3
(2) 相手が理解しやすいように、自分の考えや気持ちを整理して伝える	1	2	3
(3) 自分の果たすべき役割や分担を考え、周囲の人と力を合わせて行動しようとする	1	2	3
(4) 自分の興味や関心、長所や短所などについて把握し、自分らしさを発揮すること	1	2	3
(5) 喜怒哀楽の感情に流されず、自分の行動を適切に律して取り組もうとする	1	2	3
(6) 不得意なことや苦手なことでも、自分の成長のために進んで取り組もうとする	1	2	3
(7) 調べたいことがある時、自ら進んで資料や情報を集め、必要な情報を取捨選択すること	1	2	3
(8) 起きた問題の原因、解決すべき課題はどこにあり、どう解決するかを工夫すること	1	2	3
(9) 活動や学習を進める際、適切な計画を立てて進めたり、評価や改善を加えて実行したりすること	1	2	3
(10) 学ぶことや働くことの意義について理解し、学校での学習と自分の将来をつなげて考えること	1	2	3
(11) 自分の将来について具体的な目標をたて、現実を考えながらその実現のための方法を考えること	1	2	3
(12) 自分の将来の目標の実現に向かって具体的に行動したり、その方法を工夫・改善したりすること	1	2	3

以上で質問はすべて終わりました。ご協力ありがとうございました。

キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査（Ⅱ－①中学校・学校調査票）

おねがい

このたび、文部科学省 国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センターでは、キャリア教育の充実及びキャリア教育についての実態を把握するために、アンケート調査を実施することになりました。この調査は、7年に一度、中学校・高等学校で実施している「進路指導に関する総合的実態調査」の一環として行うものです。今回の調査は、全国各都道府県及び政令指定都市の公立小学校・公立中学校・公立高等学校の中から抽出した2,500校を対象に実施します。

現在、小学校段階から児童生徒の発達の段階に応じたキャリア教育の推進が求められています。文部科学省では、キャリア教育を「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」ととらえ、その推進のための条件整備にあたっています。

定義・概念としては、進路指導とキャリア教育との間に大きな違いはありません。しかし、キャリア教育が就学前段階から体系的に取り組むべきものである点に注目すると、進路指導は、「就職または進学に関する指導」として「中学校・高等学校で行うべきもの」として限定的にとらえられている場合があるようです。今回の調査では、これまでの調査を継続するとともに、狭義の意味の「進路指導」を包括する概念として「キャリア教育」を中心に実態調査を実施することといたしました。大変お忙しいことは存じますが、本調査の趣旨をご理解のうえ何卒ご協力をお願いいたします。

- ・本調査票（学校調査票）については、キャリア教育の企画や全体計画等の作成に主にかかわる方（キャリア教育にかかわる担当者）と協議の上、管理職（校長・副校長・教頭）の方がご回答ください。
- ・ご回答はすべて別紙のマークシートにお願いします。あてはまる番号を選択の上、鉛筆で塗りつぶしてください。
- ・回答を書き終えたら、別紙マークシートのみを用意してある①の封筒に入れ、他の調査票と一緒にして該当の教育委員会へ返送してください。なお、回答内容については、すべてが統計的に処理され、学校名や回答者が特定されることはありません。

文部科学省 国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センター

問1 貴校の生徒数について、あてはまるものを1つ選んでください（平成24年5月1日現在）。なお、ご回答は別紙のマークシートにお願いします（「問2」以降、すべて同じ）。

- 1 100人未満
- 2 100人以上200人未満
- 3 200人以上600人未満
- 4 600人以上

問2 貴校のキャリア教育の企画や全体計画等の作成に主にかかわる担当者や組織についておたずねします。

- (1) キャリア教育の企画や全体計画等の作成を中心となって進める担当者の方は、校務分掌上、次のいずれに該当しますか。あてはまるものを1つ選んでください。
  - 1 キャリア教育のみを担当している。 ☞ 問2(3)～(7)にもお答えください。
  - 2 他の担当と兼任している ☞ 次の問2(2)～(7)にもお答えください。
  - 3 担当者がいない ☞ 問3にお進みください。

(2) (1)で「2 他の担当と兼任している」と答えた方におたずねします。

キャリア教育の企画や全体計画等の作成を中心となって進める担当者の兼任の状況について、あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 進路指導主事（主任）と兼任している
- 2 教務主任と兼任している
- 3 生徒指導主事（主任）と兼任している
- 4 研究主任（研究主担当）と兼任している
- 5 第1・2学年の学級担任・副担任あるいは学年主任と兼任している
- 6 第3学年の学級担任・副担任あるいは学年主任と兼任している
- 7 上記以外の主任と兼任している（人権教育担当や道徳教育担当等）

(3) 以下(3)～(7)は、(1)で「1 キャリア教育のみを担当している」「2 他の担当と兼任している」と答えた方におたずねします。

キャリア教育にかかわる担当者の現任校における当該担当者としての在任期間について、あてはまるものを1つ選んでください。

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1 1年目     | 3 4年目～5年目 |
| 2 2年目～3年目 | 4 6年目以上   |

(4) キャリア教育にかかわる担当者の週あたり担当授業時数（教科、道徳、学級活動、総合的な学習の時間を含む）について、あてはまるものを1つ選んでください。（小数第一位を四捨五入）

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1 0時間     | 5 13～15時間 |
| 2 1～6時間   | 6 16～18時間 |
| 3 7～9時間   | 7 19～21時間 |
| 4 10～12時間 | 8 22時間以上  |

(5) キャリア教育の企画や全体計画等の作成を主体となって進める校務分掌組織上の構成について、あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 特定の学年担当者による組織である
- 2 進路指導委員会等、進路指導にかかわる分掌組織と兼ねた組織（部・課・係・委員会等）である
- 3 生徒指導委員会等、生徒指導にかかわる分掌組織と兼ねた組織（部・課・係・委員会等）である
- 4 研究推進委員会等、校内研究にかかわる分掌組織と兼ねた組織（部・課・係・委員会等）である
- 5 1～4以外の分掌組織と兼ねた組織（部・課・係・委員会等）である
- 6 キャリア教育を中心に行う専門組織（部・課・係・委員会等）である
- 7 キャリア教育にかかわる担当者が中心となって行っており、特に組織は設けていない

(6) キャリア教育の企画や全体計画等の作成を主体となって進める校務分掌上の組織の名称には、「キャリア」という文言が入っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 「キャリア」という文言が入っている  
(例：キャリア教育推進部、キャリア・進路指導部会、キャリア教育担当部会等)
- 2 「キャリア」という文言は入っていない  
(例：進路指導部会、教務部、2学年部会等)
- 3 特に組織は設けていない



(7) キャリア教育の企画や全体計画の作成を主体となって進める校務分掌上の組織（本務者）は何人で構成されていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- |   |                    |    |             |
|---|--------------------|----|-------------|
| 1 | 0人（組織に本務者は所属していない） | 7  | 6～10人       |
| 2 | 1人                 | 8  | 11～15人      |
| 3 | 2人                 | 9  | 16～20人      |
| 4 | 3人                 | 10 | 21人以上       |
| 5 | 4人                 | 11 | 特に組織は設けていない |
| 6 | 5人                 |    |             |

問3 貴校の平成24年度のキャリア教育に関する計画についておたずねします。以下の設問にお答えください。

(1) 全体計画についておたずねします。

① 貴校には、キャリア教育の全体計画はありますか。（「計画がある」とは、その内容が文章としてまとめられ、教員に周知されているものをいいます。）あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 計画がある ☞ (1)②にもお答えください。  
2 計画はない ☞ (2)にお進みください。

② ①で「1 計画がある」と答えた方におたずねします。

全体計画には、以下の内容が具体的に記されていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 生徒の実態
- 2 保護者や地域の実態・願い
- 3 教師の願い
- 4 学校課題や重点目標
- 5 キャリア教育の全体目標
- 6 各学年の重点目標
- 7 学校全体で身に付けさせたい能力や態度（基礎的・汎用的能力との関係）
- 8 各学年で身に付けさせたい力（基礎的・汎用的能力との関係）
- 9 キャリア教育の成果に関する評価計画（キャリア教育アンケートやポートフォリオ等）
- 10 上記に該当するものはない

(2) 年間指導計画についておたずねします。

① 貴校には、キャリア教育の年間指導計画はありますか。（「計画がある」とは、指導の目標・内容や実施時期などが文章としてまとめられ、教員に周知されているものをいいます。）あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 計画がある ☞ (2)②にもお答えください。  
2 計画はない ☞ (3)にお進みください。

② ①で「1 計画がある」と答えた方におたずねします。

年間指導計画には、以下の内容が含まれていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 学級活動におけるキャリア教育
- 2 道徳におけるキャリア教育
- 3 総合的な学習の時間におけるキャリア教育
- 4 各教科におけるキャリア教育
- 5 キャリア・カウンセリング（進路相談）  
（すべての生徒を対象にした進学や就職等に関する相談）
- 6 キャリア教育にかかわる体験的な学習（職場体験活動や社会人による講話など）
- 7 上記に該当するものはない

(3) その他の計画についておたずねします。貴校には、以下の計画はありますか。あてはまるものをすべて選んでください。（全体計画の中にも含まれている場合も「あてはまる」とお答えください。）

- 1 校内におけるキャリア教育に関する教職員の研修計画
- 2 保護者に働きかけたり、保護者と連携したりするキャリア教育に関する活動の計画
- 3 卒業生への追指導
- 4 校外関係諸機関などとの連携計画
- 5 「進路の手引き」等の作成  
（進路状況、職業研究、受験手続、合格体験記など、生徒が進路を考えるうえで参考となる情報を掲載し、生徒に配布する資料）
- 6 上記に該当するものはない

(4) 貴校が平成24年度のキャリア教育の計画を立てる上で、重視したことがらはどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 生徒の実態や学校の特色、地域の実態を把握し計画に反映させること
- 2 生徒が、学年末や卒業時まで「〇〇ができるようになる」など、具体的な目標を立てること
- 3 発達段階に応じたキャリア教育の実践が行われるようにすること
- 4 貴校のキャリア教育で育てる力と基礎的・汎用的能力との関連を整理すること
- 5 様々な教科や領域・行事等、教育課程全体を通したキャリア教育が行われるようにすること
- 6 現在の学びと将来の進路との関連を生徒に意識づけること
- 7 取組の改善につながる評価を実施すること
- 8 職場体験活動や社会人による講話など、職業や就労にかかわる体験活動を充実させること
- 9 高等学校等の体験入学や学校紹介など、上級学校にかかわる体験活動を取り入れること
- 10 職場体験活動などの体験活動において、事前指導・事後指導を重視すること
- 11 保護者や地域、外部団体との連携を図ること
- 12 個人資料に基づき生徒理解を深めることや生徒に正しい自己理解を得させること
- 13 生徒に進路に関する情報を得させる活動を取り入れること
- 14 キャリア・カウンセリング（進路相談）を取り入れること
- 15 具体的な進路（就職先や進学先等）の選択や決定に関する指導・援助を行うこと
- 16 卒業生への追指導を行うこと
- 17 上記に該当するものはない
- 18 本校ではキャリア教育に関する計画がないので、回答できない

問4 総合的な学習の時間で自己の生き方を考えさせるなど、キャリア教育に関する内容にどのくらい時間をあてていますか。学年ごとに、あてはまるものを1つずつ選んでください。

(1)第1学年		(2)第2学年		(3)第3学年	
1	0時間	1	0時間	1	0時間
2	1 ～ 15時間	2	1 ～ 15時間	2	1 ～ 15時間
3	16 ～ 35時間	3	16 ～ 35時間	3	16 ～ 35時間
4	36 ～ 50時間	4	36 ～ 53時間	4	36 ～ 53時間
		5	54 ～ 70時間	5	54 ～ 70時間

問5 「職場体験活動」にあてる時間（事前・事後指導は含まない）は、平成24年度の年間指導計画にどのくらい位置づけられていますか。学年ごとに、あてはまるものを1つずつ選んでください。

(1)第1学年		(2)第2学年		(3)第3学年	
1	0日	1	0日	1	0日
2	1日	2	1日	2	1日
3	2日	3	2日	3	2日
4	3日	4	3日	4	3日
5	4日	5	4日	5	4日
6	5日	6	5日	6	5日
7	6日以上	7	6日以上	7	6日以上

問6 今年度、貴校で実施した（実施予定も含む）研修会の内容について、あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 キャリア教育の概要や推進方策全般に関する研修
- 2 キャリア教育の授業実践に関する研修
- 3 キャリア教育の評価に関する研修
- 4 キャリア・カウンセリング（進路相談）の実践に関する研修
- 5 上級学校の理解を深める研修
- 6 職業興味検査・職業適性検査など、諸検査に関する研修
- 7 雇用・就職・就業の動向に関する研修
- 8 グローバル化などの社会・経済・産業の構造的変化に関する研修
- 9 上記以外のキャリア教育に関する研修
- 10 キャリア教育に関する研修は実施していない

問7 今年度、貴校で実施した（実施予定も含む）研修会で、活用した（予定の）資料や情報をすべて選んでください。

- 1 「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（平成23年1月中央教育審議会答申）」
- 2 「キャリア発達にかかわる諸能力の育成に関する調査研究報告書（平成23年3月国立教育政策研究所）」
- 3 「中学校キャリア教育の手引き（平成23年3月文部科学省）」
- 4 パンフレット「キャリア教育って結局何なんだ？（平成21年11月国立教育政策研究所）」
- 5 パンフレット「キャリア教育を創る（平成23年11月国立教育政策研究所）」
- 6 パンフレット「キャリア教育をデザインする（平成24年8月国立教育政策研究所）」
- 7 文部科学省・国立教育政策研究所のキャリア教育に関するウェブサイト
- 8 都道府県や市町村、教育センター等行政機関作成のキャリア教育に関するパンフレット、手引き及びウェブサイト
- 9 上記以外のキャリア教育に関する専門図書、雑誌論文・記事等の情報や資料
- 10 キャリア教育に関する研修は実施していない（またはその予定はない）

問8 今年度、研修会などへの教職員の派遣状況についておたずねします。派遣したもの（予定も含む）をすべて選んでください。

- 1 他の中学校のキャリア教育に関する授業研究会
- 2 幼稚園・保育所の公開授業（キャリア教育に関する授業にかかわらず）
- 3 小学校の公開授業（キャリア教育に関する授業にかかわらず）
- 4 高等学校などの上級学校の公開授業（キャリア教育に関する授業にかかわらず）
- 5 職業興味検査や職業適性検査等、諸検査に関する研修会
- 6 教育相談、キャリア・カウンセリング（進路相談）等に関する研修会
- 7 雇用・就職・就業の動向に関する研修会
- 8 グローバル化などの社会・経済・産業の構造的変化に関する研修会
- 9 上記以外のキャリア教育に関する研修会
- 10 学校外におけるキャリア教育に関する研修会等には派遣していない

問9 貴校が保護者を対象に企画・実施しているキャリア教育に関する諸活動についておたずねします。平成24年度において、次の(1)～(12)のそれぞれの企画・実施の有無について、実施対象学年欄の1～4の中からあてはまるものをすべて選んでください。

キャリア教育に関する諸活動	実施対象学年			
	1年	2年	3年	なし
(1) 産業や職業の状況についての情報提供	1	2	3	4
(2) 上級学校の内容や入試等についての情報提供	1	2	3	4
(3) 卒業生の進路状況についての情報提供	1	2	3	4
(4) 上級学校への訪問や見学	1	2	3	4
(5) 上級学校の関係者を招いて行う学校説明会	1	2	3	4
(6) 進学にかかる費用や奨学金についての情報提供	1	2	3	4
(7) 卒業生（高校生等）による体験発表会	1	2	3	4
(8) 社会人による生き方やキャリア教育に関する講話・講演	1	2	3	4
(9) 若年者の雇用・就職の動向に関する講話・講演	1	2	3	4
(10) グローバル化などの社会・経済・産業の構造的変化に関する講話・講演	1	2	3	4
(11) キャリア教育に関する学級活動や総合的な学習の時間、職業体験活動の発表会などの公開	1	2	3	4
(12) キャリア教育の企画や活動への参加依頼	1	2	3	4

問 10 キャリア教育の一環として、貴校が生徒を対象として行う他の学校や諸機関との連携についておたずねします。以下の設問にお答えください。

(1) 貴校と他の学校との連携についておたずねします。次の①～④のそれぞれについて、あてはまるものを、連携内容欄の1～6の中からすべて選んでください。

連携先（学校関係）	連携内容					
	1	2	3	4	5	6
	講話や出前授業（出張授業）の依頼・協力	職場見学・職場体験（インターンシップ）の受入依頼・受入協力	職場体験のまとめや発表会への参加依頼	職場体験以外の学習発表会への参加依頼	その他の活動における交流・協力・連携等	特に連携はしていない
① 近隣の幼稚園、保育所	1	2	3	4	5	6
② 近隣の小学校	1	2	3	4	5	6
③ 近隣の中学校	1	2	3	4	5	6
④ 高等学校などの上級学校	1	2	3	4	5	6

(2) 貴校と諸機関との連携についておたずねします。次の①～⑥のそれぞれについて、あてはまるものを、連携内容欄の1～6の中からすべて選んでください。

連携先（諸機関）	連携内容					
	1	2	3	4	5	6
	講話・実演等の依頼	職場体験の受入依頼	職場体験のまとめや発表会への参加依頼	職場体験以外の学習発表会への参加依頼	仲間や開拓などの依頼	職場体験受入先の
① 家庭や保護者（PTAの委員会などを含む）	1	2	3	4	5	6
② 企業や事業所など	1	2	3	4	5	6
③ 公共職業安定所（ハローワーク）	1	2	3	4	5	6
④ ジョブカフェ	1	2	3	4	5	6
⑤ 地域若者サポートステーション（サポステ）	1	2	3	4	5	6
⑥ 特定非営利法人（キャリア教育コーディネーター等）	1	2	3	4	5	6

問 11 貴校における「基礎的・汎用的能力」に関する指導状況についておたずねします。

【参考】

中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」には、「幼児期の教育から高等教育まで体系的にキャリア教育を進めること。その中心として、基礎的・汎用的能力を確実に育成するとともに、社会・職業との関連を重視し、実践的・体験的な活動を充実すること」とあります。

キャリア教育の中心として育成すべき能力として答申が提示した「基礎的・汎用的能力」とは、「分野や職種にかかわらず、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力」で、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の4つの能力に整理されています。

平成 24 年度において、次の(1)～(4)のそれぞれの指導状況について、実施対象学年欄の1～4の中からあてはまるものをすべて選んでください。

キャリア教育に関する指導方法・学習内容	実施対象学年			
	1年	2年	3年	なし
(1) 「人間関係形成・社会形成能力」の育成に関する授業・指導 (例) 他者を理解する 他者に働きかける コミュニケーション能力を高める チームワークを大切にする	1	2	3	4
(2) 「自己理解・自己管理能力」の育成に関する授業・指導 (例) 自分の役割を理解する 忍耐力を育てる 気持ちをコントロールする 主体的に行動する	1	2	3	4
(3) 「課題対応能力」の育成に関する授業・指導 (例) 情報を理解し選択したり処理したりできる 課題を発見する 計画立案し実行する 評価し改善する	1	2	3	4
(4) 「キャリアプランニング能力」の育成に関する授業・指導 (例) 学ぶことや働くことの意義を理解する 将来設計をする 情報を選択し行動と改善にいかす	1	2	3	4

問12 貴校が教育課程の中で、生徒を対象に企画・実施しているキャリア教育に関する学習の機会や内容等についておたずねします。

平成24年度において、次の(1)～(20)のそれぞれの企画・実施の有無について、実施対象学年欄の1～4の中からあてはまるものをすべて選んでください。

キャリア教育に関する学習の機会や内容等	実施対象学年			
	1年	2年	3年	なし
《キャリア教育に関する学習の機会》				
(1) 生徒のキャリア発達を意識した各教科の授業 (キャリア発達…社会の中で自分の役割を果たしながら、自分の生き方を実現していく過程のこと)	1	2	3	4
(2) 生徒のキャリア発達を意識した道徳・学級活動の授業	1	2	3	4
(3) 生徒のキャリア発達を意識した総合的な学習の時間の授業	1	2	3	4
《キャリア教育に関する学習の内容等》				
(4) 将来設計全般に関する学習	1	2	3	4
(5) 自分を理解する学習 (キャリア・カウンセリング、諸検査を含む)	1	2	3	4
(6) 進路や生き方に関する話し合いやパネルディスカッション	1	2	3	4
(7) 職場の訪問や見学、職業の調査・研究活動	1	2	3	4
(8) 事業所 (企業・福祉施設・公共施設など) における体験学習 (職場見学、職場体験活動、ボランティア活動を含む)	1	2	3	4
(9) 上記の事業所での体験学習にかかわる事前・事後学習	1	2	3	4
(10) 高等学校など上級学校への訪問や見学、体験入学、学校説明会	1	2	3	4
(11) 高等学校など上級学校への訪問や見学、体験入学にかかわる事前・事後指導	1	2	3	4
(12) 高等学校など上級学校の関係者を招いて行う学校説明会	1	2	3	4
(13) 保護者による職業についての講話	1	2	3	4
(14) 卒業生 (高校生など) による体験発表会	1	2	3	4
(15) 社会人による生き方や進路に関する講話・講演	1	2	3	4
(16) 今後の雇用・就職・就業の動向に関する講話・講演	1	2	3	4
(17) グローバル化などの社会・経済・産業の構造的変化に関する講話・講演	1	2	3	4
(18) 就職後の離職・失業など、将来起こり得る人生上の諸リスクへの対応に関する学習	1	2	3	4
(19) 転職希望者や再就職希望者などへの就職支援の仕組みに関する学習	1	2	3	4
(20) 男女が対等な構成員として様々な活動に参画できる社会 (男女共同参画社会) の重要性に関する学習	1	2	3	4

問13 貴校におけるキャリア教育の現状についておたずねします。全般的な立場から「そのとおりである」と思うものをすべて選んでください。

- 1 キャリア教育の計画の作成にあたっては、ガイダンスの機能の充実を図るよう努めている
- 2 キャリア教育の諸計画は、計画通り実施されている
- 3 キャリア教育に関する担当者を中心とする校務分掌組織が確立され、機能している
- 4 教員はキャリア教育に関して理解し、協力している
- 5 教員はキャリア教育に関する研修などに積極的に参加し、指導力の向上に努めている
- 6 教員は指導案の作成や教材の工夫に努めている
- 7 教員はキャリア教育に関する情報を収集し、活用している
- 8 キャリア教育にかかわる体験的学習 (職場体験活動や社会人による講話等) を実施している  
☞ 次の問14にもお答えください。
- 9 キャリア教育を実施するための時間は確保されている
- 10 キャリア教育のための予算は確保されている
- 11 保護者は学校のキャリア教育に関して理解し、協力している
- 12 キャリア教育にあたって、社会人などの参画・協力を得ている
- 13 キャリア教育の計画の実施について評価を行っている
- 14 キャリア教育の実践によって、生徒が自らの生き方を考えるきっかけになり得ている
- 15 キャリア教育の実践によって、学習全般に対する生徒の意欲が向上してきている
- 16 キャリア教育の実践によって、学校や地域の課題解決に向かっている
- 17 上記に該当するものはない

問14 問13の選択肢8 (「キャリア教育にかかわる体験的学習 (職場体験活動や社会人による講話等) を実施している」) を選択した方におたずねします。

職業体験活動の事前指導・事後指導について、どのような内容のものを実施しましたか (予定も含む)。次の(1)(2)について、それぞれあてはまるものをすべて選んでください。

(1) 事前指導について

- 1 マナー指導 (礼儀作法や挨拶の方法、電話のかけ方の指導等)
- 2 訪問先についての調べ学習
- 3 キャリア教育の視点から見た体験活動の目的を確認する全体指導
- 4 キャリア教育の視点から見た体験活動の目的を個人で考えさせる活動
- 5 キャリア教育の視点から見た体験活動の目的についての話し合い活動
- 6 キャリア教育の視点から見た体験活動の目的に関する個人面談・個別指導
- 7 特に事前指導はしていない

(2) 事後指導について

- 1 訪問先へのお礼状の作成
- 2 報告書、レポート等の作成
- 3 校内の生徒や教職員を対象にした発表会の実施
- 4 保護者や地域住民を対象にした発表会の実施
- 5 キャリア教育の視点から見た体験活動の目的が達成できたかを確認する全体指導
- 6 キャリア教育の視点から見た体験活動の目的が達成できたかを考えさせる個人面談・個別指導
- 7 キャリア教育の視点から見た体験活動で学んだことについて話し合う活動
- 8 特に事後指導はしていない

問 15 貴校がキャリア教育を適切に行っていく上で、現状からみて、今後どのようなことが重要になると思いますか。次の(1)～(19)のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

キャリア教育に関する事柄	1 とても重要だ と思う	2 ある程度重要 だと思う	3 あまり重要だ とは思わない	4 重要だとは思 わない
(1) キャリア教育の計画の作成にあたって、ガイダンスの機能の充実を図ること	1	2	3	4
(2) 生徒の実態や学校の特色、地域の実態を反映させた計画の立案をすること	1	2	3	4
(3) 生徒が、学年末や卒業時まで「〇〇ができるようになる」など、具体的な目標を立てること	1	2	3	4
(4) 発達の段階に応じたキャリア教育の実践が行われるようにすること	1	2	3	4
(5) 貴校のキャリア教育で育てる力と基礎的・汎用的能力との関連を整理すること	1	2	3	4
(6) 様々な教科や領域・行事等、教育課程全体をキャリア教育の関連から整理すること	1	2	3	4
(7) 担当者を中心とする組織体制を確立すること	1	2	3	4
(8) キャリア教育を計画通り、確実に実施すること	1	2	3	4
(9) キャリア教育に関する教員の理解と協力を得ること	1	2	3	4
(10) 取組の改善につながる評価を実施すること	1	2	3	4
(11) キャリア教育にかかわる体験活動を実施すること	1	2	3	4
(12) 職場体験活動などの体験活動では、事前指導・事後指導を重視すること	1	2	3	4
(13) 保護者や地域、外部団体との連携を図ること	1	2	3	4
(14) 体験活動における受入事業所等を開拓すること	1	2	3	4
(15) キャリア教育に関する研修への参加などによる指導力の向上を図ること	1	2	3	4
(16) キャリア教育に関する指導案の作成や教材の工夫などによる指導の改善・充実をすること	1	2	3	4
(17) キャリア教育に関する情報を収集し、活用すること	1	2	3	4
(18) キャリア教育を実施するための時間を確保すること	1	2	3	4
(19) キャリア教育のための予算を確保すること	1	2	3	4

問 16 貴校がキャリア教育における「生徒理解のための個人情報」として利用するために、平成 24 年度に収集した（実施・収集予定を含む）資料についておたずねします。

平成 24 年度において、次の(1)～(8)のそれぞれの資料収集の有無について、実施対象学年欄の1～4の中からあてはまるものをすべて選んでください。

生徒理解のための個人情報	実施対象学年			
	1 年	2 年	3 年	なし
(1) 自校で作成した校内テスト（定期テスト以外）	1	2	3	4
(2) 標準学力検査	1	2	3	4
(3) 性格・行動などに関する検査・調査	1	2	3	4
(4) 適性・興味などに関する検査・調査	1	2	3	4
(5) 生徒の進路希望や進路意識に関する検査・調査	1	2	3	4
(6) 体験活動や授業で使用したワークシート、レポート、作品、感想文、自己評価カードなどのポートフォリオ	1	2	3	4
(7) 生徒の観察の記録	1	2	3	4
(8) 面接・相談の記録	1	2	3	4

問 17 貴校の「卒業者に対する追指導」の実施状況についておたずねします。

(1) 貴校では、「卒業者に対する追指導」は実施をしていますか。あてはまるものを選んでください。

- 1 実施している ☑ (2)にもお答えください。
- 2 実施していない ☑ 質問は終了です。

(2) (1)で「1 実施している」と答えた方におたずねします。

貴校では、どのような追指導を実施していますか。「追指導の実施方法」について、あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 家庭、進学先の学校や職場を訪問しての指導
- 2 中学校に来させて（集めて）の指導
- 3 文書（電子メールを含む）や電話などによっての指導
- 4 進学先の学校や事業所を通じての指導
- 5 上記に該当するものはない

以上で質問はすべて終わりました。ご協力ありがとうございました。



## キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査（Ⅱ-②中学校・学級担任調査票）

### おねがい

現在、小学校段階から児童生徒の発達の段階に応じたキャリア教育の推進が求められています。文部科学省では、キャリア教育を「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」ととらえ、その推進のための条件整備にあたっています。

この調査は、学級担任の先生方が取り組んでおられるキャリア教育の状況についてお聞きして、今後のキャリア教育の充実に役立てようとするものです。これまでも、中学校・高等学校においては、7年に一度、「進路指導に関する総合的実態調査」を実施してきました。今回の調査では、これまでの調査を継続させるとともに、キャリア教育の推進の観点から、その内容をキャリア教育に重点を置いて実施することといたしました。大変お忙しいことは存じますが、本調査の趣旨をご理解のうえ何卒ご協力をお願いいたします。

この調査は無記名で行います。回答内容はすべて統計的に処理され、あなたがどのように答えたのかはわからないようになっていきますので、どうぞありのままをお答えください。

- ・ご回答はすべて別紙のマークシートにお願いします。あてはまる番号を選択の上、鉛筆で塗りつぶしてください。
- ・回答を書き終えましたら、別紙マークシートのみを学校調査票の取扱者がとりまとめ、②の封筒に入れて教育委員会に渡してください。

文部科学省 国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センター

問1 キャリア教育に関して、以下の設問にお答えください。なお、ご回答は別紙のマークシートにお願いします（「問2」以降、すべて同じ）。

- (1) キャリア教育の推進が求められていることについてご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んでください。
- 1 知っていた
  - 2 何となく知っていた
  - 3 知らなかった

(2) 以下のキャリア教育に関する資料や情報の中で、読んだことがあるものをすべて選んでください。

- 1 「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（平成23年1月中央教育審議会答申）」
- 2 「キャリア発達にかかわる諸能力の育成に関する調査研究報告書（平成23年3月国立教育政策研究所）」
- 3 「中学校キャリア教育の手引き（平成23年3月文部科学省）」
- 4 パンフレット「キャリア教育って結局何なんだ？（平成21年11月国立教育政策研究所）」
- 5 パンフレット「キャリア教育を創る（平成23年11月国立教育政策研究所）」
- 6 パンフレット「キャリア教育をデザインする（平成24年8月国立教育政策研究所）」
- 7 文部科学省・国立教育政策研究所のキャリア教育に関するウェブサイト
- 8 都道府県や市町村、教育センター等行政機関作成のキャリア教育に関するパンフレット、手引き及びウェブサイト
- 9 上記以外のキャリア教育に関する専門図書、雑誌論文・記事等の情報や資料
- 10 上記のいずれも読んだことがない

(3) 今年度、あなたが参加した（参加予定がある）校内研修会をすべて選んでください。

- 1 キャリア教育の概要や推進方策全般に関する研修
- 2 キャリア教育の授業実践に関する研修
- 3 キャリア教育の評価に関する研修
- 4 キャリア・カウンセリング（進路相談）の実践に関する研修  
（すべての生徒を対象にした進学や就職等に関する相談）
- 5 上級学校の理解を深める研修
- 6 職業興味検査・職業適性検査など、諸検査に関する研修
- 7 雇用・就職・就業の動向に関する研修
- 8 グローバル化などの社会・経済・産業の構造的変化に関する研修
- 9 上記以外のキャリア教育に関する研修
- 10 上記のいずれにも参加したことはない

(4) 学校外における研修等への参加状況について、平成20年度から平成24年度までの5年間で、あなたが参加した研修（個人で参加した研修も含む）をすべて選んでください。

- 1 他の中学校のキャリア教育に関する授業研究会
- 2 幼稚園・保育所の公開授業（キャリア教育に関する授業にかかわらず）
- 3 小学校の公開授業（キャリア教育に関する授業にかかわらず）
- 4 高等学校などの上級学校の公開授業（キャリア教育に関する授業にかかわらず）
- 5 職業適性検査、職業興味検査等、諸検査に関する研修会
- 6 教育相談、キャリア・カウンセリング（進路相談）等に関する研修会
- 7 雇用・就職・就業の動向に関する研修会
- 8 グローバル化などの社会・経済・産業の構造的変化に関する研修会
- 9 上記以外のキャリア教育に関する授業研究会、研修会
- 10 研修会には参加していない



問2 「基礎的・汎用的能力」についておたずねします。

〈参考〉  
 中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」には、「幼児期の教育から高等教育まで体系的にキャリア教育を進めること。その中心として、基礎的・汎用的能力を確実に育成するとともに、社会・職業との関連を重視し、実践的・体験的な活動を充実すること」とあります。  
 キャリア教育の中心として育成すべき能力として答申が提示した「基礎的・汎用的能力」とは、「分野や職種にかかわらず、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力」で、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の4つの能力に整理されています。

この「基礎的・汎用的能力」についてご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 「基礎的・汎用的能力」について詳しく知っており、その内容を人に説明することができる
- 2 「基礎的・汎用的能力」について、その内容を人に説明はできないが程度知っている
- 3 内容はよく知らないが、「基礎的・汎用的能力」という言葉は聞いたことがある
- 4 「基礎的・汎用的能力」という言葉を聞いたことがない

問3 あなたの学級あるいは学年における、キャリア教育の計画・実施の現状についておたずねします。あなたが「そのとおりである」と思うものをすべて選んでください。

- 1 学級・学年のキャリア教育の計画は、学校全体のキャリア教育の計画に基づいて作成されたものである
- 2 学級・学年のキャリア教育の計画は、生徒のキャリア発達の課題に即して作成されたものである
- 3 学級・学年のキャリア教育は計画に基づいて実施している
- 4 学級のキャリア教育計画を実施するための時間は確保されている
- 5 キャリア・カウンセリング（進路相談）を実施している
- 6 キャリア教育に関する指導案や教材の作成等を工夫している
- 7 キャリア教育に関する研修などに積極的に参加し、自己の指導力の向上に努めている
- 8 卒業後の就職や進学に関する情報資料を収集・活用している
- 9 進学にかかる費用や奨学金についての情報提供や生徒主体の情報収集に取り組んでいる
- 10 近年の若年者の雇用・就職・就業の動向に関する情報提供や生徒主体の情報収集に取り組んでいる
- 11 就職後の離職・失業など、将来起こり得る人生上の諸リスクへの対応に関する情報提供や生徒主体の情報収集に取り組んでいる
- 12 グローバル化などの社会・経済・産業の構造的変化に関する情報提供や生徒主体の情報収集に取り組んでいる
- 13 職場体験活動などの将来の職業にかかわる体験活動を実施している
- 14 職場体験活動での体験活動の実施においては、事前・事後指導を十分に行っている
- 15 社会人や保護者の講話など地域や家庭の教育力の活用に努めている
- 16 キャリア教育の成果についての評価（アンケートやポートフォリオなど）を行っている
- 17 特にキャリア教育に関する計画・実施はしていない

問4 あなたの学級あるいは学年における、キャリア教育の計画・実施に関する生徒や保護者の現状についておたずねします。あなたが「そのとおりである」と思うものをすべて選んでください。

- 1 生徒はキャリア教育に関する学習に積極的に取り組んでいる
- 2 キャリア教育を実施する中で、生徒は自己の生き方や進路を真剣に考えている
- 3 生徒は卒業後の就職や進学に関する情報資料をよく利用している
- 4 生徒は卒業後の就職や進学に関する副読本などの教材をよく利用している
- 5 生徒はキャリア教育に関する学習や活動を通して、学習全般に対する意欲が向上してきている
- 6 保護者は学校のキャリア教育の計画・実施について理解し、協力している
- 7 上記に特にあてはまるものはない

問5 あなたの学級でキャリア教育を行う上で、特にどのようなことに重点をおいて指導していますか。次の(1)～(15)のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

指導上の留意事項	1	2	3	4
	よく指導している	ある程度指導している	してはいない	あまり指導していない
(1) 様々な立場や考えの相手に対して、その意見を聴き理解しようとする	1	2	3	4
(2) 相手が理解しやすいように、自分の考えや気持ちを整理して伝える	1	2	3	4
(3) 自分の果たすべき役割や分担を考え、周囲の人と力を合わせて行動しようとする	1	2	3	4
(4) 自分の興味や関心、長所や短所などについて把握し、自分らしさを発揮すること	1	2	3	4
(5) 喜怒哀楽の感情に流されず、自分の行動を適切に律して取り組もうとする	1	2	3	4
(6) 不得意なことや苦手なことでも、自分の成長のために進んで取り組もうとする	1	2	3	4
(7) 調べたいことがある時、自ら進んで資料や情報を集め、必要な情報を取捨選択すること	1	2	3	4
(8) 起きた問題の原因、解決すべき課題はどこにあり、どう解決するのかを工夫すること	1	2	3	4
(9) 活動や学習を進める際、適切な計画を立てて進めたり、評価や改善を加えて実行したりすること	1	2	3	4
(10) 学ぶことや働くことの意義について理解し、学校での学習と自分の将来をつなげて考えること	1	2	3	4
(11) 自分の将来について具体的な目標をたて、現実を考えながらその実現のための方法を考えること	1	2	3	4
(12) 自分の将来の目標の実現に向かって具体的に行動したり、その方法を工夫・改善したりすること	1	2	3	4
(13) 上級学校や職場に関する情報を収集・活用すること	1	2	3	4
(14) 「進学したい学校」「就職したい職場」を選び、その実現のために努力すること	1	2	3	4
(15) 上級学校や職場を選ぶにあたって、その合格の可能性や採用の可能性を考慮すること	1	2	3	4

問6 あなたの学級でキャリア教育を行う際、どのような「生徒理解のための個人資料」を利用していますか。次の(1)～(10)のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

生徒理解のための個人資料	1 よく利用 している	2 ある程度利 用している	3 あまり利用 していない	4 利用して いない
(1) 定期テストなどの日常の学習の成績	1	2	3	4
(2) 日常の学習における意欲や態度	1	2	3	4
(3) キャリア教育の記録（ポートフォリオ）や成果	1	2	3	4
(4) キャリア教育にかかわる体験活動における意欲や態度	1	2	3	4
(5) 生徒会活動や部活動などの諸活動への参加状況	1	2	3	4
(6) ボランティア活動など、学校外における諸活動への参加状況	1	2	3	4
(7) 適性、興味などに関する検査・調査の結果	1	2	3	4
(8) 進路希望調査の回答	1	2	3	4
(9) 生徒の進路意欲に関する検査・調査の回答	1	2	3	4
(10) キャリア・カウンセリング（進路相談）の記録	1	2	3	4

問7 学級のキャリア教育について、あなた自身が困ったり悩んだりしていることについておたずねします。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 キャリア教育の全体計画がない
- 2 キャリア教育に関する学年や学級の計画がない
- 3 キャリア教育を実施する十分な時間が確保できない
- 4 キャリア教育に関する指導の内容・方法をどのようにしたらよいかわからない
- 5 キャリア教育の適切な教材が得られない
- 6 キャリア・カウンセリング（進路相談）の内容・方法がわからない
- 7 キャリア教育と進路指導との違いがわからない
- 8 学校・学年の理解や協力が得られない
- 9 生徒の進路意識や進路選択態度に望ましい変容が見られない
- 10 キャリア教育にかかわる学習や体験活動について、保護者の理解や協力が得られない
- 11 保護者のキャリア教育に対する期待が進路先の選択やその合格可能性に偏っている
- 12 キャリア教育にかかわる学習や体験活動の計画・実施にあたって地域や企業等の協力が得られない
- 13 キャリア教育を推進する予算が確保されない
- 14 キャリア教育に関する研修の機会が得られない
- 15 キャリア・カウンセリング（進路相談）や進路に関する資料の保管・活用のための施設・設備（進路相談室等）がない
- 16 キャリア教育の計画・実施についての評価の仕方がわからない
- 17 評価に基づいたキャリア教育の計画や実践に関する改善がなされない
- 18 上記の中にあてはまる悩みはない

問8 学級でキャリア教育を適切に行っていく上で、現状からみて、今後どのようなことが重要になると思いますか。次の(1)～(19)のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

キャリア教育の計画・実施に関することがら	1 とても重要だ と思う	2 ある程度重要だ と思う	3 あまり重要だ とは思わない	4 重要だとは思 わない
(1) 学校のキャリア教育全体計画に基づく学級・学年のキャリア教育の計画の立案	1	2	3	4
(2) 生徒のキャリア発達の課題に即した学級・学年のキャリア教育の計画の立案	1	2	3	4
(3) 諸計画に基づくキャリア教育の実施	1	2	3	4
(4) キャリア教育を実施するための時間の確保	1	2	3	4
(5) キャリア教育の計画の立案にあたっての生徒の参加	1	2	3	4
(6) 進路学習における生徒主体の活動、運営	1	2	3	4
(7) 自らの生き方にかかわるキャリア教育の充実	1	2	3	4
(8) 卒業後の就職や進学に関する情報資料の収集と活用	1	2	3	4
(9) 卒業後の就職や進学の指導に関する副読本などの活用	1	2	3	4
(10) キャリア・カウンセリング（進路相談）の充実	1	2	3	4
(11) キャリア教育に関する指導案の作成や教材の工夫	1	2	3	4
(12) キャリア教育に関する研修などへの参加による自己の指導力の向上	1	2	3	4
(13) キャリア教育にかかわる体験的な学習（職場体験活動や社会人による講話など）の充実	1	2	3	4
(14) キャリア教育にかかわる体験的な学習（職場体験活動や社会人による講話など）における事前・事後指導の充実	1	2	3	4
(15) 体験活動における受入事業所等の開拓	1	2	3	4
(16) 社会人や保護者の講話など、地域や家庭の教育力の活用	1	2	3	4
(17) キャリア教育の計画・実施に対する保護者の理解と協力	1	2	3	4
(18) 学級のキャリア教育の計画・実施に対する他の教員の理解と協力	1	2	3	4
(19) キャリア教育の成果に関する評価	1	2	3	4

以上で質問はすべて終わりました。ご協力ありがとうございました。

キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査（Ⅱ-③中学校・生徒調査票）

おねがい

この調査は、中学生の皆さんが自分の将来の生き方や卒業後の進路についてどのように考えているかをお聞きして、今後のキャリア教育の充実に役立てようとするものです。

この調査は、無記名で行い、あなたがどのように答えたのかはわからないようになっていますので、どうぞありのままを答えてください。

- ・回答はすべて別紙のマークシートをお願いします。あてはまる番号を選択の上、鉛筆で塗りつぶしてください。
- ・回答の記入が終わったら、先生の指示に従って、この調査票と別紙マークシートを提出してください。（担任の先生は、お手数ですが、マークシートのみを③の封筒に入れ、学校調査票の取扱者に渡してください。）

文部科学省 国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センター

問1 あなたの性別についておたずねします。あてはまる番号を選んでください。なお、回答は別紙のマークシートをお願いします（「問2」以降、すべて同じ）。

- 1 男                      2 女

問2 あなたは、中学校卒業後どのような進路を希望していますか。

- ・次の1～5のうち、あてはまるものを1つ選んでください。なお、就職しながら進学を希望する人は「1 進学希望」を選んでください。
- ・また、「1 進学希望」を選んだ人は、①～⑦のうち、あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 進学希望
- ① 普通科の高等学校  
 ② 職業に関する専門学科の高等学校（農業・工業・商業・水産・家庭・看護・情報・福祉などの学科）  
 ③ その他の専門学科の高等学校（理数・体育・音楽・美術・英語などの学科）  
 ④ 総合学科の高等学校  
 ⑤ 高等専門学校  
 ⑥ 専修学校・各種学校  
 ⑦ 公共職業訓練施設などその他の学校
- 2 就職希望  
 3 家業・家事に従事  
 4 その他  
 5 決めていない

☞問2で、「1 進学希望～4 その他」のいずれかを選んだ人は、次の問3に進んでください。

☞問2で、「5 決めていない」を選んだ人は、問6に進んでください。

問3 問2で、「1 進学希望～4 その他」のいずれかを選んだ人におたずねします。

中学卒業後の進路はいつ頃決めましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 小学校卒業まで  
 2 中学1年生の頃  
 3 中学2年生の頃  
 4 中学3年生になってから

☞問2で、「1 進学希望」と答えた人は、次の問4に進んでください。

☞問2で、「2 就職希望」または「3 家業・家事に従事」と答えた人は、問5に進んでください。

☞問2で、「4 その他」と答えた人は、問6に進んでください。

問4 問2で、「1 進学希望」と答えた人におたずねします。

(1) あなたが進学を希望する理由は何ですか。次の①～⑭のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

	1	2	3	4
進学を希望する理由となること	とても思う	思う	あまり思わない	思わない
① 教養を高めたいから	1	2	3	4
② 将来の仕事に役立つ専門的な知識・技能を身につけたいから	1	2	3	4
③ 希望する職業につくために必要な資格をとりたいため	1	2	3	4
④ 部活動がしたいから	1	2	3	4
⑤ 大学など上級学校に進学したいから	1	2	3	4
⑥ 高等学校などを卒業したほうが就職に有利だと思うから	1	2	3	4
⑦ 学校生活を楽しまたいから	1	2	3	4
⑧ まだ働きたくないから	1	2	3	4
⑨ 高等学校などに進学することが当然だと思っているから	1	2	3	4
⑩ 先生がすすめるから	1	2	3	4
⑪ 保護者や家族の者がすすめるから	1	2	3	4
⑫ 友人や先輩がすすめるから	1	2	3	4
⑬ みんなが進学するから	1	2	3	4
⑭ 中卒者の求人状況が厳しいから	1	2	3	4

(2) あなたは現時点での希望進学先を選ぶにあたり、どんなことを重視していますか。次の①～⑰のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

希望進学先を選ぶにあたり重視することがら	1 とても重視 している	2 ある程度重 視している	3 あまり重視 していない	4 重視して いない
① 自分の学力に合っていること	1	2	3	4
② 自分の個性を伸ばすことができること	1	2	3	4
③ 自分のやりたい勉強ができること	1	2	3	4
④ 自分のやりたい部活動ができること	1	2	3	4
⑤ 資格が取得できること	1	2	3	4
⑥ 進学に有利なこと	1	2	3	4
⑦ 就職に有利なこと	1	2	3	4
⑧ 教育内容に特色があること	1	2	3	4
⑨ 将来希望する職業に役立つ知識や技術が身につくこと	1	2	3	4
⑩ 通学が便利なこと	1	2	3	4
⑪ 学校の伝統や校風の評判がよいこと	1	2	3	4
⑫ 校則が自分に合っていること	1	2	3	4
⑬ 気に入った学校の制服であること	1	2	3	4
⑭ 校舎や施設・設備がすばらしいこと	1	2	3	4
⑮ 男女共学（男女別学）であること	1	2	3	4
⑯ 保護者や先生がすすめる学校であること	1	2	3	4
⑰ 友人と同じ学校であること	1	2	3	4

(3) あなたは進学を希望するにあたって、どのようなことに困ったり悩んだりしていますか。あてはまることをすべて選んでください。

- 1 学習意欲がわからないこと
- 2 勉強の仕方がよくわからないこと
- 3 なぜ進学するのか、はっきりした理由が見つからないこと
- 4 進学したい学校が見つからないこと
- 5 自分の能力や適性（向き・不向き）にあう学校がないこと
- 6 希望する学校に合格できる自信がないこと
- 7 合格できそうな学校がわからないこと
- 8 親身になって相談にのってくれる人がいないこと
- 9 保護者や先生と意見が合わないこと
- 10 仲のよい友人と希望する学校が違うこと
- 11 進学するとお金がかかること
- 12 上記以外に困ったり悩んだりしていることがある
- 13 特に困ったり悩んだりしていることはない

(4) あなたは現時点での希望進学先を選ぶにあたり、どんなことを参考にしたいですか。次の①～⑱のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

希望進学先を選ぶにあたり参考とすることがら	1 とても参考 にしたい	2 ある程度参考 にしたい	3 あまり参考 にしようと思わ ない	4 参考にしよう と思わない
① 学校でのテストの結果や各教科の成績	1	2	3	4
② 学校外で受けた模擬テストの結果	1	2	3	4
③ 適性（向き・不向き）や興味などに関する検査の結果	1	2	3	4
④ 学級活動での生き方や進路に関する学習	1	2	3	4
⑤ 職場体験活動での経験	1	2	3	4
⑥ 社会人の講話	1	2	3	4
⑦ ボランティア活動での経験	1	2	3	4
⑧ 授業以外の学校での活動（部活動や生徒会活動など）	1	2	3	4
⑨ 卒業生の体験発表会	1	2	3	4
⑩ 中学校の先生との相談	1	2	3	4
⑪ 保護者や家族との相談	1	2	3	4
⑫ 友人や先輩との相談	1	2	3	4
⑬ 上記⑩⑪⑫以外の人（塾の先生など）との相談	1	2	3	4
⑭ 高等学校など上級学校の見学や体験入学	1	2	3	4
⑮ 高等学校など上級学校の先生の話	1	2	3	4
⑯ 学校案内やパンフレット	1	2	3	4
⑰ テレビや新聞、インターネットなどからの情報	1	2	3	4
⑱ 雑誌や本などからの情報	1	2	3	4

☞問⑤に進んでください。

問5 問2で、「2 就職希望」または「3 家業・家事に従事」と答えた人におたずねします。

あなたが働くことを希望する理由は何ですか。次の①～⑨のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

	1	2	3	4
働くことを希望する理由となることがら	とても思う	思う	あまり思わない	思わない
① 若いうちに専門的な技術を身につけたいから	1	2	3	4
② 社会人として早く自立したいから	1	2	3	4
③ 勉強するより仕事をする方が向いていると思うから	1	2	3	4
④ 進学したい学校がないから	1	2	3	4
⑤ 経済的な事情で働かなければならないから	1	2	3	4
⑥ 自分の学力では進学できそうにないから	1	2	3	4
⑦ 先生が就職をすすめるから	1	2	3	4
⑧ 保護者や家族が就職をすすめるから	1	2	3	4
⑨ 友人や先輩が就職をすすめるから	1	2	3	4

☞問6に進んでください。

☞以下の質問にはすべての人がお答えください。

問6 あなたは将来の生き方や進路について、保護者とどの程度話し合っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 よく話し合っている
- 2 ときどき話し合っている
- 3 あまり話し合っていない
- 4 ほとんど話し合っていない

問7 将来の職業や仕事についておたずねします。

(1) 将来何かの職業や仕事に就いて働きたいと思いませんか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 働きたいと思っている
- 2 少しは働きたいと思っている
- 3 あまり働きたいとは思わない
- 4 まったく働きたいとは思わない

(2) あなたは将来就きたい職業や仕事が決まっていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 はっきり決まっている
- 2 おおよそ決まっている
- 3 まだ決まっていない

問8 あなたは、将来どのようなことがらを重視して自分の職業や仕事を選びたいと思いませんか。次の

(1)～(8)のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

	1	2	3	4
職業を選ぶにあたり重視することがら	とても重視したい	ある程度重視したい	あまり重視しない	重視しない
(1) 自分の能力や適性(向き・不向き)がいかせること	1	2	3	4
(2) 社会的な地位や名声が得られること	1	2	3	4
(3) 自分の自由になる時間が多く得られること	1	2	3	4
(4) 高い収入が得られること	1	2	3	4
(5) 高い専門的な能力を身に付けたり、発揮したりできること	1	2	3	4
(6) 失業のおそれがないこと	1	2	3	4
(7) 社会や人のために役立ち、貢献できること	1	2	3	4
(8) 自分の興味や好みにあっていること	1	2	3	4

問9 あなたの日常生活（授業中や放課後、家庭での生活などすべてを含みます）に関しておたずねします。次の(1)～(12)のそれぞれについて、自分の日常生活の様子をふり返った時、あてはまるものを1～3の中から1つずつ選んでください。

	1	2	3
日常生活の様子	いつもそうしている	時々そうしている	していない
(1) 友だちや家の人の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止めようとしている	1	2	3
(2) 相手が理解しやすいように、自分の考えや気持ちを整理して伝えようと工夫している	1	2	3
(3) 自分の果たすべき役割や分担を考え、周囲の人と力を合わせて行動しようとしている	1	2	3
(4) 自分の興味や関心、長所や短所などについて把握しようとしている	1	2	3
(5) 気持ちが落ち込み、やる気が出ないときでも、自分がすべきことには取り組もうとしている	1	2	3
(6) 不得意なことや苦手なことでも、自ら進んで取り組もうとしている	1	2	3
(7) 調べたいことや知りたいことがある時、進んで資料や情報を集めたり人にたずねたりしている	1	2	3
(8) 何か問題が起きた時、次に同じような問題が起きないように原因を考えたり、解決方法を工夫したりしている	1	2	3
(9) 何かをする時、見通しをもって計画的に進めたり、進め方の改善を図ったりしている	1	2	3
(10) 学ぶことや働くことの意義について考えたり、今学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えたりしている	1	2	3
(11) 自分の将来について具体的な目標をたて、その実現のための方法について考えている	1	2	3
(12) 自分の将来の目標の実現に向かって努力したり、その方法を工夫・改善したりしている	1	2	3

問10 学級活動の時間や総合的な学習の時間などで、将来の生き方や進路（進学や就職）に関してあなたが学習した内容について、おたずねします。次の(1)～(16)のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

	1 よく学習した	2 学習した ある程度	3 しなかつた あまり学習	4 学習しなかつた
将来の生き方や進路（進学や就職）に関する学習内容				
(1) 自分の個性や適性（向き・不向き）	1	2	3	4
(2) 高等学校など上級学校の教育内容や特色	1	2	3	4
(3) 産業や職業の種類や内容	1	2	3	4
(4) 学ぶことや働くことの意義	1	2	3	4
(5) 卒業後の進路（進学や就職）選択の考え方や方法	1	2	3	4
(6) 卒業後の進路（進学や就職）に関する情報の入手方法と利用の仕方	1	2	3	4
(7) 卒業後の進路（進学や就職）に関する不安や悩みの解消	1	2	3	4
(8) 将来の職業選択や役割など、生き方や人生設計全般	1	2	3	4
(9) 社会人・職業人としての常識やマナー	1	2	3	4
(10) 進学にかかる費用や奨学金制度	1	2	3	4
(11) 労働に関する法律や制度の仕組	1	2	3	4
(12) 近年の若者の雇用・就職・就業の動向	1	2	3	4
(13) 社会全体のグローバル化（国際化）の動向	1	2	3	4
(14) 就職後の離職・失業など、将来起こり得る人生上の諸リスクへの対応	1	2	3	4
(15) 将来の（転職希望者や再就職希望者などへの）就職支援の仕組	1	2	3	4
(16) 男女が対等な構成員として様々な活動に参画できる社会（男女共同参画社会）の重要性	1	2	3	4

問11 あなたは将来の生き方や進路（進学や就職）に関する体験活動として、中学校に入学してからこれまで、次のような活動にどの程度取り組みましたか。次の(1)～(10)のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

	1 積極的に取り組んだ	2 積極的に取り組んだ ある程度	3 積極的に取り組んでいない	4 なかつた活動は そのよ
将来の生き方や進路（進学や就職）に関する体験活動				
(1) 身近な産業や職業についての調査	1	2	3	4
(2) 職場の見学	1	2	3	4
(3) 職場での体験活動	1	2	3	4
(4) ボランティア活動	1	2	3	4
(5) 高等学校など上級学校の見学や調査	1	2	3	4
(6) 高等学校など上級学校の体験入学	1	2	3	4
(7) 社会人や職業人の講話・講演	1	2	3	4
(8) 高等学校など上級学校の先生の講話・講演	1	2	3	4
(9) 卒業生の体験発表会	1	2	3	4
(10) 先生（校長先生や担任の先生など）の体験談	1	2	3	4



問12 中学校に入学してからこれまであなたが学校で経験した学習や受けた指導の中で、自分の将来の生き方や進路を考える上で、役に立ったものはどれですか。次の(1)～(27)のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

将来の生き方や進路（進学や就職）に関する指導内容	1 役に 立った	2 少し は役に 立った	3 役に 立た なかつ た	4 その よう な指 導は な かつ た
(1) 様々な教科における日々の授業	1	2	3	4
(2) 係活動・委員会活動や生徒会活動などの日々の活動	1	2	3	4
(3) 部活動などの課外活動	1	2	3	4
(4) 身近な産業や職業についての調査	1	2	3	4
(5) 職場の見学	1	2	3	4
(6) 職場での体験活動	1	2	3	4
(7) ボランティア活動	1	2	3	4
(8) 高等学校など上級学校の訪問や見学・調査	1	2	3	4
(9) 高等学校など上級学校の体験入学	1	2	3	4
(10) 社会人や職業人などの講話・講演	1	2	3	4
(11) 高等学校など上級学校の先生の講話・講演	1	2	3	4
(12) 卒業生の体験発表会	1	2	3	4
(13) 先生（校長先生や担任の先生など）の体験談	1	2	3	4
(14) 学ぶことや働くことの意義についての学習	1	2	3	4
(15) 自分の個性や適性（向き・不向き）を考える学習	1	2	3	4
(16) 卒業後の進路（進学や就職）に関する情報の入手方法とその利用の仕方	1	2	3	4
(17) 卒業後の進路（進学や就職）についての相談	1	2	3	4
(18) 将来の職業選択や役割などの生き方や人生設計	1	2	3	4
(19) 高等学校など上級学校や企業への合格・採用の可能性	1	2	3	4
(20) 社会人・職業人としての常識やマナーについての学習	1	2	3	4
(21) 進学にかかる費用や奨学金についての情報	1	2	3	4
(22) 労働に関する法律や制度の仕組みについての学習	1	2	3	4
(23) 近年の若者の雇用・就職・就業の動向についての学習	1	2	3	4
(24) 社会全体のグローバル化（国際化）の動向についての学習	1	2	3	4
(25) 就職後の離職・失業など、将来起こり得る人生上の諸リスクへの対応についての学習	1	2	3	4
(26) 将来の（転職希望者や再就職希望者などへの）就職支援の仕組みについての学習	1	2	3	4
(27) 男女が対等な構成員として様々な活動に参画できる社会（男女共同参画社会）の重要性についての学習	1	2	3	4

問13 あなたは、自分の将来の生き方や進路について考えるため、学級活動の時間などで、これまでどのようなことを指導してほしかったですか。「もっとよく指導してほしかった」「これまで指導がなかったけれども、指導してほしかった」など、あなたが指導してほしかったと思うことがらをすべて選んでください。

- 1 自分の個性や適性（向き・不向き）を考える学習
- 2 高等学校など上級学校の教育内容や特色
- 3 産業や職業の種類や内容
- 4 学ぶことや働くことの意義や目的
- 5 卒業後の進路（進学や就職）選択の考え方や方法
- 6 卒業後の進路（進学や就職）に関する情報の入手方法とその利用の仕方
- 7 卒業後の進路（進学や就職）についての相談の方法や内容
- 8 将来の職業選択や役割などの生き方や人生設計
- 9 高等学校などの上級学校や企業への合格・採用の可能性
- 10 社会人・職業人としての常識やマナー
- 11 進学にかかる費用や奨学金制度
- 12 労働に関する法律や制度の仕組み
- 13 近年の若者の雇用・就職・就業の動向
- 14 社会全体のグローバル化（国際化）の動向
- 15 就職後の離職・失業など、将来起こり得る人生上の諸リスクへの対応
- 16 将来の（転職希望者や再就職希望者などへの）就職支援の仕組み
- 17 男女が対等な構成員として様々な活動に参画できる社会（男女共同参画社会）の重要性
- 18 特に指導してほしかったことはない

以上で質問はすべて終わりました。ご協力ありがとうございました。

## キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査（Ⅱ－④中学校・保護者調査票）

### おねがい

現在、小学校段階から児童生徒の発達にに応じたキャリア教育の推進が求められています。文部科学省では、キャリア教育を「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」ととらえ、その推進のための条件整備にあたっています。

このたび、文部科学省 国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センターでは、中学校におけるキャリア教育（将来の生き方や卒業後の進路についての教育）の充実に役立てるため、保護者の皆様に、学校におけるキャリア教育への期待などについてアンケート調査を実施することになりました。この調査は、7年に一度、中学校・高等学校で実施していた「進路指導に関する総合的実態調査」の一環として、現在、全国の中学3年生の保護者の方々の中から無作為に抽出した約5,360名を対象に実施するものです。大変お忙しいこととは存じますが、本調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

本調査票は、お子さんから中学校へ、中学校から教育委員会へと回収されます。また、回答内容は、すべて統計的に処理され、秘密は厳守いたします。

- ・ご回答はすべて別紙のマークシートにお願いします。あてはまる番号を選択の上、鉛筆で塗りつぶしてください。
- ・回答を書き終えましたら、別紙マークシートのみをお子さんを通して担任の先生に渡してくださるようお願いいたします。

文部科学省 国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センター

問1 あなたの性別についておたずねします。あてはまる番号を選んでください。なお、ご回答は別紙のマークシートにお願いします（「問2」以降、すべて同じ）。

- 1 男                      2 女

問2 キャリア教育に関しておたずねします。以下の設問にお答えください。

- (1) あなたは、「キャリア教育」という言葉聞いたことがありますか。あてはまるものを選んでください。
- 1 聞いたことがある      ☞ 次の問2(2)にもお答えください。  
2 聞いたことがない      ☞ 問3にお進みください。

(2) (1)で「1 聞いたことがある」と答えた方におたずねします。

あなたは、キャリア教育の推進が求められていることについてご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 知っていた  
2 何となく知っていた  
3 知らなかった

問3 お子さんの将来の生き方や進路に関して、お子さんと話し合っていることについておたずねします。

- (1) 将来の生き方や進路について、お子さんとどの程度話し合っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。
- 1 よく話し合っている  
2 ときどき話し合っている  
3 あまり話し合っていない  
4 ほとんど話し合っていない

(2) あなたがお子さんと話し合った内容について、あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 進学先や就職先などの進路情報  
2 お子さんのよさや得意なことと、それをいかした将来の生き方や進学・就職などの進路  
3 お子さんの将来の生き方や進学・就職などの進路の希望やその実現の可能性  
4 保護者ご自身の歩んできた人生やそこから得た教訓  
5 家業や保護者ご自身の職業のやりがいや苦労  
6 進学や就職に向けた勉強の大切さ  
7 お子さんの将来の生き方や進学・就職などの進路にかかわる悩みや不安  
8 お子さんが職場体験やボランティア活動で感じたことや考えたこと  
9 将来、社会の一員として生きていくうえでの心構えや必要な資質など  
10 今日の社会で起きているさまざまな問題に対応した人の生き方  
11 上記のようなことについて話し合ったことはない

問4 お子さんの現在の進路に関する希望は、あなたの考えや希望と一致していますか。次のあてはまるものを1つ選んでください。

- 1 一致している  
2 一致していない  
3 本人にまかせている  
4 よくわからない

問5 あなたは、これまでお子さんの中学校での進路説明会や進路講演会などに参加したことがあるか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 参加したことがある
- 2 開催されているが、参加したことはない
- 3 開催されていないので、参加したことがない
- 4 開催されているかわからないので、参加したことがない

問6 あなたは、お子さんの中学校の生き方や進路に関する授業を参観したり、それに参加したりしたことがあるか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 進学に関する授業を参観したことがある
- 2 職業選択や就職に関する授業を参観したことがある
- 3 将来の生き方全般に関する授業を参観したことがある
- 4 上記1～3の授業で意見を述べたり、話し合いに加わったりしたことがある
- 5 職場体験活動に関する生徒の報告会を参観したことがある
- 6 学校から案内があったが、参観や参加をしたことはない
- 7 学校から案内がないので、参観や参加をしたことはない

問7 お子さんの進路に関して、中学校の先生と相談したことについておたずねします。

(1) お子さんの進路について、中学校の先生と相談したことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 定期的な個別の面談（三者面談など）の場で相談したことがある
- 2 1以外のときに、何回か相談したことがある（電話での相談も含む）
- 3 1以外のときに、一回だけ相談したことがある（電話での相談も含む）
- 4 今まで相談したことはないが、これから相談するつもりである
- 5 今まで相談したことがなく、これからも相談するつもりはない

(2) 中学校の先生と相談した内容について、あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 お子さんの個性とそれをいかすことができる進路
- 2 合格可能な上級学校（高等学校等）など進学先の選択
- 3 高等学校など上級学校の内容や特色
- 4 お子さんに向いている就職先や職業
- 5 お子さんの学習意欲や態度の向上
- 6 進学実現のための学習内容や方法
- 7 お子さんの生活や保護者としての接し方
- 8 進路希望をめぐるお子さんとの意見の不一致
- 9 上記のようなことに関して特に相談してこなかった

問8 あなたのお子さんの職場体験活動についておたずねします。

(1) あなたのお子さんは、中学校で「職場体験活動」に行きましたか。または、行く予定がありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 職場体験活動はすでに行った
- 2 今後、職場体験活動に行く予定がある
- 3 職場体験活動は実施されておらず、今後も予定されていない
- 4 職場体験活動の有無についてよくわからない

(2) あなたのお子さんが、中学校で「職場体験活動」を経験することについて、どう思いますか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- 1 有意義な活動だと思う
- 2 有意義な活動だとは思わない
- 3 どちらともいえない

問9 あなたはお子さんが通学している中学校でのキャリア教育や進路指導において、どのような学習内容を期待していますか。次の(1)～(20)のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

	1	2	3	4
キャリア教育や進路指導に関する学習内容	と して も 期 待 す	待 し て い る	あ る 程 度 の 期 待	あ ま り 期 待 し て い ない
(1) 自分の個性や適性（向き・不向き）を理解するための学習	1	2	3	4
(2) 高等学校など上級学校の教育内容や特色についての学習	1	2	3	4
(3) 高等学校など上級学校の入試制度や就職試験の仕組みについての学習	1	2	3	4
(4) 産業や職業の種類や内容に関する学習	1	2	3	4
(5) 学ぶことや働くことの意義を考えさせる学習	1	2	3	4
(6) 適切な進路選択の考え方や方法についての学習	1	2	3	4
(7) 進路に関する情報の入手とその利用の仕方に関する学習	1	2	3	4
(8) 将来の生き方や人生設計に関する学習	1	2	3	4
(9) 高等学校などの合格可能性を判断するための学習	1	2	3	4
(10) 希望する高等学校などに合格するための学力の向上	1	2	3	4
(11) 高等学校などの上級学校に合格したり企業等に採用されたりするための学習	1	2	3	4
(12) 卒業後の進路（進学や就職）に関する不安や悩みの解消	1	2	3	4
(13) 進学にかかる費用や奨学金についての学習	1	2	3	4
(14) 社会人や職業人としての常識やマナーに関する学習	1	2	3	4
(15) 労働に関する法律や制度の仕組みについての学習	1	2	3	4
(16) 若年者の雇用・就職・就業の動向に関する学習	1	2	3	4
(17) グローバル化などの社会・経済・産業の構造的変化に関する学習	1	2	3	4
(18) 就職後の離職や失業など、将来起こり得る人生上の諸リスクへの対応に関する学習	1	2	3	4
(19) 転職希望者や再就職希望者などへの就職支援の仕組みに関する学習	1	2	3	4
(20) 男女が対等な構成員として様々な活動に参画できる社会（男女共同参画社会）の重要性についての学習	1	2	3	4

問 10 お子さんの進路の選択にあたり、どんなことを参考にしたいと思いますか。次の(1)～(15)のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

進路選択にあたり参考とすることがら	1 参考にしたい	2 ある程度参考にしたい	3 あまり参考にしようと思わない	4 参考にしようと思わない
(1) 学校でのテストの結果や各教科の成績	1	2	3	4
(2) 中学校外で受けた模擬テストの結果	1	2	3	4
(3) お子さんの適性（向き・不向き）や興味	1	2	3	4
(4) お子さんの進路希望や人生設計	1	2	3	4
(5) 職場体験活動での経験	1	2	3	4
(6) 授業以外の学校での活動（部活動や生徒会活動等）	1	2	3	4
(7) 中学校の先生との相談	1	2	3	4
(8) 家族での相談	1	2	3	4
(9) 他の保護者や知り合いのひととの相談	1	2	3	4
(10) 上記(7)、(8)、(9)以外の人（塾の先生など）との相談	1	2	3	4
(11) 保護者を対象とする高等学校など上級学校の見学会	1	2	3	4
(12) 保護者を対象とする高等学校など上級学校の先生や企業の方の話	1	2	3	4
(13) 学校案内やパンフレット	1	2	3	4
(14) テレビや新聞、インターネットなどからの情報	1	2	3	4
(15) 雑誌や本などからの情報	1	2	3	4

問 11 あなたのお子さんに、学校における授業や生活で、以下のことがらについて、どの程度指導してほしいですか。次の(1)～(15)のそれぞれについて、あてはまるものを1～3の中から1つずつ選んでください。

授業や生活での指導項目	1 重点をおいて指導してほしいと思う	2 ある程度指導してほしいと思う	3 特に指導してほしいとは思わない
(1) 様々な立場や考えの相手に対して、その意見を聴き理解しようとする	1	2	3
(2) 相手が理解しやすいように、自分の考えや気持ちを整理して伝える	1	2	3
(3) 自分の果たすべき役割や分担を考え、周囲の人と力を合わせて行動しようとする	1	2	3
(4) 自分の興味や関心、長所や短所などについて把握し、自分らしさを発揮すること	1	2	3
(5) 喜怒哀楽の感情に流されず、自分の行動を適切に律して取り組もうとする	1	2	3
(6) 不得意なことや苦手なことでも、自分の成長のために進んで取り組もうとする	1	2	3
(7) 調べたいことがある時、自ら進んで資料や情報を集め、必要な情報を取捨選択すること	1	2	3
(8) 起きた問題の原因、解決すべき課題はどこにあり、どう解決するかを工夫すること	1	2	3
(9) 活動や学習を進める際、適切な計画を立てて進めたり、評価や改善を加えて実行したりすること	1	2	3
(10) 学ぶことや働くことの意義について理解し、学校での学習と自分の将来をつなげて考えること	1	2	3
(11) 自分の将来について具体的な目標をたて、現実を考えながらその実現のための方法を考えること	1	2	3
(12) 自分の将来の目標の実現に向かって具体的に行動したり、その方法を工夫・改善したりすること	1	2	3
(13) 高等学校などの上級学校や職場に関する情報を収集・活用すること	1	2	3
(14) 「進学したい学校」「就職したい職場」を選び、その実現のために努力すること	1	2	3
(15) 高等学校などの上級学校や職場を選ぶにあたって、その合格の可能性や採用の可能性を考慮すること	1	2	3

以上で質問はすべて終わりました。ご協力ありがとうございました。



- 問4 あなたは、中学生の時、中学卒業後にどのような進路を選びたいと思っていましたか。
- ・ 次の1～4のうち、最も希望していた進路を1つ選んでください。なお、働きながら進学することを希望していた人は「1 進学を希望していた」を選んでください。
  - ・ また、「1 進学を希望していた」を選んだ人は、さらに、①～⑦のうちあてはまるものを1つ選んでください。
- 1 進学を希望していた
    - ① 普通科の高等学校
    - ② 職業に関する専門学科（農業・工業・商業・水産・家庭・看護・情報・福祉などに関する学科）の高等学校
    - ③ ②以外の専門学科（理数・体育・音楽・美術・英語などに関する学科）の高等学校
    - ④ 総合学科の高等学校
    - ⑤ 高等専門学校
    - ⑥ 専修学校・各種学校
    - ⑦ 職業訓練校（公共職業訓練施設）などその他の学校
  - 2 就職を希望していた
  - 3 家業・家事に従事することを希望していた
  - 4 その他

- 問5 あなたは、現在従事している仕事や在学している学校での生活について、どのように思っていますか。あてはまるものをすべて選んでください。なお、仕事に従事しながら学校で勉強している人は、学校での勉強や生活について答えてください。
- 1 自分の興味や好みに合っている
  - 2 自分の能力や適性（向き・不向き）に合っている
  - 3 自分の将来のためになる
  - 4 学びがよいや働きがよいがある
  - 5 保護者の期待にそっている
  - 6 学校や先生の期待にそっている
  - 7 よい仲間や先輩に恵まれている
  - 8 特にあてはまるものはない

- ☞ 問2で、「1 学校に在学している」と答えた人は、次の問6(1)に進んでください。
- ☞ 問2で、「2 仕事（定職）に就いている」または「5 家業・家事に従事している」と答えた人は、問6(2)に進んでください。
- ☞ 問2で、「3 仕事（アルバイト・パート）」に就いている」または「6 仕事に就いておらず、求職中である」と回答した人は、問6(3)に進んでください。
- ☞ 問2で、「4 進学に向けて準備している」と答えた人は、問6(4)に進んでください。
- ☞ 問2で、「7 その他」と答えた人は、問7に進んでください。

- 問6 あなたは、今後現在の学校で学習していくことや現在の会社などで仕事をしていくことなどについて、どのような希望をもっていますか。

- (1) 問2で、「1 学校に在学している」と答えた人におたずねします。  
あなたが希望していることについて、あてはまるものを1つ選んでください。
- 1 現在の学校で学習を続けたい
  - 2 現在とは違う学校や学科に変わりたい
  - 3 現在とは違う課程（全日制・定時制・通信制）に変わりたい
  - 4 学校を辞めて仕事に就きたい
  - 5 学校を辞めて家業・家事に従事したい
  - 6 その他
- (2) 問2で、「2 仕事（定職）に就いている」または「5 家業・家事に従事している」と答えた人におたずねします。  
あなたが希望していることについて、あてはまるものを1つ選んでください。
- 1 現在の職場などで仕事を続けたい
  - 2 現在とは違う職場などに変わりたい
  - 3 現在とは違う種類の仕事に就きたい
  - 4 高等学校や高等専門学校で学びたい
  - 5 専修学校や各種学校などで技能の習得や資格の取得をしたい
  - 6 その他
- (3) 問2で、「3 仕事（パート・アルバイト）に就いている」または「6 仕事に就いておらず、求職中である」と答えた人におたずねします。  
あなたが希望していることについて、あてはまるものを1つ選んでください。
- 1 一日も早く定職に就きたい
  - 2 あせらずに自分に合う仕事を見つけていきたい
  - 3 アルバイトなどを行っていきたい
  - 4 高等学校や高等専門学校で学びたい
  - 5 専修学校・各種学校などで技能の習得や資格の取得をしたい
  - 6 その他
- (4) 問2で、「4 進学に向けて準備している」と答えた人におたずねします。  
あなたが希望していることについて、あてはまるものを1つ選んでください。
- 1 高等学校や高等専門学校で学びたい
  - 2 専修学校・各種学校などで技能の習得や資格の取得をしたい
  - 3 その他



☞ここからは、すべての方がお答えください。

問7 あなたの日常生活（授業中や放課後、家庭での生活などすべてを含みます）に関しておたずねします。次の(1)～(12)のそれぞれについて、自分の日常生活の様子をふり返った時、あてはまるものを1～3の中から1つずつ選んでください。

日常生活の様子	1 いつもそうしている	2 時々そうしている	3 していない
(1) 友だちや家の人の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止めようとしている	1	2	3
(2) 相手が理解しやすいように、自分の考えや気持ちを整理して伝えようと工夫している	1	2	3
(3) 自分の果たすべき役割や分担を考え、周囲の人と力を合わせて行動しようとしている	1	2	3
(4) 自分の興味や関心、長所や短所などについて把握しようとしている	1	2	3
(5) 気持ちが落ち込み、やる気が出ないときでも、自分がすべきことには取り組もうとしている	1	2	3
(6) 不得意なことや苦手なことでも、自ら進んで取り組もうとしている	1	2	3
(7) 調べたいことや知りたいことがある時、進んで資料や情報を集めたり人にたずねたりしている	1	2	3
(8) 何か問題が起きた時、次に同じような問題が起きないように原因を考えたり、解決方法を工夫したりしている	1	2	3
(9) 何かをする時、見通しをもって計画的に進めたり、進め方の改善を図ったりしている	1	2	3
(10) 学ぶことや働くことの意義について考えたり、今学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えたりしている	1	2	3
(11) 自分の将来について具体的な目標をたて、その実現のための方法について考えている	1	2	3
(12) 自分の将来の目標の実現に向かって努力したり、その方法を工夫・改善したりしている	1	2	3

問8 中学生の時、中学校卒業後の進路や自分の将来の生き方を考える上で、役に立った学習や指導はどれですか。次の(1)～(27)のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

将来の生き方や進路（進学や就職）に関する指導内容	1 役に立った	2 少しは役に立った	3 役に立たなかった	4 取り組んでいない (指導がなかった)
(1) 様々な教科における日々の授業	1	2	3	4
(2) 係活動・委員会活動や生徒会活動などの日々の活動	1	2	3	4
(3) 部活動などの課外活動	1	2	3	4
(4) 身近な産業や職業についての調査	1	2	3	4
(5) 職場の見学	1	2	3	4
(6) 職場での体験活動	1	2	3	4
(7) ボランティア活動	1	2	3	4
(8) 高等学校など上級学校の訪問や見学・調査	1	2	3	4
(9) 高等学校など上級学校の体験入学	1	2	3	4
(10) 社会人や職業人などの講話・講演	1	2	3	4
(11) 高等学校など上級学校の先生の講話・講演	1	2	3	4
(12) 卒業生の体験発表会	1	2	3	4
(13) 先生（校長先生や担任の先生など）の体験談	1	2	3	4
(14) 学ぶことや働くことの意義についての学習	1	2	3	4
(15) 自分の個性や適性（向き・不向き）を考える学習	1	2	3	4
(16) 卒業後の進路（進学や就職）に関する情報の入手方法とその利用の仕方	1	2	3	4
(17) 卒業後の進路（進学や就職）についての相談	1	2	3	4
(18) 将来の職業選択や役割などの生き方や人生設計	1	2	3	4
(19) 高等学校など上級学校や企業への合格・採用の可能性	1	2	3	4
(20) 社会人・職業人としての常識やマナーについての学習	1	2	3	4
(21) 進学にかかる費用や奨学金についての情報	1	2	3	4
(22) 労働に関する法律や制度の仕組みについての学習	1	2	3	4
(23) 近年の若者の雇用・就職・就業の動向についての学習	1	2	3	4
(24) 社会全体のグローバル化（国際化）の動向についての学習	1	2	3	4
(25) 就職後の離職・失業など、将来起こり得る人生上の諸リスクへの対応についての学習	1	2	3	4
(26) 将来の（転職希望者や再就職希望者などへの）就職支援の仕組みについての学習	1	2	3	4
(27) 男女が対等な構成員として様々な活動に参画できる社会（男女共同参画社会）の重要性についての学習	1	2	3	4

問9 あなたの出身中学校における職場体験活動についておたずねします。

(1) あなたは、中学生の時、職場体験活動に行きましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 職場体験活動に行った ☞ 次の問9(2)にお答えください。
- 2 職場体験活動はなかった ☞ 問10にお進みください。

(2) (1)で「職場体験活動に行った」と答えた人におたずねします。

あなたは、職場体験活動を経験して、どんな感想を持ちましたか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- 1 有意義な活動だと思う
- 2 有意義な活動だとは思わない
- 3 どちらともいえない

問10 あなたは、中学生の時、自分の将来の生き方や進路について考えるため、学級活動の時間などで、どのようなことを指導してほしかったですか。「もっとよく指導してほしかった」「指導を受けた記憶はないが、指導してほしかった」など、あなたが指導してほしかったと思うことがらをすべて選んでください。

- 1 自分の個性や適性（向き・不向き）を考える学習
- 2 高等学校など上級学校の教育内容や特色
- 3 産業や職業の種類や内容
- 4 学ぶことや働くことの意義や目的
- 5 卒業後の進路（進学や就職）選択の考え方や方法
- 6 卒業後の進路（進学や就職）に関する情報の入手方法とその利用の仕方
- 7 卒業後の進路（進学や就職）についての相談の方法や内容
- 8 将来の職業選択や役割などの生き方や人生設計
- 9 高等学校などの上級学校や企業への合格・採用の可能性
- 10 社会人・職業人としての常識やマナー
- 11 進学にかかる費用や奨学金制度
- 12 労働に関する法律や制度の仕組み
- 13 近年の若者の雇用・就職・就業の動向
- 14 社会全体のグローバル化（国際化）の動向
- 15 就職後の離職・失業など、将来起こり得る人生上の諸リスクへの対応
- 16 転職希望者や再就職希望者などへの就職支援の仕組み
- 17 男女が対等な構成員として様々な活動に参画できる社会（男女共同参画社会）の重要性
- 18 特に指導してほしかったことはない

問11 あなたは、中学生の時、自分の将来の生き方や進路について考えるため、どのような体験活動を実施してほしかったですか。「もっと実施してほしかった」「中学校では体験しなかったが、実施してほしかった」など、あなたが実施してほしかった体験活動をすべて選んでください。

- 1 身近な産業や職業についての調査
- 2 職場の見学
- 3 職場での体験活動
- 4 ボランティア活動
- 5 高等学校など上級学校の見学や調査
- 6 高等学校など上級学校の体験入学
- 7 社会人や職業人の講話・講演
- 8 高等学校など上級学校の先生の講話・講演
- 9 卒業生の体験発表会
- 10 先生（校長先生や担任の先生など）の体験談
- 11 特に実施してほしかった体験活動はない

以上で質問はすべて終わりました。ご協力ありがとうございました。

## キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査（Ⅲ－①高等学校・学校調査票）

### おねがい

このたび、文部科学省 国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センターでは、キャリア教育の充実及びキャリア教育についての実態を把握するために、アンケート調査を実施することになりました。この調査は、7年に一度、中学校・高等学校で実施している「進路指導に関する総合的実態調査」の一環として行うものです。今回の調査は、全国各都道府県及び政令指定都市の公立小学校・公立中学校・公立高等学校の中から抽出した2,500校を対象に実施します。

現在、小学校段階から児童生徒の発達の段階に応じたキャリア教育の推進が求められています。文部科学省では、キャリア教育を「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」ととらえ、その推進のための条件整備にあたっています。

定義・概念としては、進路指導とキャリア教育との間に大きな違いはありません。しかし、キャリア教育が就学前段階から体系的に取り組むべきものである点に注目すると、進路指導は、「就職または進学に関する指導」として「中学校・高等学校で行うべきもの」として限定的にとらえられている場合があるようです。今回の調査では、これまでの調査を継続するとともに、狭義の意味の「進路指導」を包括する概念として「キャリア教育」を中心に実態調査を実施することといたしました。大変お忙しいことは存じますが、本調査の趣旨をご理解のうえ何卒ご協力をお願いいたします。

- ・本調査票（学校調査票）については、キャリア教育の企画や全体計画等の作成に主にかかわる方（キャリア教育にかかわる担当者）と協議の上、管理職（校長・副校長・教頭）の方がご回答ください。
- ・ご回答はすべて別紙のマークシートをお願いします。あてはまる番号を選択の上、鉛筆で塗りつぶしてください。
- ・回答を書き終えましたら、別紙マークシートのみを用意してある①の封筒に入れ、他の調査票と一緒に該当の教育委員会へ返送してください。なお、回答内容については、すべてが統計的に処理され、学校名や回答者が特定されることはありません。

文部科学省 国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センター

問1 貴校の生徒数について、あてはまるものを1つ選んでください（平成24年5月1日現在）。なお、ご回答は別紙のマークシートをお願いします（「問2」以降、すべて同じ）。

- 1 300人未満
- 2 300人以上 600人未満
- 3 600人以上1000人未満
- 4 1000人以上

問2 貴校に設置している学科（学校基本調査におけるいわゆる「大学科」）について、あてはまるものを1つ選んでください。なお、貴校に複数の「大学科」が設置されている場合は、在籍人数が最も多い学科についてお答えください。問3以降も同様です。

- 1 普通科
- 2 職業に関する専門学科（農業・工業・商業・水産・家庭・看護・情報・福祉などに関する学科）
- 3 その他の専門学科（理数・体育・音楽・美術・英語などに関する学科）
- 4 総合学科

問3 貴校のキャリア教育の企画や全体計画等の作成に主にかかわる担当者や組織についておたずねします。

(1) キャリア教育の企画や全体計画等の作成を中心となって進める担当者の方は、校務分掌上、次のいずれに該当しますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 キャリア教育のみを担当している。 ☞ 問3(3)～(7)にもお答えください。
- 2 他の担当と兼任している ☞ 次の問3(2)～(7)にもお答えください。
- 3 担当者はいない ☞ 問4にお進みください。

(2) (1)で「**2 他の担当と兼任している**」と答えた方におたずねします。

キャリア教育の企画や全体計画等の作成を中心となって進める担当者の兼任の状況について、あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 進路指導主事（主任）と兼任している
- 2 教務主任と兼任している
- 3 生徒指導主事（主任）と兼任している
- 4 研究主任（研究主担当）と兼任している
- 5 第1・第2学年のホームルーム担任・副担任あるいは学年主任と兼任している
- 6 第3学年のホームルーム担任・副担任あるいは学年主任と兼任している
- 7 上記以外の主任と兼任している（人権教育担当や道徳教育担当等）

(3) 以下(3)～(7)は、(1)で「**1 キャリア教育のみを担当している**」「**2 他の担当と兼任している**」と答えた方におたずねします。

キャリア教育にかかわる担当者の現任校における当該担当者としての在任期間について、あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 1年目
- 2 2年目～3年目
- 3 4年目～5年目
- 4 6年目以上

(4) キャリア教育にかかわる担当者の週あたり担当授業時数（教科、ホームルーム活動、総合的な学習の時間を含む）について、あてはまるものを1つ選んでください。（小数第一位を四捨五入）

- 1 0時間
- 2 1～ 6時間
- 3 7～ 9時間
- 4 10～ 12時間
- 5 13～ 15時間
- 6 16～ 18時間
- 7 19～ 21時間
- 8 22時間以上

(5) キャリア教育の企画や全体計画等の作成を主体となって進める校務分掌組織上の構成について、あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 特定の学年担当者による組織である
- 2 進路指導委員会等、進路指導にかかわる分掌組織と兼ねた組織（部・課・係・委員会等）である
- 3 生徒指導委員会等、生徒指導にかかわる分掌組織と兼ねた組織（部・課・係・委員会等）である
- 4 研究推進委員会等、校内研究にかかわる分掌組織と兼ねた組織（部・課・係・委員会等）である
- 5 1～4以外の分掌組織と兼ねた組織（部・課・係・委員会等）である
- 6 キャリア教育を中心に行う専門組織（部・課・係・委員会等）である
- 7 キャリア教育にかかわる担当者が中心となって行っており、特に組織は設けていない

(6) キャリア教育の企画や全体計画等の作成を主体となって進める校務分掌上の組織の名称には、「キャリア」という文言が入っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 「キャリア」という文言が入っている  
(例：キャリア教育推進部、キャリア・進路指導部会、キャリア教育担当部会等)
- 2 「キャリア」という文言は入っていない  
(例：進路指導部会、教務部、2学年部会等)
- 3 特に組織は設けていない

(7) キャリア教育の企画や全体計画の作成を主体となって進める校務分掌上の組織（本務者）は何人で構成されていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- |                      |                |
|----------------------|----------------|
| 1 0人（組織に本務者は所属していない） | 7 6～10人        |
| 2 1人                 | 8 11～15人       |
| 3 2人                 | 9 16～20人       |
| 4 3人                 | 10 21人以上       |
| 5 4人                 | 11 特に組織は設けていない |
| 6 5人                 |                |

問4 貴校の平成24年度のキャリア教育に関する計画についておたずねします。以下の設問にお答えください。

(1) 全体計画についておたずねします。

① 貴校には、キャリア教育の全体計画はありますか。（「計画がある」とは、その内容が文章としてまとめられ、教員に周知されているものをいいます。）あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 計画がある ☞ (1)(2)にもお答えください。
- 2 計画はない ☞ (2)にお進みください。

② ①で「1 計画がある」と答えた方におたずねします。

全体計画には、以下の内容が具体的に記されていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 生徒の実態
- 2 保護者や地域の実態・願い
- 3 教師の願い
- 4 学校課題や重点目標
- 5 キャリア教育の全体目標
- 6 各学年の重点目標
- 7 学校全体で身に付けさせたい能力や態度（基礎的・汎用的能力との関係）
- 8 各学年で身に付けさせたい力（基礎的・汎用的能力との関係）
- 9 キャリア教育の成果に関する評価計画（キャリア教育アンケートやポートフォリオ等）
- 10 上記に該当するものはない

(2) 年間指導計画についておたずねします。

① 貴校には、キャリア教育の年間指導計画はありますか。（「計画がある」とは、指導の目標・内容や実施時期などが文章としてまとめられ、教員に周知されているものをいいます。）あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 計画がある ☞ (2)(2)にもお答えください。
- 2 計画はない ☞ (3)にお進みください。

② ①で「1 計画がある」と答えた方におたずねします。

年間指導計画には、以下の内容が含まれていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 ホームルーム活動におけるキャリア教育
- 2 総合的な学習の時間におけるキャリア教育
- 3 各教科におけるキャリア教育
- 4 キャリア・カウンセリング（進路相談）  
(すべての生徒を対象にした進学や就職等に関する相談)
- 5 キャリア教育にかかわる体験的な学習（インターンシップや社会人による講話など）
- 6 上記に該当するものはない

(3) その他の計画についておたずねします。貴校には、以下の計画はありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(全体計画の中に含まれている場合も「あてはまる」とお答えください。)

- 1 校内におけるキャリア教育に関する教職員の研修計画
- 2 保護者に働きかけたり、保護者と連携したりするキャリア教育に関する活動の計画
- 3 卒業者への追指導
- 4 校外関係諸機関などとの連携計画
- 5 「進路の手引き」等の作成  
(進路状況、職業研究、受験手続、合格体験記など、生徒が進路を考えるうえで参考となる情報を掲載し、生徒に配布する資料)
- 6 上記に該当するものはない

(4) 貴校が平成 24 年度のキャリア教育の計画を立てる上で、重視したことがらはどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 生徒の実態や学校の特色、地域の実態を把握し計画に反映させること
- 2 生徒が、学年末や卒業時まで「〇〇ができるようになる」など、具体的な目標を立てること
- 3 発達の段階に応じたキャリア教育の実践が行われるようにすること
- 4 貴校のキャリア教育で育てる力と基礎的・汎用的能力との関連を整理すること
- 5 様々な教科や領域・行事等、教育課程全体を通したキャリア教育が行われるようにすること
- 6 現在の学びと将来の進路との関連を生徒に意識づけること
- 7 取組の改善につながる評価を実施すること
- 8 就業体験（インターンシップ）や社会人による講話など、職業や就労にかかわる体験活動を充実させること
- 9 大学等の体験入学や学校紹介など、上級学校にかかわる体験活動を取り入れること
- 10 就業体験（インターンシップ）などの体験活動において、事前指導・事後指導を重視すること
- 11 保護者や地域、外部団体との連携を図ること
- 12 個人資料に基づき生徒理解を深めることや生徒に正しい自己理解を得させること
- 13 生徒に進路に関する情報を得させる活動を取り入れること
- 14 キャリア・カウンセリング（進路相談）を取り入れること
- 15 具体的な進路（就職先や進学先等）の選択や決定に関する指導・援助を行うこと
- 16 卒業生への追指導を行うこと
- 17 上記に該当するものはない
- 18 本校ではキャリア教育に関する計画がないので、回答できない

問5 総合的な学習の時間で自己の在り方生き方を考えさせる等、キャリア教育に関する内容にどのくらい時間をあてていますか。学年ごとに、あてはまるものを1つずつ選んでください。

(1) 第1学年		(2) 第2学年		(3) 第3学年	
1	0時間	1	0時間	1	0時間
2	1～15時間	2	1～15時間	2	1～15時間
3	16～35時間	3	16～35時間	3	16～35時間
4	36～53時間	4	36～53時間	4	36～53時間
5	54～70時間	5	54～70時間	5	54～70時間
6	71～88時間	6	71～88時間	6	71～88時間
7	89～105時間	7	89～105時間	7	89～105時間
8	106時間以上	8	106時間以上	8	106時間以上

問6 「就業体験（インターンシップ）」にあてる時間（事前・事後指導は含まない）は、平成 24 年度の年間指導計画にどのくらい位置づけられていますか。学年ごとに、あてはまるものを1つずつ選んでください。

(1) 第1学年		(2) 第2学年		(3) 第3学年	
1	0日	1	0日	1	0日
2	1日	2	1日	2	1日
3	2～3日	3	2～3日	3	2～3日
4	4～5日	4	4～5日	4	4～5日
5	6～10日	5	6～10日	5	6～10日
6	11～29日	6	11～29日	6	11～29日
7	30日以上	7	30日以上	7	30日以上

問7 今年度、貴校で実施した（実施予定も含む）研修会の内容について、あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 キャリア教育の概要や推進方全般に関する研修
- 2 キャリア教育の授業実践に関する研修
- 3 キャリア教育の評価に関する研修
- 4 キャリア・カウンセリング（進路相談）の実践に関する研修
- 5 上級学校の理解を深める研修
- 6 職業興味検査・職業適性検査など、諸検査に関する研修
- 7 雇用・就職・就業の動向に関する研修
- 8 グローバル化などの社会・経済・産業の構造的変化に関する研修
- 9 上記以外のキャリア教育に関する研修
- 10 キャリア教育に関する研修は実施していない

問8 今年度、貴校で実施した（実施予定も含む）研修会で、活用した（予定の）資料や情報をすべて選んでください。

- 1 「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（平成 23 年 1 月中央教育審議会答申）」
- 2 「キャリア発達にかかわる諸能力の育成に関する調査研究報告書（平成 23 年 3 月国立教育政策研究所）」
- 3 「高等学校キャリア教育の手引き（平成 23 年 11 月文部科学省）」
- 4 パンフレット「キャリア教育は生徒に何ができるのだろうか？（平成 22 年 2 月国立教育政策研究所）」
- 5 パンフレット「キャリア教育を創る（平成 23 年 11 月国立教育政策研究所）」
- 6 パンフレット「キャリア教育をデザインする（平成 24 年 8 月国立教育政策研究所）」
- 7 文部科学省・国立教育政策研究所のキャリア教育に関するウェブサイト
- 8 都道府県や市町村、教育センター等行政機関作成のキャリア教育に関するパンフレット、手引き及びウェブサイト
- 9 上記以外のキャリア教育に関する専門図書、雑誌論文・記事等の情報や資料
- 10 キャリア教育に関する研修は実施していない（またはその予定はない）

問9 今年度、研修会等への教職員の派遣状況についておたずねします。派遣したもの（予定も含む）をすべて選んでください。

- 1 他の高等学校のキャリア教育に関する授業研究会
- 2 幼稚園・保育所の公開授業（キャリア教育に関する授業にかかわらず）
- 3 小学校の公開授業（キャリア教育に関する授業にかかわらず）
- 4 中学校の公開授業（キャリア教育に関する授業にかかわらず）
- 5 専門学校・各種学校の公開授業（キャリア教育に関する授業にかかわらず）
- 6 大学や短期大学の公開授業（キャリア教育に関する授業にかかわらず）
- 7 職業興味検査や職業適性検査など、諸検査に関する研修会
- 8 教育相談、キャリア・カウンセリング（進路相談）等に関する研修会
- 9 雇用・就職・就業の動向に関する研修会
- 10 グローバル化などの社会・経済・産業の構造的変化に関する研修会
- 11 上記以外のキャリア教育に関する研修会
- 12 学校外におけるキャリア教育に関する研修会等には派遣していない

問10 貴校が保護者を対象に企画・実施しているキャリア教育に関する諸活動についておたずねします。

平成 24 年度において、次の(1)～(12)のそれぞれの企画・実施の有無について、実施対象学年欄の1～4の中からあてはまるものをすべて選んでください。

キャリア教育に関する諸活動	実施対象学年			
	1年	2年	3年	なし
(1) 産業や職業の状況についての情報提供	1	2	3	4
(2) 上級学校の内容や入試等についての情報提供	1	2	3	4
(3) 卒業生の進路状況についての情報提供	1	2	3	4
(4) 上級学校への訪問や見学	1	2	3	4
(5) 上級学校の関係者を招いて行う学校説明会	1	2	3	4
(6) 進学にかかる費用や奨学金についての情報提供	1	2	3	4
(7) 卒業生（大学生・若手社会人等）による体験発表会	1	2	3	4
(8) 社会人による生き方やキャリア教育に関する講話・講演	1	2	3	4
(9) 若年者の雇用・就職・就業の動向に関する講話・講演	1	2	3	4
(10) グローバル化などの社会・経済・産業の構造的変化に関する講話・講演	1	2	3	4
(11) キャリア教育に関するホームルーム活動や総合的な学習の時間、就業体験（インターンシップ）発表会などの公開	1	2	3	4
(12) キャリア教育の企画や活動への参加依頼	1	2	3	4



問 11 キャリア教育の一環として、貴校が生徒を対象として行う他の学校や諸機関との連携についておたずねします。以下の設問にお答えください。

(1) 貴校と他の学校との連携についておたずねします。次の①～⑤のそれぞれについて、あてはまるものを、連携内容欄の1～6の中からすべて選んでください。

	連携内容					
	1	2	3	4	5	6
連携先（学校関係）	講話や出前授業（出張授業）の依頼・協力	職場見学・職場体験・就業体験（インターンシップ）の受入依頼・受入協力	インターンシップの報告会や発表会への参加依頼	インターンシップ以外の学習発表会への参加依頼	その他の活動における交流・協力・連携等	特に連携はしていない
① 近隣の幼稚園、保育所	1	2	3	4	5	6
② 近隣の小学校	1	2	3	4	5	6
③ 近隣の中学校	1	2	3	4	5	6
④ 近隣の高等学校	1	2	3	4	5	6
⑤ 大学・専修学校などの上級学校	1	2	3	4	5	6

(2) 貴校と諸機関との連携についておたずねします。次の①～⑦のそれぞれについて、あてはまるものを、連携内容欄の1～6の中からすべて選んでください。

	連携内容					
	1	2	3	4	5	6
連携先（諸機関）	講話・実演等の依頼	就業体験（インターンシップ）の受入依頼	インターンシップの報告会や発表会への参加依頼	学習発表会への参加依頼	インターンシップ以外の仲介や開拓などの依頼	特に連携はしていない
① 家庭や保護者（PTAの委員会などを含む）	1	2	3	4	5	6
② 卒業生による組織（同窓会等）	1	2	3	4	5	6
③ 企業や事業所など	1	2	3	4	5	6
④ 公共職業安定所（ハローワーク）	1	2	3	4	5	6
⑤ ジョブカフェ	1	2	3	4	5	6
⑥ 地域若者サポートステーション(サポステ)	1	2	3	4	5	6
⑦ 特定非営利法人 (キャリア教育コーディネーター等)	1	2	3	4	5	6

問 12 貴校における「基礎的・汎用的能力」に関する指導状況についておたずねします。

【参考】

中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」には、「幼児期の教育から高等教育まで体系的にキャリア教育を進めること。その中心として、基礎的・汎用的能力を確実に育成するとともに、社会・職業との関連を重視し、実践的・体験的な活動を充実すること」とあります。

キャリア教育の中心として育成すべき能力として答申が提示した「基礎的・汎用的能力」とは、「分野や職種にかかわらず、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力」で、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の4つの能力に整理されています。

平成 24 年度において、次の(1)～(4)のそれぞれの指導状況について、実施対象学年欄の1～4の中からあてはまるものをすべて選んでください。

キャリア教育に関する指導方法・学習内容	実施対象学年			
	1年	2年	3年	なし
(1) 「人間関係形成・社会形成能力」の育成に関する授業・指導 (例) 他者を理解する 他者に働きかける コミュニケーション能力を高める チームワークを大切にする	1	2	3	4
(2) 「自己理解・自己管理能力」の育成に関する授業・指導 (例) 自分の役割を理解する 忍耐力を育てる 気持ちをコントロールする 主体的に行動する	1	2	3	4
(3) 「課題対応能力」の育成に関する授業・指導 (例) 情報を理解し選択したり処理したりできる 課題を発見する 計画立案し実行する 評価し改善する	1	2	3	4
(4) 「キャリアプランニング能力」の育成に関する授業・指導 (例) 学ぶことや働くことの意義を理解する 将来設計をする 情報を選択し行動と改善にいかす	1	2	3	4

問 13 問 12(4)の「キャリアプランニング能力」の育成に関する授業・指導について、社会的な変化に焦点をあてながらより詳しくおたずねします。平成 24 年度において、次の(1)～(10)のそれぞれの企画・実施の有無について、実施対象学年欄の1～4の中からあてはまるものをすべて選んでください。

学習内容	実施対象学年			
	1年	2年	3年	なし
(1) 近年、大学生の就職率（就職を希望している学生のうち就職した者の割合）は向上しているが、高校生の就職率に比べて低い状態が続いていること	1	2	3	4
(2) 近年、新規学卒者の早期離職率は減少傾向にあるが、今日でもなお、高校卒業後就職した者の約4割、大学卒業後就職した者の約3割が、就職後3年以内に離職していること	1	2	3	4
(3) 近年、男女共同参画社会の実現が重要視され、男性も女性も一人の人間として能力を発揮し、様々な活動ができるようにすることが目指されていること	1	2	3	4
(4) 近年、中国やASEAN 諸国、インドをはじめとするアジアの国々の経済活動が活発化しており、企業間の世界的な競争の激しさが増していること	1	2	3	4
(5) 企業規模や業種等を問わず、海外との取引や連携の機会が増えてきていること	1	2	3	4
(6) 外国人の採用を増やす企業や、日本人・外国人の区分を設けずに採用する企業が見られ始めていること	1	2	3	4
(7) 企業規模や業種等を問わず、社員の外国語でのコミュニケーション能力を重視する企業が増えてきていること	1	2	3	4
(8) 企業規模や業種等を問わず、母語や文化などの異なる同僚や上司と共に働く機会が増えてきていること	1	2	3	4
(9) 仕事をする上では、多様な文化的背景をもつ同僚・上司・顧客等に自分の考えを分かりやすく伝え、価値観等の差異を越えて相手を理解する力が求められること	1	2	3	4
(10) 現在、日本食、映像コンテンツ、日本文化など日本ブランドの国際発信力強化の重要性が指摘されていること	1	2	3	4

問 14 貴校が教育課程の中で、生徒を対象に企画・実施しているキャリア教育に関する学習の機会や内容等についておたずねします。

平成 24 年度において、次の(1)～(20)のそれぞれの企画・実施の有無について、実施対象学年欄の1～4の中からあてはまるものをすべて選んでください。

キャリア教育に関する学習の機会や内容等	実施対象学年			
	1年	2年	3年	なし
《キャリア教育に関する学習の機会》				
(1) 生徒のキャリア発達を意識した各教科の授業 (キャリア発達…社会の中で自分の役割を果たしながら、自分の生き方を実現していく過程のこと)	1	2	3	4
(2) 生徒のキャリア発達を意識したホームルーム活動の授業	1	2	3	4
(3) 生徒のキャリア発達を意識した総合的な学習の時間の授業	1	2	3	4
《キャリア教育に関する学習の内容等》				
(4) 将来設計全般に関する学習	1	2	3	4
(5) 自分を理解する学習（キャリア・カウンセリング、諸検査を含む）	1	2	3	4
(6) 進路や生き方に関する話し合いやパネルディスカッション	1	2	3	4
(7) 職場の訪問や見学、職業の調査・研究活動	1	2	3	4
(8) 事業所（企業・福祉施設・公共施設など）における体験学習 (職場見学、就業体験、ボランティア活動を含む)	1	2	3	4
(9) 上記の事業所での体験学習にかかわる事前・事後学習	1	2	3	4
(10) 大学、専修学校など上級学校への訪問や見学、体験入学、学校説明会	1	2	3	4
(11) 大学、専修学校など上級学校への訪問や見学、体験入学にかかわる事前・事後指導	1	2	3	4
(12) 大学、専修学校など上級学校の関係者を招いて行う学校説明会	1	2	3	4
(13) 保護者による職業についての講話	1	2	3	4
(14) 卒業生（大学生や若手社会人など）による体験発表会	1	2	3	4
(15) 社会人による生き方や進路に関する講話・講演	1	2	3	4
(16) 今後の雇用・就職・就業の動向に関する講話・講演	1	2	3	4
(17) グローバル化などの社会・経済・産業の構造的変化に関する講話・講演	1	2	3	4
(18) 就職後の離職・失業など、将来起こり得る人生上の諸リスクへの対応に関する学習	1	2	3	4
(19) 転職希望者や再就職希望者などへの就職支援の仕組みに関する学習	1	2	3	4
(20) 男女が対等な構成員として様々な活動に参画できる社会（男女共同参画社会）の重要性に関する学習	1	2	3	4

問 15 貴校におけるキャリア教育の現状についておたずねします。全校的な立場から「そのとおりである」と思うものをすべて選んでください。

- 1 キャリア教育の計画の作成にあたっては、ガイダンスの機能の充実を図るよう工夫している
  - 2 キャリア教育の諸計画は、計画通り実施されている
  - 3 キャリア教育に関する担当者を中心とする校務分掌組織が確立され、機能している
  - 4 教員はキャリア教育に関して理解し、協力している
  - 5 教員はキャリア教育に関する研修などに積極的に参加し、指導力の向上に努めている
  - 6 教員は指導案の作成や教材の工夫に努めている
  - 7 教員はキャリア教育に関する情報を収集し、活用している
  - 8 就業体験（インターンシップ）や社会人による講話など、キャリア教育にかかわる体験的学習を実施している
- ☞ 問 16 にもお答えください。
- 9 キャリア教育を実施するための時間は確保されている
  - 10 キャリア教育のための予算は確保されている
  - 11 保護者は学校のキャリア教育に関して理解し、協力している
  - 12 キャリア教育にあたって、社会人などの参画・協力を得ている
  - 13 キャリア教育の計画の実施について評価を行っている
  - 14 キャリア教育の実践によって、生徒が自らの生き方を考えるきっかけになり得ている
  - 15 キャリア教育の実践によって、学習全般に対する生徒の意欲が向上してきている
  - 16 キャリア教育の実践によって、学校や地域の課題解決に向かっている
  - 17 上記に該当するものはない

問 16 問 15 の選択肢 8（「就業体験（インターンシップ）や社会人による講話など、キャリア教育にかかわる体験的学習を実施している」）を選択した方におたずねします。

就業体験（インターンシップ）の事前指導・事後指導について、どのような内容のものを実施しましたか（予定も含む）。次の(1)(2)について、それぞれあてはまるものをすべて選んでください。

(1) 事前指導について

- 1 マナー指導（礼儀作法や挨拶の方法、電話のかけ方の指導等）
- 2 訪問先についての調べ学習
- 3 キャリア教育の視点から見た体験活動の目的を確認する全体指導
- 4 キャリア教育の視点から見た体験活動の目的を個人で考えさせる活動
- 5 キャリア教育の視点から見た体験活動の目的についての話し合い活動
- 6 キャリア教育の視点から見た体験活動の目的に関する個人面談・個別指導
- 7 特に事前指導はしていない

(2) 事後指導について

- 1 訪問先へのお礼状の作成
- 2 報告書、レポート等の作成
- 3 校内の生徒や教職員を対象にした発表会の実施
- 4 保護者や地域住民、近隣の中学生を対象にした発表会の実施
- 5 キャリア教育の視点から見た体験活動の目的が達成できたかを確認する全体指導
- 6 キャリア教育の視点から見た体験活動の目的が達成できたかを考えさせる個人面談・個別指導
- 7 キャリア教育の視点から見た体験活動で学んだことについて話し合う活動
- 8 特に事後指導はしていない

問 17 貴校がキャリア教育を適切に行っていく上で、現状からみて、今後どのようなことが重要になると思いますか。次の(1)～(19)のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

キャリア教育に関する事柄	1 とても重要だ と思う	2 ある程度重要 だと思う	3 あまり重要だ とは思わない	4 重要だとは 思わない
(1) キャリア教育の計画の作成にあたって、ガイダンスの機能の充実を図るよう工夫すること	1	2	3	4
(2) 生徒の実態や学校の特色、地域の実態を反映させた計画の立案をすること	1	2	3	4
(3) 生徒が、学年末や卒業時まで「〇〇ができるようになる」など、具体的な目標を立てること	1	2	3	4
(4) 発達の段階に応じたキャリア教育の実践が行われるようにすること	1	2	3	4
(5) 貴校のキャリア教育で育てる力と基礎的・汎用的能力との関連を整理すること	1	2	3	4
(6) 様々な教科や領域・行事等、教育課程全体をキャリア教育の関連から整理すること	1	2	3	4
(7) 担当者を中心とする組織体制を確立すること	1	2	3	4
(8) キャリア教育を計画通り、確実に実施すること	1	2	3	4
(9) キャリア教育に関する教員の理解と協力を得ること	1	2	3	4
(10) 取組の改善につながる評価を実施すること	1	2	3	4
(11) キャリア教育にかかわる体験活動を実施すること	1	2	3	4
(12) 就業体験（インターンシップ）などの体験的活動では、事前指導・事後指導を重視すること	1	2	3	4
(13) 保護者や地域、外部団体との連携を図ること	1	2	3	4
(14) 体験活動における受入事業所等を開拓すること	1	2	3	4
(15) キャリア教育に関する研修への参加などによる指導力の向上を図ること	1	2	3	4
(16) キャリア教育に関する指導案の作成や教材の工夫などによる指導の改善・充実をすること	1	2	3	4
(17) キャリア教育に関する情報を収集し、活用すること	1	2	3	4
(18) キャリア教育を実施するための時間を確保すること	1	2	3	4
(19) キャリア教育のための予算を確保すること	1	2	3	4

問 18 貴校がキャリア教育における「生徒理解のための個人資料」として利用するために、平成 24 年度に収集した（実施・収集予定を含む）資料についておたずねします。

平成 24 年度において、次の(1)～(8)のそれぞれの資料収集の有無について、実施対象学年欄の1～4の中からあてはまるものをすべて選んでください。

生徒理解のための個人資料	実施対象学年			
	1年	2年	3年	なし
(1) 実力テスト	1	2	3	4
(2) 模擬テスト	1	2	3	4
(3) 性格・行動などに関する検査・調査	1	2	3	4
(4) 適性・興味などに関する検査・調査	1	2	3	4
(5) 生徒の進路希望や進路意識に関する検査・調査	1	2	3	4
(6) 体験活動や授業で使用したワークシート、レポート、作品、感想文、自己評価カードなどのポートフォリオ	1	2	3	4
(7) 生徒の観察の記録	1	2	3	4
(8) 面接・相談の記録	1	2	3	4

問 19 貴校の「卒業生に対する追指導」の実施状況についておたずねします。平成 24 年度に実施した（実施予定を含む）追指導の対象者について、どのような追指導の方法をとったか、次の(1)～(4)のそれぞれについて、追指導の実施方法欄の1～5の中からあてはまるものをすべて選んでください。

追指導の対象	追指導の実施方法				
	1 訪問	2 召集	3 文書等	4 その他	5 なし
(1) 大学、短期大学、高等専門学校へ進学した者	1	2	3	4	5
(2) 専修学校、各種学校、職業訓練施設等へ進んだ者（予備校生を除く）	1	2	3	4	5
(3) 就職者（家業従事者を含む）	1	2	3	4	5
(4) 上記以外の者	1	2	3	4	5

(注)

- ① 追指導の実施方法の「訪問」とは、キャリア教育担当者・進路指導主事（主任）やホームルーム担任などの教員が卒業生の進学先の学校や就職先の事業所を訪問し、本人をはじめ、関係者と会って卒業生の適応状況などについて直接的・間接的に懇談する方法です。
- ② 追指導の実施方法の「召集」とは、卒業生を特定の場や自校に集めて指導する方法で、同窓会や地域別懇談会があります。
- ③ 追指導の実施方法の「文書等」とは、電話による追指導も含めて、葉書、手紙、アンケート、eメールなどを活用した方法です。

以上で質問はすべて終わりました。ご協力ありがとうございました。

## キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査（Ⅲ-②高等学校・ホームルーム担任調査票）

### おねがい

現在、小学校段階から児童生徒の発達の段階に応じたキャリア教育の推進が求められています。文部科学省では、キャリア教育を「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」ととらえ、その推進のための条件整備にあたっています。

この調査は、ホームルーム担任の先生方が取り組んでおられるキャリア教育の状況についてお聞きして、今後のキャリア教育の充実に役立てようとするものです。これまでも、中学校・高等学校においては、7年に一度、「進路指導に関する総合的実態調査」を実施してきました。今回の調査では、これまでの調査を継続させるとともに、キャリア教育の推進の観点から、その内容をキャリア教育に重点を置いて実施することといたしました。大変お忙しいこととは存じますが、本調査の趣旨をご理解のうえ何卒ご協力をお願いいたします。

この調査は無記名で行います。回答内容はすべて統計的に処理され、あなたがどのように答えたのかはわからないようになっていきますので、どうぞありのままをお答えください。

- ・ご回答はすべて別紙のマークシートにお願いします。あてはまる番号を選択の上、鉛筆で塗りつぶしてください。
- ・回答を書き終えましたら、別紙マークシートのみを学校調査票の取扱者がとりまとめ、②の封筒に入れて教育委員会に渡してください。

文部科学省 国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センター

問1 あなたのホームルームの学科について、あてはまるものを1つ選んでください。なお、回答は別紙のマークシートにお願いします（「問2」以降、すべて同じ）。

- 1 普通科
- 2 職業に関する専門学科（農業・工業・商業・水産・家庭・看護・情報・福祉などに関する学科）
- 3 その他の専門学科（理数・体育・音楽・美術・英語などに関する学科）
- 4 総合学科

問2 キャリア教育に関して、以下の設問にお答えください。

- (1) キャリア教育の推進が求められていることについてご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んでください。
  - 1 知っていた
  - 2 何となく知っていた
  - 3 知らなかった

(2) 以下のキャリア教育に関する資料や情報の中で、読んだことがあるものをすべて選んでください。

- 1 「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（平成23年1月中央教育審議会答申）」
- 2 「キャリア発達にかかわる諸能力の育成に関する調査研究報告書（平成23年3月国立教育政策研究所）」
- 3 「高等学校キャリア教育の手引き（平成23年11月文部科学省）」
- 4 パンフレット「キャリア教育は生徒に何ができるのだろうか？（平成22年2月国立教育政策研究所）」
- 5 パンフレット「キャリア教育を創る（平成23年11月国立教育政策研究所）」
- 6 パンフレット「キャリア教育をデザインする（平成24年8月国立教育政策研究所）」
- 7 文部科学省・国立教育政策研究所のキャリア教育に関するウェブサイト
- 8 都道府県や市町村、教育センター等行政機関作成のキャリア教育に関するパンフレット、手引き及びウェブサイト
- 9 上記以外のキャリア教育に関する専門図書、雑誌論文・記事等の情報や資料
- 10 上記のいずれも読んだことがない

(3) 今年度、あなたが参加した（参加予定がある）校内研修会をすべて選んでください。

- 1 キャリア教育の概要や推進方策全般に関する研修
- 2 キャリア教育の授業実践に関する研修
- 3 キャリア教育の評価に関する研修
- 4 キャリア・カウンセリング（進路相談）の実践に関する研修（すべての生徒を対象にした進学や就職に関する相談）
- 5 上級学校の理解を深める研修
- 6 職業興味検査・職業適性検査など、諸検査に関する研修
- 7 雇用・就職・就業の動向に関する研修
- 8 グローバル化などの社会・経済・産業の構造的変化に関する研修
- 9 上記以外のキャリア教育に関する研修
- 10 上記のいずれにも参加したことはない

(4) 学校外における研修等への参加状況について、平成20年度から平成24年度までの5年間で、あなたが参加した研修（個人で参加した研修も含む）をすべて選んでください。

- 1 他の高等学校のキャリア教育に関する授業研究会
- 2 幼稚園・保育所の公開授業（キャリア教育に関する授業にかかわらず）
- 3 小学校の公開授業（キャリア教育に関する授業にかかわらず）
- 4 中学校の公開授業（キャリア教育に関する授業にかかわらず）
- 5 大学・短期大学の公開授業（キャリア教育に関する授業にかかわらず）
- 6 専門学校・専修学校・各種学校の公開授業（キャリア教育に関する授業にかかわらず）
- 7 職業適性検査、職業興味検査等、諸検査に関する研修会
- 8 教育相談、キャリア・カウンセリング（進路相談）に関する研修会
- 9 雇用・就職・就業の動向に関する研修会
- 10 グローバル化などの社会・経済・産業の構造的変化に関する研修会
- 11 上記以外のキャリア教育に関する授業研究会、研修会
- 12 研修会には参加していない



問3 「基礎的・汎用的能力」についておたずねします。

**〈参考〉**  
 中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」には、「幼児期の教育から高等教育まで体系的にキャリア教育を進めること。その中心として、基礎的・汎用的能力を確実に育成するとともに、社会・職業との関連を重視し、実践的・体験的な活動を充実すること」とあります。  
 キャリア教育の中心として育成すべき能力として答申が提示した「基礎的・汎用的能力」とは、「分野や職種にかかわらず、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力」で、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の4つの能力に整理されています。

この「基礎的・汎用的能力」についてご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 「基礎的・汎用的能力」について詳しく知っており、その内容を人に説明することができる
- 2 「基礎的・汎用的能力」について、その内容を人に説明はできないがある程度知っている
- 3 内容はよく知らないが、「基礎的・汎用的能力」という言葉は聞いたことがある
- 4 「基礎的・汎用的能力」という言葉を聞いたことがない

問4 あなたのホームルームあるいは学年における、キャリア教育の計画・実施の現状についておたずねします。あなたが「そのとおりである」と思うものをすべて選んでください。

- 1 ホームルームのキャリア教育の計画は、学校全体のキャリア教育の計画に基づいて作成されたものである
- 2 ホームルームのキャリア教育の計画は、生徒のキャリア発達の課題に即して作成されたものである
- 3 ホームルームのキャリア教育は計画に基づいて実施している
- 4 ホームルームのキャリア教育計画を実施するための時間は確保されている
- 5 キャリア・カウンセリング（進路相談）を実施している
- 6 キャリア教育に関する指導案や教材の作成等を工夫している
- 7 キャリア教育に関する研修などに積極的に参加し、自己の指導力の向上に努めている
- 8 卒業後の就職や進学に関する情報資料を収集・活用している
- 9 進学にかかる費用や奨学金についての情報提供や生徒主体の情報収集に取り組んでいる
- 10 近年の若年者の雇用・就職・就業の動向に関する情報提供や生徒主体の情報収集に取り組んでいる
- 11 就職後の離職・失業など、将来起こり得る人生上の諸リスクへの対応に関する情報提供や生徒主体の情報収集に取り組んでいる
- 12 グローバル化などの社会・経済・産業の構造的変化に関する情報提供や生徒主体の情報収集に取り組んでいる
- 13 就業体験（インターンシップ）などの将来の職業にかかわる体験活動を実施している
- 14 就業体験（インターンシップ）での体験活動の実施においては、事前・事後指導を十分に行っている
- 15 社会人や保護者の講話など地域や家庭の教育力の活用に努めている
- 16 キャリア教育の成果についての評価（アンケートやポートフォリオなど）を行っている
- 17 特にキャリア教育に関する計画・実施はしていない

問5 あなたのホームルームあるいは学年における、キャリア教育の計画・実施に関する生徒や保護者の現状についておたずねします。あなたが「そのとおりである」と思うものをすべて選んでください。

- 1 生徒はキャリア教育に関する学習に積極的に取り組んでいる
- 2 キャリア教育を実施する中で、生徒は自己の生き方や進路を真剣に考えている
- 3 生徒は卒業後の就職や進学に関する情報資料をよく利用している
- 4 生徒は卒業後の就職や進学に関する副読本などの教材をよく利用している
- 5 生徒はキャリア教育に関する学習や活動を通して、学習全般に対する意欲が向上してきている
- 6 保護者は学校のキャリア教育の計画・実施について理解し、協力している
- 7 上記に特にあてはまるものはない

問6 あなたのホームルームでキャリア教育を行う上で、特にどのようなことに重点をおいて指導していますか。次の(1)～(15)のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

指導上の留意事項	1	2	3	4
	よく指導している	指導している程度	あまり指導していない	指導していない
(1) 様々な立場や考えの相手に対して、その意見を聴き理解しようとする	1	2	3	4
(2) 相手が理解しやすいように、自分の考えや気持ちを整理して伝えること	1	2	3	4
(3) 自分の果たすべき役割や分担を考え、周囲の人と力を合わせて行動しようとする	1	2	3	4
(4) 自分の興味や関心、長所や短所などについて把握し、自分らしさを発揮すること	1	2	3	4
(5) 喜怒哀楽の感情に流されず、自分の行動を適切に律して取り組もうとする	1	2	3	4
(6) 不得意なことや苦手なことでも、自分の成長のために進んで取り組もうとする	1	2	3	4
(7) 調べたいことがある時、自ら進んで資料や情報を集め、必要な情報を取捨選択すること	1	2	3	4
(8) 起きた問題の原因、解決すべき課題はどこにあり、どう解決するのかを工夫すること	1	2	3	4
(9) 活動や学習を進める際、適切な計画を立てて進めたり、評価や改善を加えて実行したりすること	1	2	3	4
(10) 学ぶことや働くことの意義について理解し、学校での学習と自分の将来をつなげて考えること	1	2	3	4
(11) 自分の将来について具体的な目標をたて、現実を考えながらその実現のための方法を考えること	1	2	3	4
(12) 自分の将来の目標の実現に向かって具体的に行動したり、その方法を工夫・改善したりすること	1	2	3	4
(13) 上級学校や職場に関する情報を収集・活用すること	1	2	3	4
(14) 「進学したい学校」・「就職したい職場」を選び、その実現のために努力すること	1	2	3	4
(15) 上級学校や職場を選ぶにあたって、その合格の可能性や採用の可能性を考慮すること	1	2	3	4



問7 あなたのホームルームでキャリア教育を行う際、どのような「生徒理解のための個人資料」を利用していますか。次の(1)～(10)のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

生徒理解のための個人資料	1 よく 利用 している	2 ある 程度 利 用して いる	3 して いな い	4 あ ま り 利 用 し て い な い
(1) 定期テストなどの日常の学習の成績	1	2	3	4
(2) 日常の学習における意欲や態度	1	2	3	4
(3) キャリア教育の記録（ポートフォリオ）や成果	1	2	3	4
(4) キャリア教育にかかわる体験活動における意欲や態度	1	2	3	4
(5) 生徒会活動や部活動などの諸活動への参加状況	1	2	3	4
(6) ボランティア活動など、学校外における諸活動への参加状況	1	2	3	4
(7) 適性、興味などに関する検査・調査の結果	1	2	3	4
(8) 進路希望調査の回答	1	2	3	4
(9) 生徒の進路意欲に関する検査・調査の回答	1	2	3	4
(10) キャリア・カウンセリング（進路相談）の記録	1	2	3	4

問8 ホームルームのキャリア教育について、あなた自身が困ったり悩んだりしていることについておたずねします。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 キャリア教育の全体計画がない
- 2 キャリア教育に関する学年やホームルームの計画がない
- 3 キャリア教育を実施する十分な時間が確保できない
- 4 キャリア教育に関する指導の内容・方法をどのようにしたらよいかわからない
- 5 キャリア教育の適切な教材が得られない
- 6 キャリア・カウンセリング（進路相談）の内容・方法がわからない
- 7 キャリア教育と進路指導との違いがわからない
- 8 学校・学年の理解や協力が得られない
- 9 生徒の進路意識や進路選択態度に望ましい変容が見られない
- 10 キャリア教育にかかわる学習や体験活動について、保護者の理解や協力が得られない
- 11 保護者のキャリア教育に対する期待が進路先の選択やその合格可能性に偏っている
- 12 キャリア教育にかかわる学習や体験活動の計画・実施にあたって地域や企業等の協力が得られない
- 13 キャリア教育を推進する予算が確保されない
- 14 キャリア教育に関する研修の機会が得られない
- 15 キャリア・カウンセリング（進路相談）や進路に関する資料の保管・活用のための施設・設備（進路相談室等）がない
- 16 キャリア教育の計画・実施についての評価の仕方がわからない
- 17 評価に基づいたキャリア教育の計画や実践に関する改善がなされない
- 18 上記の中にあてはまる悩みはない

問9 ホームルームでキャリア教育を適切に行っていく上で、現状からみて、今後どのようなことが重要になると思いますか。次の(1)～(19)のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

キャリア教育の計画・実施に関することがら	1 と と も 重 要 だ と 思 う	2 あ る 程 度 重 要 だ と 思 う	3 あ ま り 重 要 だ と 思 わ な い	4 重 要 だ と は 思 わ な い
(1) 学校のキャリア教育全体計画に基づくホームルーム・学年のキャリア教育の計画の立案	1	2	3	4
(2) 生徒のキャリア発達の課題に即したホームルーム・学年のキャリア教育の計画の立案	1	2	3	4
(3) 諸計画に基づくキャリア教育の実施	1	2	3	4
(4) キャリア教育を実施するための時間の確保	1	2	3	4
(5) キャリア教育の計画の立案にあたっての生徒の参加	1	2	3	4
(6) 進路学習における生徒主体の活動、運営	1	2	3	4
(7) 自らの生き方にかかわるキャリア教育の充実	1	2	3	4
(8) 卒業後の就職や進学に関する情報資料の収集と活用	1	2	3	4
(9) 卒業後の就職や進学の指導に関する副読本などの活用	1	2	3	4
(10) キャリア・カウンセリング（進路相談）の充実	1	2	3	4
(11) キャリア教育に関する指導案の作成や教材の工夫	1	2	3	4
(12) キャリア教育に関する研修などへの参加による自己の指導力の向上	1	2	3	4
(13) 就業体験（インターンシップ）や社会人による講話など、キャリア教育にかかわる体験的な学習の充実	1	2	3	4
(14) 就業体験（インターンシップ）や社会人による講話など、キャリア教育にかかわる体験的な学習における事前・事後指導の充実	1	2	3	4
(15) 体験活動における受入事業所等の開拓	1	2	3	4
(16) 社会人や保護者の講話など、地域や家庭の教育力の活用	1	2	3	4
(17) キャリア教育の計画・実施に対する保護者の理解と協力	1	2	3	4
(18) ホームルームのキャリア教育の計画・実施に対する他の教員の理解と協力	1	2	3	4
(19) キャリア教育の成果に関する評価	1	2	3	4

問 10 あなたは、キャリア教育の一環として、社会的な変化についてどの程度生徒に伝えていきますか。

次の(1)～(10)のそれぞれについて、あてはまるものを1～3の中から1つずつ選んでください。

社会的な変化に関することがら	1 重要な動向として 生徒に伝えている	2 社会的な変化の一つ として概略的に 生徒に伝えている	3 生徒に伝える機会を 設けて来なかった
(1) 近年、大学生の就職率（就職を希望している学生のうち就職した者の割合）は向上しているが、高校生の就職率に比べて低い状態が続いていること	1	2	3
(2) 近年、新規学卒者の早期離職率は減少傾向にあるが、今日でもなお、高校卒業後就職した者の約4割、大学卒業後就職した者の約3割が、就職後3年以内に離職していること	1	2	3
(3) 近年、男女共同参画社会の実現が重要視され、男性も女性も一人の人間として能力を発揮し、様々な活動ができるようになることが目指されていること	1	2	3
(4) 近年、中国や ASEAN 諸国、インドをはじめとするアジアの国々の経済活動が活発化しており、企業間の世界的な競争の激しさが増していること	1	2	3
(5) 企業規模や業種等を問わず、海外との取引や連携の機会が増えてきていること	1	2	3
(6) 外国人の採用を増やす企業や、日本人・外国人の区分を設けずに採用する企業が見られ始めていること	1	2	3
(7) 企業規模や業種等を問わず、社員の外国語でのコミュニケーション能力を重視する企業が増えてきていること	1	2	3
(8) 企業規模や業種等を問わず、母語や文化などの異なる同僚や上司と共に働く機会が増えてきていること	1	2	3
(9) 仕事をする上では、多様な文化的背景をもつ同僚・上司・顧客等に自分の考えを分かりやすく伝え、価値観等の差異を越えて相手を理解する力が求められること	1	2	3
(10) 現在、日本食、映像コンテンツ、日本文化など日本ブランドの国際発信力強化の重要性が指摘されていること	1	2	3

以上で質問はすべて終わりました。ご協力ありがとうございました。

## キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査（Ⅲ－③高等学校・生徒調査票）

### おねがい

この調査は、高校生の皆さんが自分の将来の生き方や卒業後の進路についてどのように考えているかをお聞きして、今後のキャリア教育の充実に役立てようとするものです。

この調査は、無記名で行い、あなたがどのように答えたのかはわからないようになっていますので、どうぞありのままを答えてください。

- ・回答はすべて別紙のマークシートをお願いします。あてはまる番号を選択の上、鉛筆で塗りつぶしてください。
- ・回答の記入が終わったら、先生の指示に従って、この調査票と別紙マークシートを提出してください。（担任の先生は、お手数ですが、マークシートのみを③の封筒に入れ、学校調査票の取扱者に渡してください。）

文部科学省 国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センター

問1 あなたの性別についておたずねします。あてはまる番号を選んでください。なお、回答は別紙のマークシートをお願いします（「問2」以降、すべて同じ）。

- 1 男                      2 女

問2 あなたが在学している学科についておたずねします。あてはまる番号を1つ選んでください。

- 1 普通科  
2 職業に関する専門学科（農業・工業・商業・水産・家庭・看護・情報・福祉などに関する学科）  
3 その他の専門学科（理数・体育・音楽・美術・英語などに関する学科）  
4 総合学科

問3 今の高等学校に入学した動機は何でしたか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 自分の学力にあっているから  
2 自分の個性を伸ばすことができると思うから  
3 自分のやりたい勉強ができると思うから  
4 自分のやりたい部活動ができるから  
5 資格が取得できるから  
6 進学に有利だから  
7 就職に有利だから  
8 教育内容に特色がある学校だから  
9 将来希望する職業に役立つ学力や技術が身につくから  
10 通学に便利だから  
11 学校の伝統や校風の評判がよいから  
12 校則が自分に合っていると思うから  
13 学校の制服が気に入ったから  
14 校舎や施設・設備がすばらしいから  
15 男女共学（男女別学）だから  
16 保護者や先生にすすめられたから  
17 友人と同じ学校に行きたいから  
18 上記にあてはまる理由はない

問4 あなたは、高等学校卒業後どのような進路を希望していますか。

- ・次の1～5のうち、あてはまるものを1つ選んでください。なお、就職しながら進学を希望する人は「1 進学希望」を選んでください。
- ・また、「1 進学希望」を選んだ人は、①～⑥のうち、あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 進学希望  
① 四年制大学  
② 短期大学  
③ 通信・放送大学  
④ 高等学校専攻科  
⑤ 専門学校・専修学校・各種学校  
⑥ 公共職業訓練施設などその他の学校  
2 就職希望  
3 家業・家事に従事  
4 その他  
5 決めていない

☞問4で、「1 進学希望～4 その他」のいずれかを選んだ人は、次の問5に進んでください。

☞問4で、「5 決めていない」を選んだ人は、問8に進んでください。

問5 問4で、「1 進学希望～4 その他」のいずれかを選んだ人におたずねします。

高校卒業後の進路はいつ頃決めましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 小学校卒業まで
- 2 中学生の頃
- 3 高校1年生の頃
- 4 高校2年生の頃
- 5 高校3年生になってから

☞問4で、「1 進学希望」と答えた人は、次の問6に進んでください。

☞問4で、「2 就職希望」または「3 家業・家事に従事」と答えた人は、問7に進んでください。

☞問4で、「4 その他」と答えた人は、問8に進んでください。

問6 問4で、「1 進学希望」と答えた人におたずねします。

(1) あなたが進学を希望する理由は何ですか。次の①～⑭のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

	1	2	3	4
進学を希望する理由となること	とても思う	思う	あまり思わない	思わない
① 教養を高めたいから	1	2	3	4
② 将来の仕事に役立つ専門的な知識・技能を身につけたいから	1	2	3	4
③ 希望する職業につくために必要な資格をとりたいたから	1	2	3	4
④ 部活動（サークル活動など）がしたいから	1	2	3	4
⑤ 大学院などさらに上級の学校に進学したいから	1	2	3	4
⑥ 上級学校（大学、短期大学、専門学校等）などを卒業したほうが就職に有利だと思うから	1	2	3	4
⑦ 学校生活を楽しまたいから	1	2	3	4
⑧ まだ働きたくないから	1	2	3	4
⑨ 上級学校（大学、短期大学、専門学校等）などに進学することが当然だと思っているから	1	2	3	4
⑩ 先生がすすめるから	1	2	3	4
⑪ 保護者や家族の者がすすめるから	1	2	3	4
⑫ 友人や先輩がすすめるから	1	2	3	4
⑬ みんなが進学するから	1	2	3	4
⑭ 高卒者の求人状況が厳しいから	1	2	3	4

(2) あなたは現時点での第一志望校を選んだ理由は何ですか。次の①～⑭のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

	1	2	3	4
第一志望校を選んだ理由となること	とても思う	思う	あまり思わない	思わない
① 自分の学力にあっているから	1	2	3	4
② 自分の個性を伸ばすことができると思うから	1	2	3	4
③ 自分のやりたい勉強ができると思うから	1	2	3	4
④ 自分のやりたい部活動（サークル活動など）ができるから	1	2	3	4
⑤ 資格が取得できるから	1	2	3	4
⑥ 進学に有利だから	1	2	3	4
⑦ 就職に有利だから	1	2	3	4
⑧ 教育内容に特色があるから	1	2	3	4
⑨ 将来希望する職業に役立つ知識や技術が身につくから	1	2	3	4
⑩ 通学に便利だから	1	2	3	4
⑪ 学校の伝統や学風の評判がよいから	1	2	3	4
⑫ 校舎や施設・設備がすばらしいから	1	2	3	4
⑬ 保護者や先生がすすめる学校だから	1	2	3	4
⑭ 友人と同じ学校に行きたいから	1	2	3	4

(3) あなたは進学を希望するにあたって、どのようなことに困ったり悩んだりしていますか。あてはまることをすべて選んでください。

- 1 学習意欲がわからないこと
- 2 勉強の仕方がよくわからないこと
- 3 なぜ進学するのか、はっきりした理由が見つからないこと
- 4 進学したい学校が見つからないこと
- 5 自分の能力や適性（向き・不向き）に合う学校がないこと
- 6 希望する学校に合格できる自信がないこと
- 7 合格できそうな学校がわからないこと
- 8 親身になって相談にのってくれる人がいないこと
- 9 保護者や先生と意見が合わないこと
- 10 仲のよい友人と希望する学校が違うこと
- 11 進学するとお金がかかること
- 12 上記以外に困ったり悩んだりしていることがある
- 13 特に困ったり悩んだりしていることはない

(4) あなたは現時点での第一志望校を選ぶにあたり、どんなことを参考になりましたか。次の①～⑱のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

	1	2	3	4
第一志望校を選ぶにあたり参考とすることがら	とても参考にした	ある程度参考にした	あまり参考にしていない	参考にしていない
① 学校でのテストの結果や各教科の成績	1	2	3	4
② 高校独自で行っている実力テストの結果	1	2	3	4
③ 予備校などが行っている模擬テストの結果	1	2	3	4
④ 適性(向き・不向き)や興味などに関する検査の結果	1	2	3	4
⑤ ホームルーム活動での生き方や進路に関する学習	1	2	3	4
⑥ 就業体験(インターンシップ)での経験	1	2	3	4
⑦ 社会人の講話	1	2	3	4
⑧ ボランティア活動での経験	1	2	3	4
⑨ 授業以外の学校での活動(部活動や生徒会活動など)	1	2	3	4
⑩ 卒業生の体験発表会	1	2	3	4
⑪ 高等学校の先生との相談	1	2	3	4
⑫ 保護者や家族との相談	1	2	3	4
⑬ 友人や先輩との相談	1	2	3	4
⑭ 上記⑪⑫⑬以外の人(塾、予備校の先生、就職相談員など)との相談	1	2	3	4
⑮ 上級学校(大学、短期大学、専門学校等)の見学や体験入学	1	2	3	4
⑯ 上級学校(大学、短期大学、専門学校等)の先生の話	1	2	3	4
⑰ 学校案内やパンフレット	1	2	3	4
⑱ テレビや新聞、インターネットなどからの情報	1	2	3	4
⑲ 雑誌や本などからの情報	1	2	3	4

☞ 問8に進んでください。

問7 問4で、「2 就職希望」または「3 家業・家事に従事」と答えた人におたずねします。

(1) あなたが働くことを希望する理由は何ですか。次の①～⑨のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

	1	2	3	4
働くことを希望する理由となることがら	とても思う	思う	あまり思わない	思わない
① 若いうちに専門的な技術を身につけたいから	1	2	3	4
② 社会人として早く自立したいから	1	2	3	4
③ 勉強するより仕事をする方が向いていると思うから	1	2	3	4
④ 進学したい学校がないから	1	2	3	4
⑤ 経済的な事情で働かなければならないから	1	2	3	4
⑥ 自分の学力では進学できそうにないから	1	2	3	4
⑦ 先生が就職をすすめるから	1	2	3	4
⑧ 保護者や家族が就職をすすめるから	1	2	3	4
⑨ 友人や先輩が就職をすすめるから	1	2	3	4

(2) あなたは就職や家事への従事を希望するにあたって、どのようなことに困ったり悩んだりしていますか。あてはまることをすべて選んでください。

- やりたい仕事が見つからない
- やりたい仕事はあるが、その就職先がない
- 自分がどのような職業に向いているのかわからない
- 地元他希望する就職先がない
- 本当は上級学校(大学、短期大学、専門学校等)などに進学したい
- まわりの人は進学するので話が合わない
- 親身になって相談にのってくれる人がいない
- 保護者や先生と意見が合わない
- 仲のよい友人と離れ離れになってしまう
- 就職のため家を出て生活をしなければならぬ
- 就職先でまわりの人とうまくやっていく自信がない
- 上記以外に困ったり悩んだりしていることがある
- 特に困ったり悩んだりしていることはない

☞ 問8に進んでください。

☞以下の質問にはすべての方がお答えください。

問8 あなたは将来の生き方や進路について、保護者とどの程度話し合っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 よく話し合っている
- 2 ときどき話し合っている
- 3 あまり話し合っていない
- 4 ほとんど話し合っていない

問9 将来の職業や仕事についておたずねします。

(1) 将来何かの職業や仕事に就いて働きたいと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 働きたいと思っている
- 2 少しは働きたいと思っている
- 3 あまり働きたいとは思わない
- 4 まったく働きたいとは思わない

(2) あなたは将来就きたい職業や仕事が決まっていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 はっきり決まっている
- 2 おおよそ決まっている
- 3 まだ決まっていない

問10 あなたは、将来どのようなことがらを重視して自分の職業や仕事を選びたいと思いますか。次の

(1)～(8)のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

	1	2	3	4
職業を選ぶにあたり重視することがら	とても重視したい	ある程度重視したい	あまり重視しない	重視しない
(1) 自分の能力や適性（向き・不向き）がいかせること	1	2	3	4
(2) 社会的な地位や名声が得られること	1	2	3	4
(3) 自分の自由になる時間が多く得られること	1	2	3	4
(4) 高い収入が得られること	1	2	3	4
(5) 高い専門的な能力を身に付けたり、発揮したりできること	1	2	3	4
(6) 失業のおそれがないこと	1	2	3	4
(7) 社会や人のために役立ち、貢献できること	1	2	3	4
(8) 自分の興味や好みにあっていること	1	2	3	4

問11 あなたの日常生活（授業中や放課後、家庭での生活などすべてを含みます）に関しておたずねします。次の(1)～(12)のそれぞれについて、自分の日常生活の様子をふり返った時、あてはまるものを1～3の中から1つずつ選んでください。

	1	2	3
日常生活の様子	いつもそうしている	時々そうしている	していない
(1) 友だちや家の人の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止めようとしている	1	2	3
(2) 相手が理解しやすいように、自分の考えや気持ちを整理して伝えようと工夫している	1	2	3
(3) 自分の果たすべき役割や分担を考え、周囲の人と力を合わせて行動しようとしている	1	2	3
(4) 自分の興味や関心、長所や短所などについて把握し、良いところを伸ばし、悪いところを克服しようとしている	1	2	3
(5) 自分がすべきことがある時に、喜怒哀楽の感情に流されず、行動を適切に律して取り組もうとしている	1	2	3
(6) 不得意なことや苦手なことでも、自ら進んで取り組もうとしている	1	2	3
(7) 調べたいことがある時、自ら進んで資料や情報を集め、必要な情報を取捨選択している	1	2	3
(8) 何か問題が起きた時、次に同じような問題が起きないように原因を考えたり、解決方法を工夫したりしている	1	2	3
(9) 何かをする時、見通しをもって計画し、評価や改善を加えて実行している	1	2	3
(10) 学ぶことや働くことの意義について考えたり、今学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えたりしている	1	2	3
(11) 自分の将来について具体的な目標をたて、現実を考えながらその実現のための方法を考えている	1	2	3
(12) 自分の将来の目標の実現に向かって具体的に行動したり、その方法を工夫・改善したりしている	1	2	3



問 12 ホームルーム活動の時間や総合的な学習の時間などで、将来の生き方や進路（進学や就職）に関してあなたが学習した内容について、おたずねします。次の(1)～(16)のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

将来の生き方や進路（進学や就職）に関する学習内容	1 よく学習した	2 ある程度学習した	3 あまり学習しなかった	4 学習しなかった
(1) 自分の個性や適性（向き・不向き）	1	2	3	4
(2) 上級学校（大学、短期大学、専門学校等）の教育内容や特色	1	2	3	4
(3) 産業や職業の種類や内容	1	2	3	4
(4) 学ぶことや働くことの意義	1	2	3	4
(5) 卒業後の進路（進学や就職）選択の考え方や方法	1	2	3	4
(6) 卒業後の進路（進学や就職）に関する情報の入手方法と利用の仕方	1	2	3	4
(7) 卒業後の進路（進学や就職）に関する不安や悩みの解消	1	2	3	4
(8) 進学にかかる費用や奨学金制度	1	2	3	4
(9) 将来の職業選択や役割など、生き方や人生設計全般	1	2	3	4
(10) 社会人・職業人としての常識やマナー	1	2	3	4
(11) 労働に関する法律や制度の仕組み	1	2	3	4
(12) 近年の若者の雇用・就職・就業の動向	1	2	3	4
(13) 社会全体のグローバル化（国際化）の動向	1	2	3	4
(14) 転職希望者や再就職希望者などへの就職支援の仕組み	1	2	3	4
(15) 就職後の離職・失業など、将来起こり得る人生上の諸リスクへの対応	1	2	3	4
(16) 男女が対等な構成員として様々な活動に参画できる社会（男女共同参画社会）の重要性	1	2	3	4

問 13 あなたは将来の生き方や進路(進学や就職)に関する体験活動として、高校に入学してからこれまで、次のような活動にどの程度取り組みましたか。次の(1)～(10)のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

将来の生き方や進路（進学や就職）に関する体験活動	1 積極的に取り組んだ	2 ある程度積極的に取り組んだ	3 積極的には取り組んでいない	4 そのような活動はなかった
(1) 身近な産業や職業についての調査	1	2	3	4
(2) 職場の見学	1	2	3	4
(3) 就業体験（インターンシップ）	1	2	3	4
(4) ボランティア活動	1	2	3	4
(5) 上級学校（大学、短期大学、専門学校等）の見学や調査	1	2	3	4
(6) 上級学校（大学、短期大学、専門学校等）の体験入学	1	2	3	4
(7) 社会人や職業人の講話・講演	1	2	3	4
(8) 上級学校（大学、短期大学、専門学校等）の先生の講話・講演	1	2	3	4
(9) 卒業生の体験発表会	1	2	3	4
(10) 先生（校長先生や担任の先生など）の体験談	1	2	3	4

問 14 高校に入学してからこれまであなたが学校で経験した学習や受けた指導の中で、自分の将来の生き方や進路を考える上で、役に立ったものはどれですか。次の(1)～(27)のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

将来の生き方や進路（進学や就職）に関する指導内容	1 役に 立っ た	2 少 し は 役 に 立 っ た	3 役 に 立 た な か っ た	4 そ の よ う な 指 導 は な か っ た
(1) 様々な教科における日々の授業	1	2	3	4
(2) 係活動・委員会活動や生徒会活動などの日々の活動	1	2	3	4
(3) 部活動などの課外活動	1	2	3	4
(4) 身近な産業や職業についての調査	1	2	3	4
(5) 職場の見学	1	2	3	4
(6) 職場での就業体験（インターンシップ）	1	2	3	4
(7) ボランティア活動	1	2	3	4
(8) 上級学校（大学、短期大学、専門学校等）の訪問や見学・調査	1	2	3	4
(9) 上級学校（大学、短期大学、専門学校等）の体験入学	1	2	3	4
(10) 社会人や職業人などの講話・講演	1	2	3	4
(11) 上級学校（大学、短期大学、専門学校等）の先生の講話・講演	1	2	3	4
(12) 卒業生の体験発表会	1	2	3	4
(13) 先生（校長先生や担任の先生など）の体験談	1	2	3	4
(14) 学ぶことや働くことの意義についての学習	1	2	3	4
(15) 自分の個性や適性（向き・不向き）を考える学習	1	2	3	4
(16) 卒業後の進路（進学や就職）に関する情報の入手方法とその利用の仕方	1	2	3	4
(17) 卒業後の進路（進学や就職）についての相談	1	2	3	4
(18) 将来の職業選択や役割などの生き方や人生設計	1	2	3	4
(19) 上級学校（大学、短期大学、専門学校等）や企業への合格・採用の可能性	1	2	3	4
(20) 社会人・職業人としての常識やマナーについての学習	1	2	3	4
(21) 進学にかかる費用や奨学金についての情報	1	2	3	4
(22) 労働に関する法律や制度の仕組みについての学習	1	2	3	4
(23) 近年の若者の雇用・就職・就業の動向についての学習	1	2	3	4
(24) 社会全体のグローバル化（国際化）の動向についての学習	1	2	3	4
(25) 就職後の離職・失業など、将来起こり得る人生上の諸リスクへの対応についての学習	1	2	3	4
(26) 転職希望者や再就職希望者などへの就職支援の仕組みについての学習	1	2	3	4
(27) 男女が対等な構成員として様々な活動に参画できる社会（男女共同参画社会）の重要性についての学習	1	2	3	4

問 15 あなたは、自分の将来の生き方や進路について考えるため、ホームルーム活動の時間などで、これまでどのようなことを指導してほしかったですか。「もっとよく指導してほしかった」「これまで指導がなかったけれども、指導してほしかった」など、あなたが指導してほしかったと思うことがらをすべて選んでください。

- 1 自分の個性や適性（向き・不向き）を考える学習
- 2 上級学校（大学、短期大学、専門学校等）の教育内容や特色
- 3 産業や職業の種類や内容
- 4 学ぶことや働くことの意義や目的
- 5 卒業後の進路（進学や就職）選択の考え方や方法
- 6 卒業後の進路（進学や就職）に関する情報の入手方法とその利用の仕方
- 7 卒業後の進路（進学や就職）についての相談の方法や内容
- 8 将来の職業選択や役割などの生き方や人生設計
- 9 上級学校（大学、短期大学、専門学校等）や企業への合格・採用の可能性
- 10 社会人・職業人としての常識やマナー
- 11 進学にかかる費用や奨学金制度
- 12 労働に関する法制や制度の仕組み
- 13 近年の若者の雇用・就職・就業の動向
- 14 社会全体のグローバル化（国際化）の動向
- 15 就職後の離職・失業など、将来起こり得る人生上の諸リスクへの対応
- 16 転職希望者や再就職希望者などへの就職支援の仕組み
- 17 男女が対等な構成員として様々な活動に参画できる社会（男女共同参画社会）の重要性
- 18 特に指導してほしかったことはない

以上で質問はすべて終わりました。ご協力ありがとうございました。

## キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査（Ⅲ－④高等学校・保護者調査票）

### おねがい

現在、小学校段階から児童生徒の発達の段階に応じたキャリア教育の推進が求められています。文部科学省では、キャリア教育を「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」ととらえ、その推進のための条件整備にあたっています。

このたび、文部科学省 国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センターでは、高等学校におけるキャリア教育（将来の生き方や卒業後の進路についての教育）の充実に役立てるため、保護者の皆様に、学校におけるキャリア教育への期待などについてアンケート調査を実施することになりました。この調査は、7年に一度、中学校・高等学校で実施していた「進路指導に関する総合的実態調査」の一環として、現在、全国の高校3年生の保護者の方々の中から無作為に抽出した約5,040名を対象に実施します。大変お忙しいこととは存じますが、本調査へのご協力をよろしく願っています。

本調査票は、お子さんから高等学校へ、高等学校から教育委員会へと回収されます。また、回答内容は、すべて統計的に処理され、秘密は厳守いたします。

- ・ご回答はすべて別紙のマークシートにお願いします。あてはまる番号を選択の上、鉛筆で塗りつぶしてください。
- ・回答を書き終えましたら、別紙マークシートのみをお子さんを通して担任の先生に渡してくださるようお願いいたします。

文部科学省 国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センター

問1 あなたの性別についておたずねします。あてはまる番号を選んでください。なお、ご回答は別紙のマークシートにお願いします（「問2」以降、すべて同じ）。

- 1 男                      2 女

問2 キャリア教育に関しておたずねします。以下の設問にお答えください。

(1) あなたは、「キャリア教育」という言葉を聞いたことがありますか。あてはまるものを選んでください。

- 1 聞いたことがある      ☞ 次の問2(2)にもお答えください。  
2 聞いたことがない      ☞ 問3にお進みください。

(2) (1)で「1 聞いたことがある」と答えた方におたずねします。

あなたは、キャリア教育の推進が求められていることについてご存知でしたか。あてはまるものを選んでください。

- 1 知っていた  
2 何となく知っていた  
3 知らなかった

問3 お子さんの将来の生き方や進路に関して、お子さんと話し合っていることについておたずねします。

(1) 将来の生き方や進路について、お子さんとどの程度話し合っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 よく話し合っている  
2 ととき話し合っている  
3 あまり話し合っていない  
4 ほとんど話し合っていない

(2) あなたがお子さんと話し合った内容について、あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 進学先や就職先などの進路情報  
2 お子さんのよさや得意なことと、それをいかした将来の生き方や進学・就職などの進路  
3 お子さんの将来の生き方や進学・就職などの進路の希望やその実現の可能性  
4 保護者ご自身の歩んできた人生やそこから得た教訓  
5 家業や保護者ご自身の職業のやりがいや苦労  
6 進学や就職に向けた勉強の大切さ  
7 お子さんの将来の生き方や進学・就職などの進路にかかわる悩みや不安  
8 お子さんがインターンシップ（就業体験）やボランティア活動で感じたことや考えたこと  
9 将来、社会の一員として生きていくうえでの心構えや必要な資質など  
10 今日の社会で起きているさまざまな問題に対応した人の生き方  
11 上記のようなことについて話し合ったことはない

問4 お子さんの現在の進路に関する希望は、あなたの考えや希望と一致していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 一致している  
2 一致していない  
3 本人にまかせている  
4 よくわからない

問5 あなたは、これまでお子さんの高等学校での進路説明会や進路講演会などに参加したことがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 参加したことがある  
2 開催されているが、参加したことはない  
3 開催されていないので、参加したことがない  
4 開催されているかわからないので、参加したことがない

問6 あなたは、お子さんの高等学校の生き方や進路に関する授業を参観したり、それに参加したりしたことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 進学に関する授業を参観したことがある
- 2 職業選択や就職に関する授業を参観したことがある
- 3 将来の生き方全般に関する授業を参観したことがある
- 4 上記1～3の授業で意見を述べたり、話し合いに加わったりしたことがある
- 5 就業体験（インターンシップ）に関する生徒の報告会を参観したことがある
- 6 学校から案内があったが、参観や参加をしたことはない
- 7 学校から案内がないので、参観や参加をしたことはない

問7 お子さんの進路に関して、高等学校の先生と相談したことについておたずねします。

(1) お子さんの進路について、高等学校の先生と相談したことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 定期的な個別の面談（三者面談など）の場で相談したことがある
- 2 1以外のときに、何回か相談したことがある（電話での相談も含む）
- 3 1以外のときに、一回だけ相談したことがある（電話での相談も含む）
- 4 今まで相談したことはないが、これから相談するつもりである
- 5 今まで相談したことがなく、これからも相談するつもりはない

(2) 高等学校の先生と相談した内容について、あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 お子さんの個性とそれをいかすことができる進路
- 2 合格可能な上級学校（大学、短期大学、専門学校等）など進学先の選択
- 3 上級学校（大学、短期大学、専門学校等）の内容や特色
- 4 お子さんに向いている就職先や職業
- 5 企業等の内容や特色
- 6 お子さんの学習意欲や態度の向上
- 7 進学実現のための学習内容や方法
- 8 お子さんの生活や保護者としての接し方
- 9 進路希望をめぐるお子さんとの意見の不一致
- 10 上記のようなことに関して特に相談してこなかった

問8 あなたのお子さんの就業体験（インターンシップ）についておたずねします。

(1) あなたのお子さんは、高等学校で「就業体験（インターンシップ）」に行きましたか。または、行く予定がありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 就業体験（インターンシップ）はすでに行った
- 2 今後、就業体験（インターンシップ）に行く予定がある
- 3 就業体験（インターンシップ）は実施されておらず、今後も予定されていない
- 4 就業体験（インターンシップ）の有無についてよくわからない

(2) あなたのお子さんが、高等学校で「就業体験（インターンシップ）」を経験することについて、どう思いますか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- 1 有意義な学習だと思う
- 2 有意義な学習だとは思わない
- 3 どちらともいえない

問9 あなたはお子さんが通学している高等学校でのキャリア教育や進路指導において、どのような学習内容を期待していますか。次の(1)～(20)のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

キャリア教育や進路指導に関する学習内容	1 とても期待 している	2 期待している ある程度	3 あまり期待 していない	4 期待して いない
(1) 自分の個性や適性（向き・不向き）を理解するための学習	1	2	3	4
(2) 上級学校（大学、短期大学、専門学校等）や企業等の内容および特色についての学習	1	2	3	4
(3) 上級学校（大学、短期大学、専門学校等）などの入試制度や就職試験の仕組みについての学習	1	2	3	4
(4) 産業や職業の種類や内容に関する学習	1	2	3	4
(5) 学ぶことや働くことの意義を考えさせる学習	1	2	3	4
(6) 適切な進路選択の考え方や方法についての学習	1	2	3	4
(7) 進路に関する情報の入手とその利用の仕方に関する学習	1	2	3	4
(8) 将来の生き方や人生設計に関する学習	1	2	3	4
(9) 上級学校（大学、短期大学、専門学校等）の合格可能性を判断するための学習	1	2	3	4
(10) 希望する上級学校（大学、短期大学、専門学校等）に合格するための学力の向上	1	2	3	4
(11) 上級学校（大学、短期大学、専門学校等）に合格したり企業等に採用されたりするための学習	1	2	3	4
(12) 卒業後の進路（進学や就職）に関する不安や悩みの解消	1	2	3	4
(13) 進学にかかる費用や奨学金についての学習	1	2	3	4
(14) 社会人や職業人に必要な常識やマナーに関する学習	1	2	3	4
(15) 労働に関する法律や制度の仕組みについての学習	1	2	3	4
(16) 若年者の雇用・就職・就業の動向に関する学習	1	2	3	4
(17) グローバル化などの社会・経済・産業の構造的変化に関する学習	1	2	3	4
(18) 転職希望者や再就職希望者などへの就職支援の仕組みに関する学習	1	2	3	4
(19) 就職後の離職や失業など、将来起こり得る人生上の諸リスクへの対応に関する学習	1	2	3	4
(20) 男女が対等な構成員として様々な活動に参画できる社会（男女共同参画社会）の重要性	1	2	3	4

問 10 お子さんの進路の選択にあたり、どんなことを参考にしたいと思いますか。次の(1)～(16)のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

	1	2	3	4
進路選択にあたり参考とすることがら	参考にしたい	ある程度参考にしたい	あまり参考にしようと思わない	参考にしようと思わない
(1) 学校でのテストの結果や各教科の成績	1	2	3	4
(2) 高校独自で行っている実力テストの結果	1	2	3	4
(3) 予備校などが行っている模擬テストの結果	1	2	3	4
(4) お子さんの適性（向き・不向き）や興味	1	2	3	4
(5) お子さんの進路希望や人生設計	1	2	3	4
(6) 就業体験（インターンシップ）での経験	1	2	3	4
(7) 授業以外の学校での活動（部活動や生徒会活動等）	1	2	3	4
(8) 高等学校の先生との相談	1	2	3	4
(9) 家族での相談	1	2	3	4
(10) 他の保護者や知り合いのひととの相談	1	2	3	4
(11) 上記(8)、(9)、(10)以外の人（塾、予備校の先生、就職相談員など）との相談	1	2	3	4
(12) 保護者を対象とする、上級学校（大学、短期大学、専門学校等）や企業の見学会	1	2	3	4
(13) 保護者を対象とする、上級学校（大学、短期大学、専門学校等）の先生や企業の方の話	1	2	3	4
(14) 学校・会社案内やパンフレット	1	2	3	4
(15) テレビや新聞、インターネットなどからの情報	1	2	3	4
(16) 雑誌や本などからの情報	1	2	3	4

問 11 あなたのお子さんに、学校における授業や生活で、以下のことがらについて、どの程度指導してほしいですか。次の(1)～(15)のそれぞれについて、あてはまるものを1～3の中から1つずつ選んでください。

	1	2	3
授業や生活での指導項目	重点をおいて指導してほしいと思う	ある程度指導してほしいと思う	特に指導してほしいとは思わない
(1) 様々な立場や考えの相手に対して、その意見を聴き理解しようとする	1	2	3
(2) 相手が理解しやすいように、自分の考えや気持ちを整理して伝える	1	2	3
(3) 自分の果たすべき役割や分担を考え、周囲の人と力を合わせて行動しようとする	1	2	3
(4) 自分の興味や関心、長所や短所などについて把握し、自分らしさを発揮すること	1	2	3
(5) 喜怒哀楽の感情に流されず、自分の行動を適切に律して取り組もうとする	1	2	3
(6) 不得意なことや苦手なことでも、自分の成長のために進んで取り組もうとする	1	2	3
(7) 調べたいことがある時、自ら進んで資料や情報を集め、必要な情報を取捨選択すること	1	2	3
(8) 起きた問題の原因、解決すべき課題はどこにあり、どう解決するのかを工夫すること	1	2	3
(9) 活動や学習を進める際、適切な計画を立てて進めたり、評価や改善を加えて実行したりすること	1	2	3
(10) 学ぶことや働くことの意義について理解し、学校での学習と自分の将来をつなげて考えること	1	2	3
(11) 自分の将来について具体的な目標をたて、現実を考えながらその実現のための方法を考えること	1	2	3
(12) 自分の将来の目標の実現に向かって具体的に行動したり、その方法を工夫・改善したりすること	1	2	3
(13) 上級学校（大学、短期大学、専門学校等）や職場に関する情報を収集・活用すること	1	2	3
(14) 「進学したい学校」・「就職したい職場」を選び、その実現のために努力すること	1	2	3
(15) 上級学校（大学、短期大学、専門学校等）や職場を選ぶにあたって、その合格の可能性や採用の可能性を考慮すること	1	2	3

以上で質問はすべて終わりました。ご協力ありがとうございました。

## キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査（Ⅲ－⑤高等学校・卒業生調査票）

### おねがい

このたび、文部科学省 国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センターでは、高等学校における進路指導の充実に役立つため、平成 24 年 3 月に高等学校を卒業した皆様に、高校生のときに希望した進路や進路先を選んだ理由などについてアンケート調査を実施することになりました。この調査は、7 年に一度、中学校・高等学校で実施していた「進路指導に関する総合的実態調査」の一環として、全国で平成 24 年 3 月に高等学校を卒業した人の中から無作為に抽出した約 2,520 名を対象に実施します。調査票の発送については、皆様の出身高等学校の協力を得ました。大変お忙しいこととは存じますが、本調査へのご協力をよろしく願いたします。

回答内容は、すべて統計的に処理し、個々の調査内容については秘密を厳守いたします。

- ・ ご回答はすべて別紙のマークシートにお願いします。 あてはまる番号を選択の上、鉛筆で塗りつぶしてください。
- ・ 書き終えましたら、別紙マークシートのみを同封の返信用封筒に入れて平成 24 年 11 月 16 日（金）までに投函してください。

文部科学省 国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センター

問 1 あなたの性別についておたずねします。あてはまる番号を選んでください。なお、ご回答は別紙のマークシートにお願いします（「問 2」以降、すべて同じ）。

- 1 男                      2 女

問 2 あなたが卒業した、高等学校の学科についておたずねします。あてはまる番号を 1つ 選んでください。

- 1 普通科
- 2 職業に関する専門学科（農業・工業・商業・水産・家庭・看護・情報・福祉などに関する学科）
- 3 その他の専門学科（理数・体育・音楽・美術・英語などに関する学科）
- 4 総合学科

問 3 現在のあなたの状況についておたずねします。

- ・ 次の 1～7 のうち、あてはまるものの番号を 1つ 選んでください。なお、働きながら在学している人は「1 学校に在学している」を、働きながら進学準備（予備校に通うなど）している人は「4 進学に向けて準備している」を選んでください。

- ・ また、「1 学校に在学している」を選んだ人は、さらに、①～⑥のうちあてはまるものを 1つ 選んでください。

- 1 学校に在学している
  - ① 四年制大学
  - ② 短期大学
  - ③ 通信・放送大学
  - ④ 高等学校専攻科
  - ⑤ 専門学校・専修学校・各種学校
  - ⑥ 公共職業訓練施設などその他の学校

- 2 仕事（定職）に就いている
- 3 仕事（アルバイト・パート）に就いている
- 4 進学に向けて準備している
- 5 家業・家事に従事している
- 6 仕事に就いておらず、求職中である
- 7 その他

☞ 問 3 で、「1 学校に在学している」を選んだ人は、次の問 4 に進んでください。

☞ 問 3 で、「2 仕事（定職）に就いている～7 その他」のいずれかを選んだ人は、問 5 に進んでください。

問 4 問 3 で、「1 学校に在学している」を選んだ人におたずねします。

現在の学校を選んだ理由について、あてはまるものを すべて 選んでください。

- 1 自分の学力にあっていたから
- 2 自分の個性を伸ばすことができると思ったから
- 3 自分のやりたい勉強ができると思ったから
- 4 自分のやりたい部活動（サークル活動）ができるから
- 5 資格が取得できるから
- 6 進学に有利だから
- 7 就職に有利だから
- 8 教育内容に特色があるから
- 9 将来希望する職業に役立つ知識や技術が身に付くから
- 10 通学に便利だから
- 11 学校の伝統、学風や評判がよかったから
- 12 校舎や施設・設備がすばらしかったから
- 13 保護者や先生にすすめられたから
- 14 友人と同じ学校に行きたかったから
- 15 上記にあてはまる理由はない



- 問5 あなたは、高校生の時、高等学校卒業後にどのような進路を選びたいと思っていましたか。
- ・ 次の1～5のうち、最も希望していた進路を1つ選んでください。なお、働きながら進学を希望していた人は「1 進学を希望していた」を選んでください。
  - ・ また、「1 進学を希望していた」を選んだ人は、さらに、①～⑥のうちあてはまるものを1つ選んでください。
- 1 進学を希望していた
- ① 四年制大学
  - ② 短期大学
  - ③ 通信・放送大学
  - ④ 高等学校専攻科
  - ⑤ 専門学校・専修学校・各種学校
  - ⑥ 公共職業訓練施設などその他の学校
- 2 仕事（定職）に就くことを希望していた
- 3 仕事（アルバイト・パート）に就くことを希望していた
- 4 家業・家事に従事することを希望していた
- 5 その他

- 問6 あなたは、現在従事している仕事や、在学している学校での生活について、どのように思っていますか。あてはまるものをすべて選んでください。なお、仕事に従事しながら学校で勉強している人は、学校での状況について答えてください。
- 1 自分の興味や好みに合っている
  - 2 自分の能力や適性(向き・不向き)に合っている
  - 3 自分の将来のためになる
  - 4 学びがいや働きがいがあ
  - 5 保護者の期待にそっている
  - 6 学校や先生の期待にそっている
  - 7 よい仲間や先輩に恵まれている
  - 8 特にあてはまるものはない

- ☞ 問3で、「1 学校に在学している」と答えた人は、次の問7(1)に進んでください。
- ☞ 問3で、「2 仕事（定職）に就いている」または「5 家業・家事に従事している」と答えた人は、問7(2)に進んでください。
- ☞ 問3で、「3 仕事（アルバイト・パート）」に就いている」または「6 仕事に就いておらず、求職中である」と回答した人は、問7(3)に進んでください。
- ☞ 問3で、「4 進学に向けて準備している」と答えた人は、問7(4)に進んでください。
- ☞ 問3で、「7 その他」と答えた人は、問8に進んでください。

- 問7 あなたは、今後現在の学校で学習していくことや現在の会社などで働いていくことなどについて、どのような希望をもっていますか。
- (1) 問3で、「1 学校に在学している」と答えた人におたずねします。  
あなたが希望していることについて、あてはまるものを1つ選んでください。
- 1 現在の学校で現在の学習を続けたい
  - 2 現在の学校で転部・転科をしたい。
  - 3 違う学校に変わりたい
  - 4 学校を辞めて仕事に就きたい
  - 5 学校を辞めて家業・家事に従事したい
  - 6 その他
- (2) 問3で、「2 仕事（定職）に就いている」または「5 家業・家事に従事している」と答えた人におたずねします。  
あなたが希望していることについて、あてはまるものを1つ選んでください。
- 1 現在の職場で現在の仕事を続けたい
  - 2 現在の職場で違う職種の仕事がしたい
  - 3 現在の職場を辞めて違う職場に転職したい
  - 4 大学や短期大学で学びたい
  - 5 専門学校・専修学校や各種学校などで技能の習得や資格の取得をしたい
  - 6 その他
- (3) 問3で、「3 仕事（パート・アルバイト）に就いている」または「6 仕事に就いておらず、求職中である」と答えた人におたずねします。  
あなたが希望していることについて、あてはまるものを1つ選んでください。
- 1 一日も早く定職に就きたい
  - 2 あせらずに自分に合う仕事を見つけていきたい
  - 3 アルバイト・パートなどを行っていきたい
  - 4 大学や短期大学で学びたい
  - 5 専門学校・専修学校・各種学校などで技能の習得や資格の取得をしたい
  - 6 その他
- (4) 問3で、「4 進学に向けて準備している」と答えた人におたずねします。  
あなたが希望していることについて、あてはまるものを1つ選んでください。
- 1 大学や短期大学で学びたい
  - 2 専門学校・専修学校や各種学校などで技能の習得や資格の取得をしたい
  - 3 その他

☞ ここからは、すべての方がお答えください。

- 問8 学校や職場などで学んだり働いたりすることが困難な問題が起こった時、あなたはどうしますか。あてはまるものを1つ選んでください。
- 1 問題を解決するための相談や支援に関する公的な機関を知っているので、活用する
  - 2 相談や支援に関する公的な機関の存在は知っているが、活用の仕方がわからない
  - 3 相談や支援に関する公的な機関は知らないが、家族や友人などに相談や支援を求める
  - 4 1人で問題を解決しようとする
  - 5 解決のための方法を知らない
  - 6 その他

問9 学校や職場などで学んだり働いたりすることが困難な問題が起こった時に相談できる以下の機関のうち、高校生の時に学校から情報提供を受けたものをすべて選んでください。

- 1 大学や専門学校等の就職支援センター
- 2 大学や専門学校等の学生相談窓口
- 3 公共職業安定所（ハローワーク）
- 4 ジョブカフェ
- 5 地域若者サポートステーション（サポステ）
- 6 労働基準監督署
- 7 総合労働相談コーナー（都道府県労働局など）
- 8 労政事務所（労働相談情報センターなど、地域によって名称は異なる）
- 9 上記の機関に関する情報提供はなかった
- 10 上記の機関に関する情報提供の有無について覚えていない

問10 あなたの日常生活（授業中や放課後、家庭での生活などすべてを含みます）に関しておたずねします。次の(1)～(12)のそれぞれについて、自分の日常生活の様子をふり返った時、あてはまるものを1～3の中から1つずつ選んでください。

	1	2	3
日常生活の様子	いつもそうしている	時々そうしている	していない
(1) 友だちや家の人の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止めようとしている	1	2	3
(2) 相手が理解しやすいように、自分の考えや気持ちを整理して伝えようと工夫している	1	2	3
(3) 自分の果たすべき役割や分担を考え、周囲の人と力を合わせて行動しようとしている	1	2	3
(4) 自分の興味や関心、長所や短所などについて把握し、良いところを伸ばし、悪いところを克服しようとしている	1	2	3
(5) 自分がすべきことがある時に、喜怒哀楽の感情に流されず、行動を適切に律して取り組もうとしている	1	2	3
(6) 不得意なことや苦手なことでも、自ら進んで取り組もうとしている	1	2	3
(7) 調べたいことがある時、自ら進んで資料や情報を集め、必要な情報を取捨選択している	1	2	3
(8) 何か問題が起きた時、次に同じような問題が起きないよう原因を考えたり、解決方法を工夫したりしている	1	2	3
(9) 何かをする時、見通しをもって計画し、評価や改善を加えて実行している	1	2	3
(10) 学ぶことや働くことの意義について考えたり、今学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えたりしている	1	2	3
(11) 自分の将来について具体的な目標をたて、現実を考えながらその実現のための方法を考えている	1	2	3
(12) 自分の将来の目標の実現に向かって具体的に行動したり、その方法を工夫・改善したりしている	1	2	3

問11 高校生の時、高等学校卒業後の進路や自分の将来の生き方を考える上で、役に立った学習や指導はどれですか。次の(1)～(27)のそれぞれについて、あてはまるものを1～4の中から1つずつ選んでください。

	1	2	3	4
将来の生き方や進路（進学や就職）に関する指導内容	役に立った	少しは役に立った	役に立たなかった	（指導がなかった） 取り組んでいない
(1) 様々な教科における日々の授業	1	2	3	4
(2) 係活動・委員会活動や生徒会活動などの日々の活動	1	2	3	4
(3) 部活動などの課外活動	1	2	3	4
(4) 身近な産業や職業についての調査	1	2	3	4
(5) 職場の見学	1	2	3	4
(6) 職場での就業体験（インターンシップ）	1	2	3	4
(7) ボランティア活動	1	2	3	4
(8) 上級学校（大学、短期大学、専門学校等）の訪問や見学・調査	1	2	3	4
(9) 上級学校（大学、短期大学、専門学校等）の体験入学	1	2	3	4
(10) 社会人や職業人などの講話・講演	1	2	3	4
(11) 上級学校（大学、短期大学、専門学校等）の先生の講話・講演	1	2	3	4
(12) 卒業生の体験発表会	1	2	3	4
(13) 先生（校長先生や担任の先生など）の体験談	1	2	3	4
(14) 学ぶことや働くことの意義についての学習	1	2	3	4
(15) 自分の個性や適性（向き・不向き）を考える学習	1	2	3	4
(16) 卒業後の進路（進学や就職）に関する情報の入手方法とその利用の仕方	1	2	3	4
(17) 卒業後の進路（進学や就職）についての相談	1	2	3	4
(18) 将来の職業選択や役割などの生き方や人生設計	1	2	3	4
(19) 上級学校（大学、短期大学、専門学校等）や企業への合格・採用の可能性	1	2	3	4
(20) 社会人・職業人としての常識やマナーについての学習	1	2	3	4
(21) 進学にかかる費用や奨学金についての情報	1	2	3	4
(22) 労働に関する法律や制度の仕組みについての学習	1	2	3	4
(23) 近年の若者の雇用・就職・就業の動向についての学習	1	2	3	4
(24) 社会全体のグローバル化（国際化）の動向についての学習	1	2	3	4
(25) 就職後の離職・失業など、将来起こり得る人生上の諸リスクへの対応についての学習	1	2	3	4
(26) 転職希望者や再就職希望者などへの就職支援の仕組みについての学習	1	2	3	4
(27) 男女が対等な構成員として様々な活動に参画できる社会（男女共同参画社会）の重要性についての学習	1	2	3	4

問12 あなたの出身高等学校における就業体験（インターンシップ）についておたずねします。

(1) あなたは、高校生の時、就業体験（インターンシップ）に行きましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 就業体験に行った ☞ 次の問12(2)にお答えください。
- 2 就業体験はなかった ☞ 問13にお進みください。

(2) (1)で「就業体験に行った」と答えた人におたずねします。

あなたは、就業体験を経験して、どんな感想を持ちましたか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- 1 有意義な学習だと思う
- 2 有意義な学習だとは思わない
- 3 どちらともいえない

問13 あなたは、高校生の時、自分の将来の生き方や進路について考えるため、ホームルーム活動の時間などで、どのようなことを指導してほしかったですか。「もっとよく指導してほしかった」「指導を受けた記憶はないが、指導してほしかった」など、あなたが指導してほしかったと思うことがらをすべて選んでください。

- 1 自分の個性や適性（向き・不向き）を考える学習
- 2 上級学校（大学、短期大学、専門学校等）の教育内容や特色
- 3 産業や職業の種類や内容
- 4 学ぶことや働くことの意義や目的
- 5 卒業後の進路（進学や就職）選択の考え方や方法
- 6 卒業後の進路（進学や就職）に関する情報の入手方法とその利用の仕方
- 7 卒業後の進路（進学や就職）についての相談の方法や内容
- 8 将来の職業選択や役割などの生き方や人生設計
- 9 上級学校（大学、短期大学、専門学校等）や企業への合格・採用の可能性
- 10 社会人・職業人としての常識やマナー
- 11 進学にかかる費用や奨学金制度
- 12 労働に関する法制や制度の仕組
- 13 近年の若者の雇用・就職・就業の動向
- 14 社会全体のグローバル化（国際化）の動向
- 15 就職後の離職・失業など、将来起り得る人生上の諸リスクへの対応
- 16 転職希望者や再就職希望者などへの就職支援の仕組
- 17 男女が対等な構成員として様々な活動に参画できる社会（男女共同参画社会）の重要性
- 18 特に指導してほしかったことはない

問14 あなたは、高校生の時、自分の将来の生き方や進路について考えるため、どのような体験活動を実施してほしかったですか。「もっと実施してほしかった」「高校では体験しなかったが、実施してほしかった」など、あなたが実施してほしかった体験活動をすべて選んでください。

- 1 身近な産業や職業についての調査
- 2 職場の見学
- 3 就業体験（インターンシップ）
- 4 ボランティア活動
- 5 上級学校（大学、短期大学、専門学校等）の見学や調査
- 6 上級学校（大学、短期大学、専門学校等）の体験入学
- 7 社会人や職業人の講話・講演
- 8 上級学校（大学、短期大学、専門学校等）の先生の講話・講演
- 9 卒業生の体験発表会
- 10 先生（校長先生や担任の先生など）の体験談
- 11 特に実施してほしかった体験活動はない

以上で質問はすべて終わりました。ご協力ありがとうございました。